

令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査
(令和4年度調査)

LIFE を活用した取組状況の把握および
訪問系サービス・居宅介護支援事業所における
LIFE の活用可能性の検証に関する調査研究

報 告 書

目 次

I. 調査の背景・目的	1
II. 調査方法	1
III. 検討体制	2
IV. 調査研究の流れ	4
V. アンケート調査	5
1. 調査目的	5
2. 調査対象事業所	5
3. 調査期間	5
4. 調査方法	5
5. 調査項目	6
6. 調査結果	7
VI. ヒアリング調査	55
1. 調査目的	55
2. 調査対象事業所	55
3. 調査期間	55
4. 調査項目	55
5. 調査結果概要	56
VII. モデル事業	59
1. 実施目的	59
2. 訪問系サービス・居宅介護支援事業所に対するフィードバック試行	59
3. モデル事業に関するヒアリング調査	94
VIII. 介護関連 DB 分析	101
1. 介護関連 DB 分析の目的	101
2. 使用したデータ項目（概要）	101
3. 分析結果	102
参考資料 1 アンケート調査票（LIFE 登録済事業所票）	109
参考資料 2 アンケート調査票（LIFE 未登録事業所票）	124
参考資料 3 アンケート調査票（モデル事業調査票）	128
参考資料 4 事業所フィードバック（イメージ）	137
参考資料 5 利用者別フィードバック（イメージ）	144

LIFE を活用した取組状況の把握および訪問系サービス・
居宅介護支援事業所における LIFE の活用可能性の検証に関する
調査研究事業の調査検討組織 設置要綱

1. 設置目的

株式会社三菱総合研究所は LIFE を活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所における LIFE の活用可能性の検証に関する調査研究一式の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり LIFE を活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所における LIFE の活用可能性の検証に関する調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

2. 実施体制

- （１）本調査検討組織は、産業医科大学 産業生態科学研究所 環境疫学教室 教授 藤野 善久を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- （２）委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

- （１）調査検討組織の運営は、株式会社三菱総合研究所が行う。
- （２）前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

LIFE を活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所における LIFE
の活用可能性の検証に関する調査研究一式の調査検討組織 委員等

委員長	藤野 善久（産業医科大学 産業生態科学研究所 環境疫学教室 教授）
副委員長	田宮 菜奈子（つくば医療介護サービス研究機構株式会社 代表取締役 筑波大学 医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野 教授）
委員	栗田 主一（東京都健康長寿医療センター研究所 副所長 認知症未来社会創造センター センター長）
委員	今村 知明（奈良県立医科大学公衆衛生学講座 教授）
委員	江澤 和彦（公益社団法人日本医師会 常任理事）
委員	海老原 覚（東北大学大学院医学系研究科内部障害学分野 教授）
委員	岡野 英樹（一般社団法人全国デイ・ケア協会 理事）
委員	川越 雅弘（埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 兼研究開発センター 教授）
委員	七種 秀樹（一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長）

委 員	高橋 肇（公益社団法人全国老人保健施設協会 常務理事 介護老人保健施設ゆとりろ 理事長）
委 員	田母神 裕美（公益社団法人日本看護協会 常任理事）
委 員	中井 孝之（一般社団法人シルバーサービス振興会 常務理事 民間介護事業推進委員会 委員長）
委 員	波潟 幸敏（公益社団法人全国老人福祉施設協議会 介護保険事業等経営委 員会 デイサービスセンター部会 部会長）
委 員	西村 一弘（公益社団法人日本栄養士会 常任理事）
委 員	細野 純（公益社団法人日本歯科医師会 理事）
委 員	村松 圭司（産業医科大学公衆衛生学教室 准教授）
委 員	森 重勝（一般社団法人全国定期巡回・随時対応型訪問介護看護協議会 理事長 社会福祉法人ライフ・タイム・福島 事務局長）

（敬称略、50 音順）

【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 老人保健課 介護保険データ分析室長 福田 亮介
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 大西 丈二
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 長嶺 由衣子
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 藤井 麻耶
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 主査 溝上 悠介
- 厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課
基準第一係長 山崎 竜平
- 厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課
人材研修係長 諏訪林 智

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び 訪問系サービス・居宅介護支援事業所 におけるLIFEの活用可能性の検証に関する 調査研究（結果概要）

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所における LIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

1. 調査の目的

- 本事業では、特にLIFEの入力及び活用に関する事業所の負担の推移、フィードバックの利活用の状況とその効果及び課題等に焦点を当て検討を行った。
- また、次期介護報酬改定に向けて、訪問系サービス及び居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性について、令和3年度に実施した少数の事業所でのモデル的な調査の結果を踏まえて、より多くのサービス及び多数の事業所を対象とした調査を行い、具体的な活用方法及びそれに向けた課題等について検討した。

2. 調査方法

A. アンケート調査・ヒアリング調査

LIFE登録済み事業所及び未登録事業所それぞれに対し、アンケート調査及びヒアリング調査を実施した。 令和5年1月6日時点

	母集団※1	抽出方法※2	発出数	回収数	回収率	有効回収率※5	調査期間・調査時点
LIFE登録済事業所	34,671	無作為抽出※3	4,000	1,475	36.9%	36.9%	令和4年9月 ～令和5年1月 ※調査時点は回答日時点
LIFE未登録事業所	58,389	無作為抽出※4	1,000	224	22.4%	22.4%	

※1 介護保険総合DBにおける令和4年3月に請求実績のある事業所を母集団としている。

※2 災害救助法の適用地域に所在している事業所を除き抽出した。

※3 令和4年3月にLIFE関連加算（科学的介護推進体制加算等）の算定がある事業所を対象としてサービス別に抽出した。

※4 令和4年3月にLIFE関連加算（科学的介護推進体制加算等）の算定がない事業所を対象としてサービス別に抽出した。

※5 設問によっては未回答の事業所があるため、設問ごとに集計対象回答数は異なる。

B. モデル事業

モデル事業に参加を希望した事業所に対し、LIFEへのデータ入力・フィードバック活用とアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。 令和5年1月6日時点

	参加事業所数	データ入力及び提出 ができた事業所数	データ入力 ・提出率	回収数	回収率	有効 回収率	調査期間・ 調査時点
訪問介護事業所	31	21	67.7%	14	66.7%	66.7%	令和4年10月 ～令和5年1月 ※調査時点は 令和4年10月1日
訪問看護事業所	47	22	46.8%	20	90.9%	90.9%	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	32	21	65.6%	18	85.7%	85.7%	
居宅介護支援事業所	96	65	67.7%	59	90.8%	90.8%	

C. 介護関連DB分析

LIFEに関連した加算の算定状況を把握するため介護保険総合データベースの分析を行った。

※介護保険総合DBに登録されている、令和3年4月サービス提供分～令和4年9月サービス提供分のデータを用いた。

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

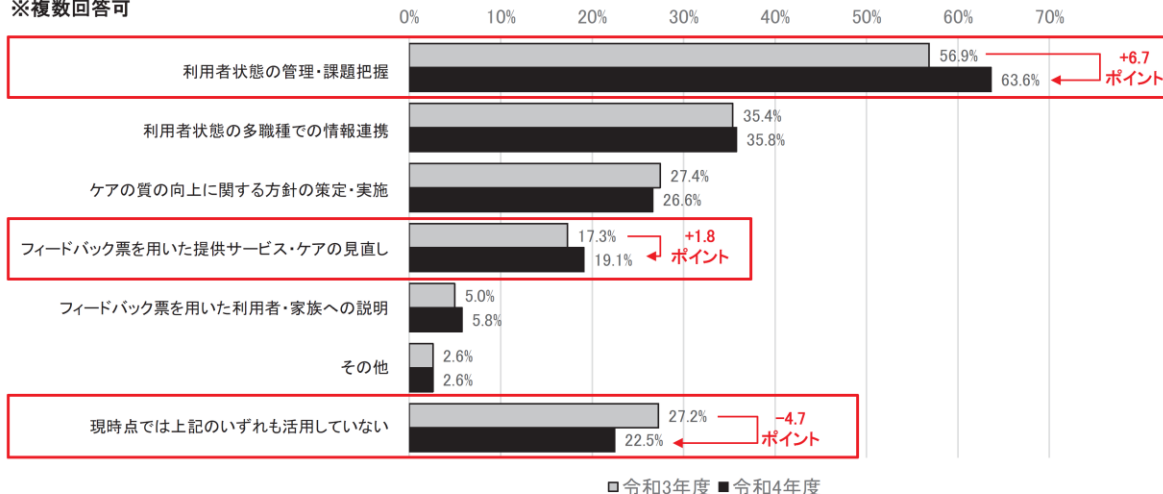
3. 調査結果概要

A. アンケート調査(LIFE登録済事業所)

- 令和3年度調査時点と比較して、令和4年度調査時点ではLIFEを活用していない事業所・施設の割合が減少傾向だった。
- 利用者の状態管理・課題把握、提供サービス・ケアの見直しでLIFEを活用する事業所・施設の割合が増加傾向だった。

図表1 LIFEの活用場面(回答数:503)

※複数回答可



※図表1～6: 令和3年度・令和4年度の調査にともに回答した事業所・施設のみを対象として集計(ともに回答数503)

3

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

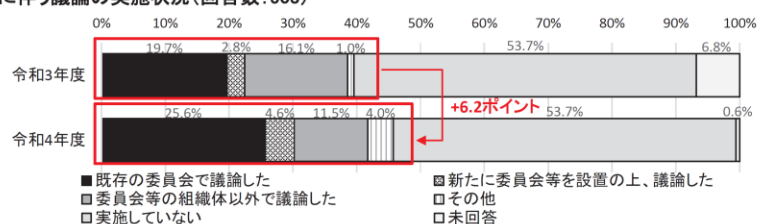
A. アンケート調査(LIFE登録済事業所)

- LIFE活用に伴う議論の実施状況として、委員会で議論している事業所・施設の割合が増加傾向だった。特に既存の委員会で議論している事業所・施設の割合が増加した。
- 利用者の状態像の変化やフィードバックの内容について議論している事業所・施設の割合が増加傾向だった。一方で、利用者の状態像等を踏まえた目標設定やケア内容・実施方法等を議論している事業所・施設の割合は減少した。

※調査時点では十分なフィードバックが返せていなかった要因があると想定される。

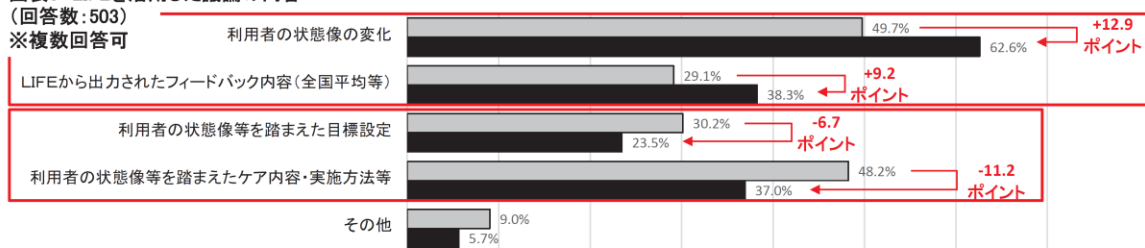
図表2 LIFE活用に伴う議論の実施状況(回答数:503)

※複数回答可



図表3 LIFEを活用した議論の内容(回答数:503)

※複数回答可



※図表1～6: 令和3年度・令和4年度の調査にともに回答した事業所・施設のみを対象として集計(ともに回答数503)

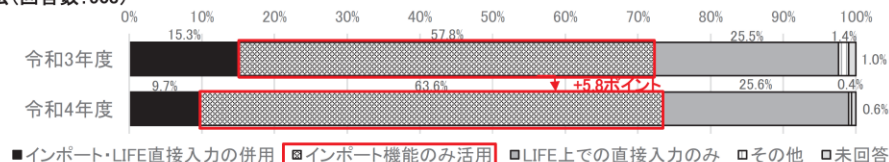
4

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

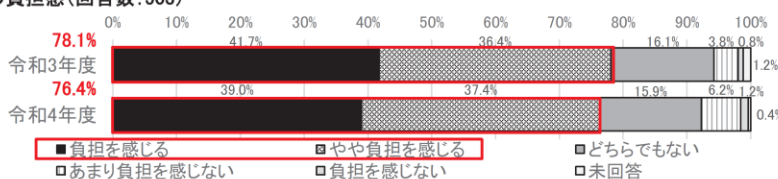
A. アンケート調査(LIFE登録済事業所)

- LIFEへのデータ入力、インポート機能のみを活用している割合が増加した。
- データ登録に負担を感じている(負担を感じる+やや負担を感じる)割合が、令和3年度調査では78.1%、令和4年度調査では76.4%だった。
- 利用者1人当たりのLIFEに関するかかった時間として、LIFE利用者の状態評価に要する時間(平均値107.7分、中央値30分)と介護ソフト又は紙媒体に入力・記録した時間(平均値96.2分、中央値20分)が比較的多い。

図表4 LIFE入力方法(回答数:503)



図表5 データ登録の負担感(回答数:503)



図表6 利用者1人当たりにかかった時間(回答数:1,475)

	平均値(分)	中央値(分)
利用者の状態の評価にかかった時間	107.7	30
介護ソフト又は紙媒体に入力・記載した時間	96.2	20
インポート機能の利用にかかった時間	34.0	10
LIFE上での直接入力にかかった時間	40.0	10

※図表1～6: 令和3年度・令和4年度の調査にともに回答した事業所・施設のみを対象として集計(ともに回答数503)

5

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

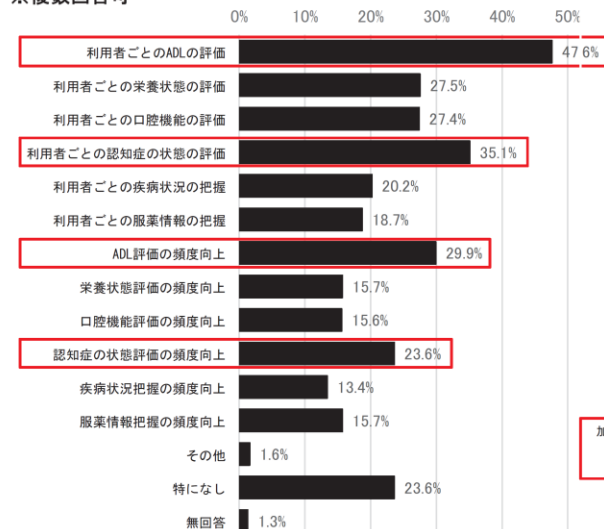
A. アンケート調査(LIFE登録済事業所)

【科学的介護推進体制加算】

- ADLや認知症の状態の評価を新たに開始した(あるいは評価頻度が向上した)事業所・施設の割合が比較的高かった。
- 加算の算定にあたって、サービス計画・提供サービスの見直し(34.8%)や服薬情報の入力(32.9%)、疾患情報の入力(30.6%)、職員への研修(28.9%)をLIFE活用の課題と感じている事業所・施設の割合が比較的高かった。

図表7 加算の算定にあたって新たに開始した取り組み(回答数:1,378) 図表8 LIFE活用に当たっての課題(回答数:1,378)

※複数回答可



※複数回答可



※科学的介護推進体制加算(Ⅰ)あるいは(Ⅱ)を算定している事業所・施設を分母にして割合を算出

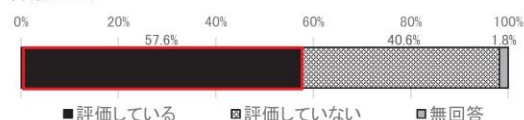
6

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

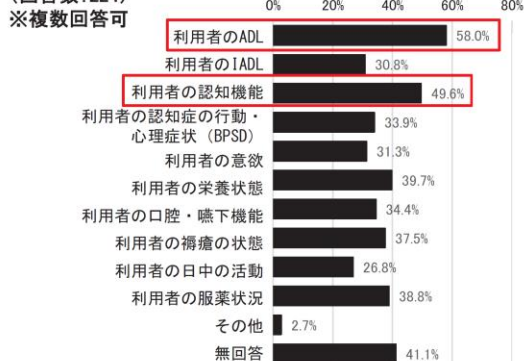
A. アンケート調査(LIFE未登録事業所)

- LIFE未登録事業所では指標を用いて利用者进行评估している事業所・施設は57.6%だった。その内容としては特にADLや認知機能进行评估している事業所・施設が比較的多かった。
- ケアの質の向上に向けて、PDCAサイクルの取組に課題を感じている事業所・施設は59.4%だった。その内容としては、特に利用者の状態評価をケアの質の向上に活かせていないと回答した事業所・施設が比較的多かった。

図表9 利用者の状態を指標を用いた評価の実施有無(回答数:224)



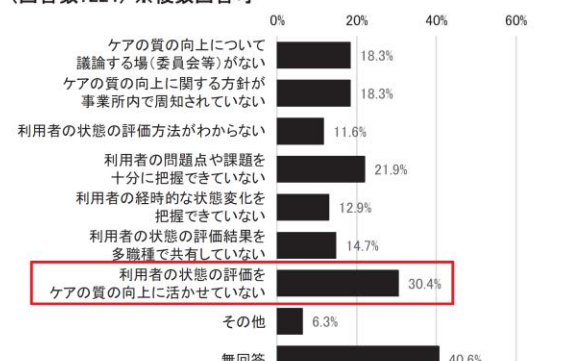
図表10 利用者の状態を指標を用いた評価の実施内容(回答数:224) ※複数回答可



図表11 ケアの質の向上に向けたPDCAサイクルの取組における課題の有無(回答数:224)



図表12 PDCAサイクルの取組における課題の内容(回答数:224) ※複数回答可



(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

A. ヒアリング調査

- LIFE活用により、アセスメントに関する意識改革につながった等、ケアの質の向上に寄与する意見がみられた。
- ヒアリング調査では、データ登録をする利用者数が多い月に負担があるといった意見があった。
- フィードバック票については、目標を踏まえたフィードバックの要望等の意見があった。

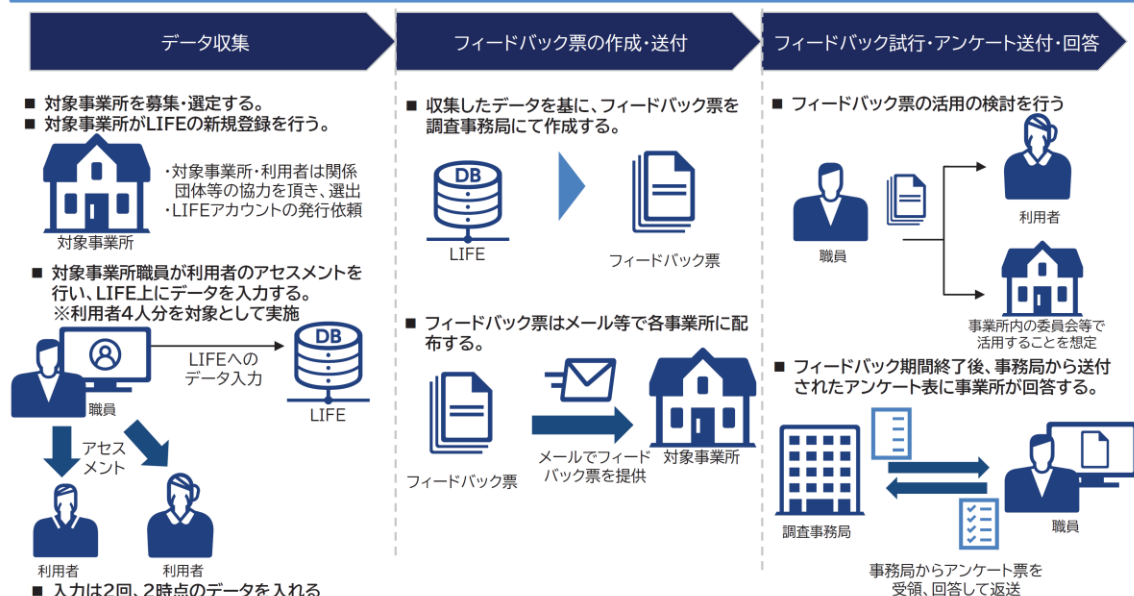
	LIFE活用に関する状況	LIFE活用に関する課題・改善点
事業所A ※通所介護 ※利用者数:51名	アセスメント状況 - 理学療法士や作業療法士等の専門職が多い事業所であるため、LIFE導入に当たりアセスメントに関する課題は特になかった。 - 職員間で適宜相談・情報共有しながらアセスメントを実施しているため、職員間の評価のばらつきも現状はないと理解している。 LIFE活用状況 4月と7月にLIFEへデータ登録する利用者が多く、データ入力に1-2時間要する場合もある。それ以外の月は1時間以内で登録できている。サービス間で入力の時間は大きくは変わらない。 LIFE活用前後の変化 - LIFEを導入したことで、介護福祉士の職員が利用者の状態を多角的に把握できるようになった。	- 目標に対する現在の状態がフィードバック票で示されていると、利用者にも説明しやすくなる。 - 利用者に合わせて個性を重視しているという割には、個別機能訓練加算の計画書の目標設定の選択肢が少なく、個性が低いと感じている。現在使っている介護ソフトでは、目標設定は自由記述であるため、LIFEへの記入内容と差異が生じている。
施設B ※介護老人福祉施設 ※利用者数:100名	アセスメント状況 - LIFE導入によりアセスメント内容は変わらなかった。(元々皮膚トラブルに対する取り組みを施設として独自に実施していたため、LIFE導入によりアセスメントの負担が増えた印象はない。) LIFE活用状況 - 科学的介護推進体制加算、個別機能訓練加算、褥瘡マネジメント加算、排せつ支援加算を取得しているが、いずれの加算も30分程度追加で入力に時間がかかるようになった。 LIFE活用前後の変化 - 現時点ではまだLIFEを有効活用できていない。	- 利用者個別の情報について、全国データを基に、同じような状態の方にどのようなケアを行うことが有効であるかが示されるとよい。詳細なフィードバックであれば、自事業所を客観的な立場から見直しケアの検証等を行うことができ、ケアプランやアセスメント、日々のカンファレンス等に活かせるのではないかと感じる。 - LIFEを含めたICT活用が今後重要になることは理解しているが、人員面での余裕がない。LIFEの分析を専門的に行う職員を置ければ理想であるが、そこまでの余裕がない。

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

B. モデル事業

【モデル事業概要】

- モデル事業の概要は以下の通り。対象事業所（訪問介護、訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び居宅介護支援）でそれぞれ4名利用者を選定し、科学的介護推進体制加算（通所系・居住系サービス）の項目に沿った評価を実施の上、LIFEにデータ入力を行った。入力データを集計し、事業所フィードバック票及び利用者フィードバック票（利用者毎）を提供の上、フィードバック票を活用頂いた。



9

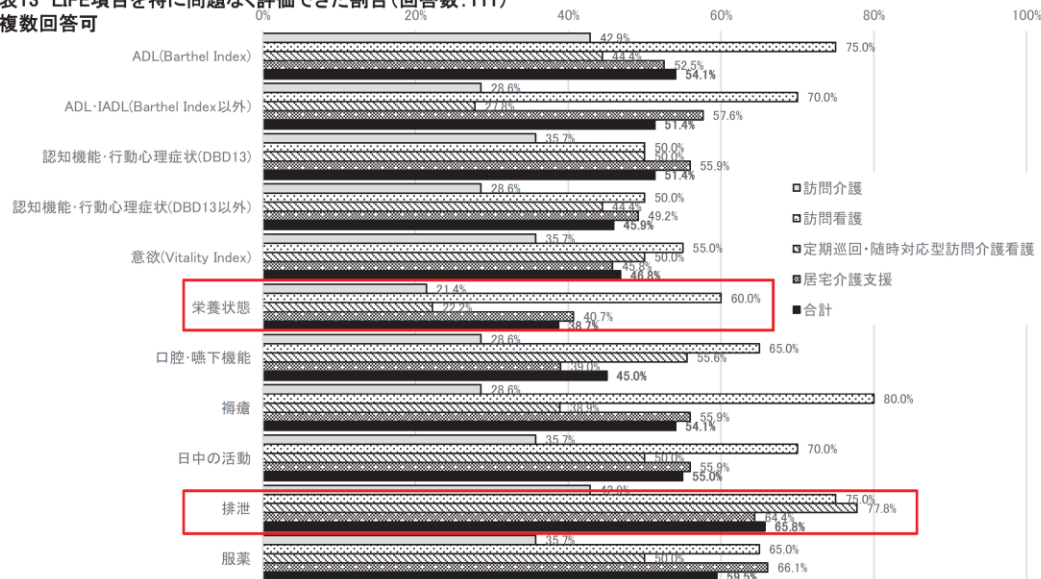
(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

B. モデル事業

- LIFE項目を利用者ごとに評価する際の課題について、「特に問題なく評価できた」と回答した割合は、全体で見ると半数程度で、最も高かったのは排泄の65.8%。最も低かったのは栄養状態の38.7%だった。
- サービス別に見ると、訪問介護ではADLと排泄が42.9%で最も高く、栄養状態が21.4%で最も低かった。訪問看護では褥瘡が80.0%で最も高く、認知機能が50.0%で最も低かった。定期巡回では排泄が77.8%で最も高く、栄養状態が22.2%で最も低かった。居宅介護支援では服薬が66.1%で最も高く、口腔・嚥下機能が39.0%で最も低かった。

図表13 LIFE項目を特に問題なく評価できた割合（回答数：111）

※複数回答可



10

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

B. モデル事業

- LIFEの初期設定に要した時間は、全体で116分(平均値)、60分(中央値)であった。サービス別では訪問看護が最も大きく、中央値で120分であった。
- 利用者1人あたりについて、利用者のアセスメント、LIFEへのデータ入力、フィードバック票の読み取りの各ステップに要した時間は、全体では28~40分(平均値)、20~30分(中央値)であった。訪問介護については、利用者のアセスメントに要した時間が最も大きく、中央値で60分であった。

図表14 LIFEの活用にあたり各ステップに要した時間(グラフは中央値、単位:分)

※利用者のアセスメント、LIFEへのデータ入力、フィードバック票の読み取りについては利用者1人あたりに要した時間

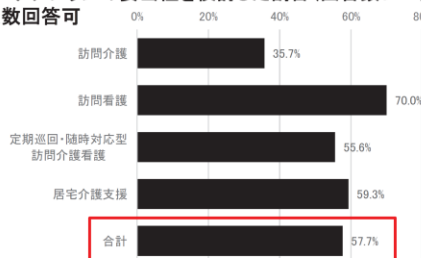


(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

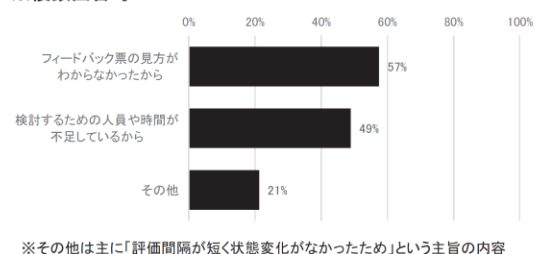
B. モデル事業

- フィードバック票を活用し、訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの妥当性について、何らかの形で「検討した」と回答した割合は、全体で57.7%であった。サービス別では訪問看護が70.0%で最も高く、訪問介護が35.7%で最も低かった。
- 何らかの形で訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの妥当性を検討した事業所のうち、「妥当であることが確認できた」と回答した割合は、全体で86.7%であった。サービス別では訪問看護が92.9%で最も高く、訪問介護が60.0%で最も低かった。

図表15 フィードバック票を活用し、訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの妥当性を検討した割合(回答数:111)
※複数回答可

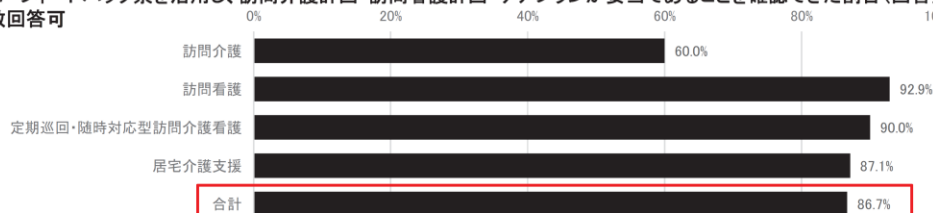


図表16 フィードバック票を活用し、訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの妥当性を検討しなかった理由(回答数:47)
※複数回答可



※その他は主に「評価間隔が短く状態変化がなかったため」という主旨の内容

図表17 フィードバック票を活用し、訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランが妥当であることを確認できた割合(回答数:60)
※複数回答可

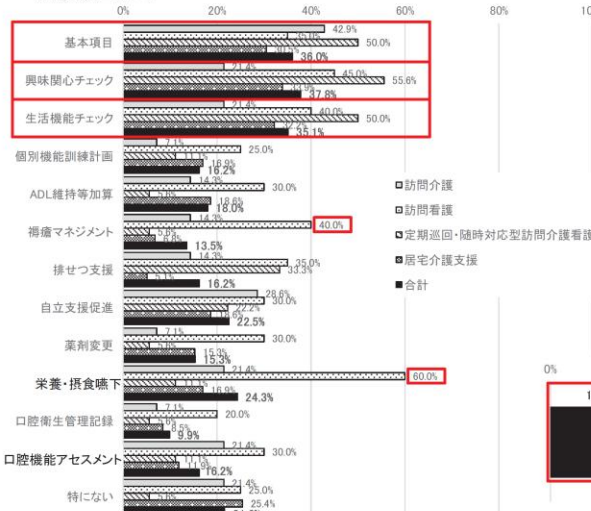


(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

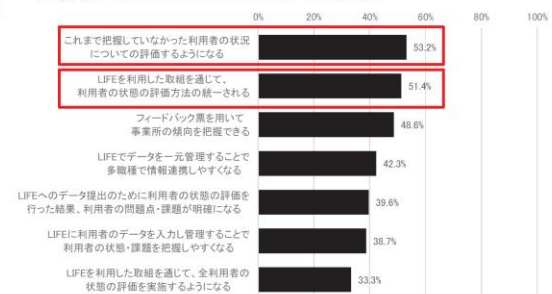
B. モデル事業

- LIFEの他の様式で活用してみたいシートは基本項目(36.0%)、興味関心チェック(37.8%)、生活機能チェック(35.1%)で3割を超えた。訪問看護では栄養・摂食嚥下(60.0%)、褥瘡マネジメント(40.0%)の割合が高かった。
- LIFEの活用が役に立つ点としては、「これまで把握していなかった利用者の状況についての評価できるようになる(53.2%)」、「LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法の統一される(51.4%)」が半数を超えていた。
- LIFEがケアの質の向上に寄与すると思うまたはやや思うと回答した事業所は半数を超えていた。

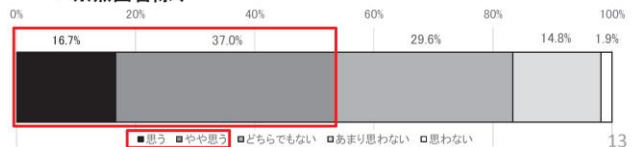
図表18 LIFEの他の様式で活用してみたいシート(回答数:111)
※複数回答可



図表19 LIFEの活用が役に立つ点(回答数:111)
※複数回答可、回答割合上位7つを掲載



図表20 LIFEがケアの質の向上に寄与するか(回答数:108)
※無回答除く



(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

B. モデル事業

- フィードバック票の活用については、有用との意見の他、具体的なケアの改善提案を希望する意見が見られた。
- 評価や入力については負担の軽減を求める意見が多く、データ連携や入力可能な端末の拡大といった対応が必要であることが見て取れた。
- LIFEに追加したい項目としては、転倒リスク等の具体的な項目の提示があった一方、削減を求める意見もあった。事業所間のデータ連携を充実させることによるサービス毎の評価項目の最適化を求める声も見られた。
- LIFEの効果については、全サービスで「統一指標による定期的な評価によるケアの質の担保」が挙がった。

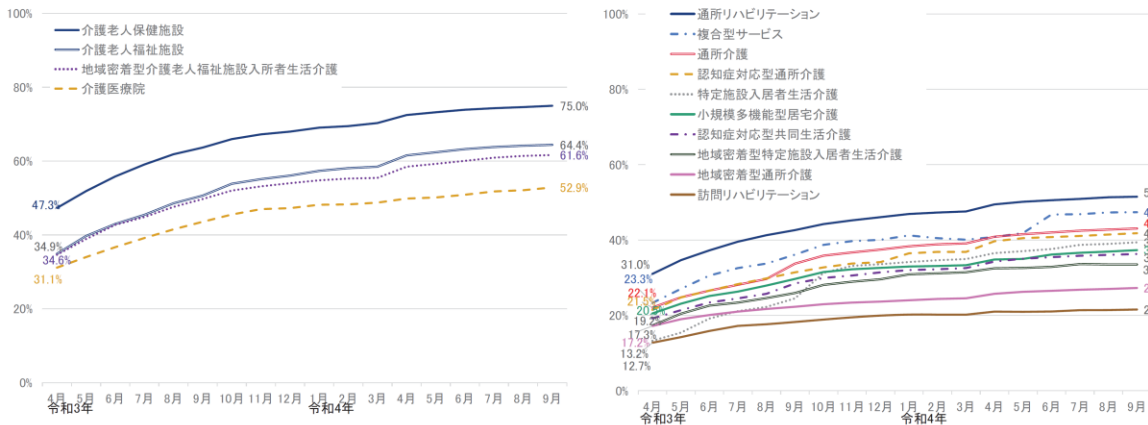
サービス	フィードバック票の活用	評価・入力の負担・課題	追加したい項目	LIFEの効果
訪問介護	・利用者の状態とその変化を事業所内の職員で共有するのに便利	・初期設定に時間がかかった ・事業所向けの研修の充実が必要	・訪問介護のサービス時間内だけでは把握できない項目が多く、むしろ減らしてほしい	・統一指標による定期的な評価によってケアの質が担保される ・今回の評価で実際にケアプラン変更につながった方がいた
訪問看護	・どのデータをどのように活かせばよいか、詳細なマニュアルのようなものが必要	・利用者全員を入力する時間を確保するのは難しい ・タブレット等による入力ができることが必要	・利用満足度 ・転倒リスク ・疾患の状況 ・FAI (Frenchay Activities Index) ・LSA (生活空間評価)	・統一指標による定期的な評価によってケアの質が担保される ・評価内容を集約することで全体的な状態の把握がしやすくなり、事業所内での共有も行いやすくなる
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	・助言や事業所特性等を文章で記載してほしい ・入力負担もあるが、データ間隔が1か月に1回程度あるとより活用しやすい	・同じ項目が複数ある場合は自動で反映するべき ・介護システムとの連携 ・医療のデータは医療側と連携して取得すべき	・身長・体重や栄養、水分摂取等の共通的な情報は他事業所から連携してほしい	・統一指標による定期的な評価によってケアの質が担保される ・軽度の利用者の方が評価できる項目が多く、LIFEの効果は感じられやすいという感触がある
居宅介護支援	・全国との比較をそのまま個人の課題につなげることは困難 ・ケアプランの改善提案や利用者に適した事業所の提案まであるとよい	・情報が標準化されるのは良いが、使いこなすには職員の教育も必要 ・データ入力より短い間隔で起こる事象を把握できない	・主介護者の状況 ・社会との関わり ・介護負担 ・転倒リスク	・必要な評価項目の再認識 ・統一指標による定期的な評価によってケアの質が担保される

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

C. 介護関連DB分析

- LIFEの活用が始まった令和3年4月以降から令和4年9月まで、LIFE関連加算を算定している事業所の割合を介護保険総合DBから算出した。施設サービスでは、介護老人保健施設でLIFE関連加算を算定している割合が高く、令和4年9月で75.0%であった。通所・居住系サービスは施設サービスと比較してLIFE関連加算を算定している割合が低かったが、通所リハビリテーションでは令和4年3月で51.5%であった。

図表21 LIFE関連加算を算定している事業所の割合【施設サービス】 図表22 LIFE関連加算を算定している事業所の割合【通所・居住サービス】



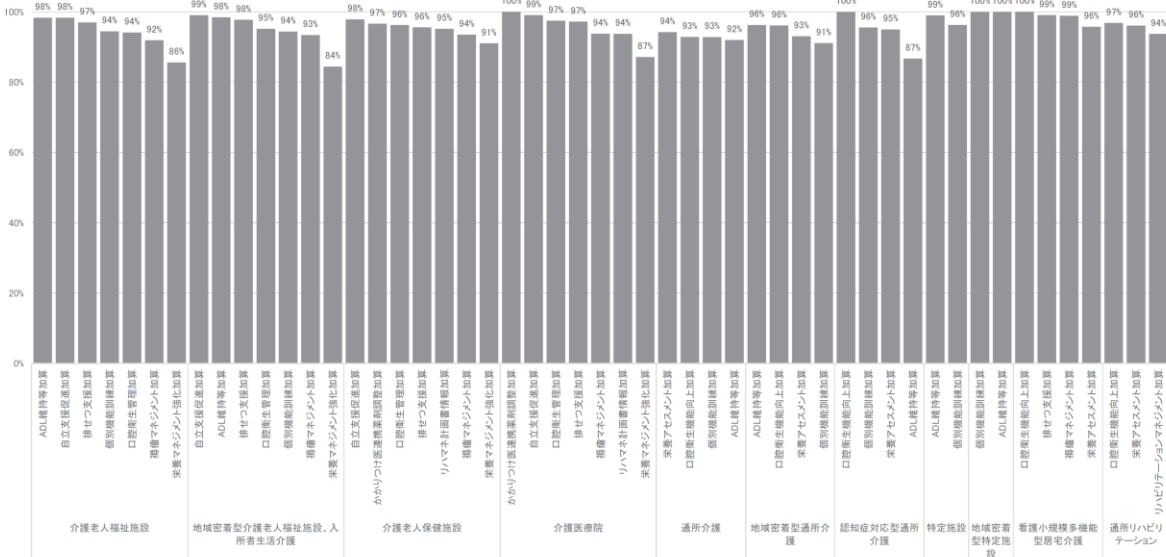
※令和3年4月～令和4年9月サービス提供分のデータをもとに算出
※介護予防サービス及び特別診療費は集計に含めていない

(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

C. 介護関連DB分析

- 科学的介護推進体制加算以外のLIFE関連加算を算定している事業所は、いずれの加算においても8割以上の事業所で介護推進体制加算を算定していた。

図表23 科学的介護推進体制加算以外のLIFE関連加算を算定している事業所において、科学的介護推進体制加算を算定している事業所の割合



※令和4年7月サービス提供分のデータをもとに算出 ※認知症対応型通所介護、特定施設入居者生活介護、通所リハビリテーションは予防を含む
※「褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理」は、グラフ内では「褥瘡マネジメント加算」と記載
※「リハビリテーションマネジメント計画情報加算・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算」は、グラフ内では「リハマネ計画書情報加算」と記載
※「かかりつけ医連携薬剤調整加算・薬剤管理指導」は、グラフ内では「かかりつけ医連携薬剤調整加算」と記載

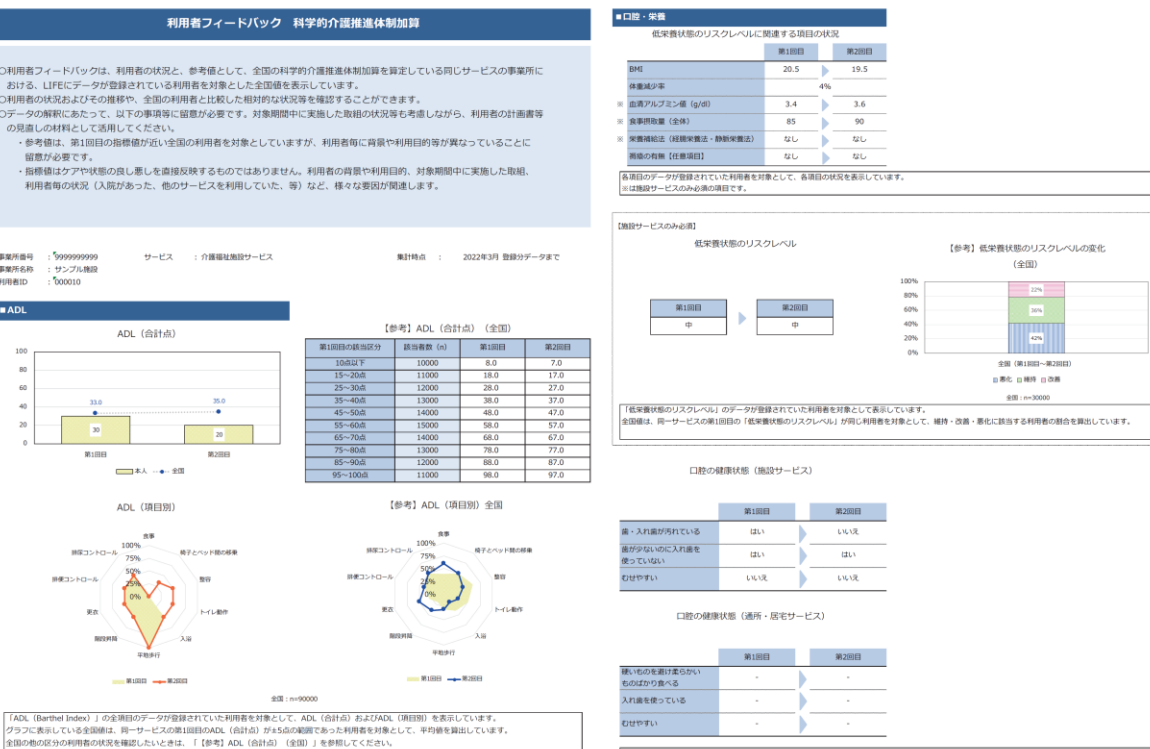
(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

B. モデル事業 参考資料: モデル事業で用いたフィードバック票イメージ(抜粋) 【事業所フィードバック票】



(4) LIFEを活用した取組状況の把握及び訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究

B. モデル事業 参考資料: モデル事業で用いたフィードバック票イメージ(抜粋) 【利用者フィードバック票】



I. 調査の背景・目的

持続可能な介護保険制度の実現に向けて、より効果的・効率的な介護保険サービスの提供について検討を進める必要があり、介護サービスの質の評価を行うことが求められている。令和3年度介護報酬改定において、「科学的介護情報システム（Long term care Information system For Evidence）」（以下「LIFE」という。）へのデータ提出とフィードバックの活用によるPDCAサイクルの推進とケアの質の向上を図るため、事業所の全利用者に係る事業所単位での取組や、既存の口腔・栄養や機能訓練に関する加算等における取組に加えた利用者単位でのさらなる取組に対する評価を創設した。

本事業では、LIFEを活用した取組（特にリハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養等の多職種連携）についてその取組状況を把握するとともに、さらなるLIFEの活用に向けた課題の検討等を行った。

これに加えて、次期介護報酬改定に向けて、訪問系サービスおよび居宅介護支援事業所におけるLIFEを活用した介護の質の向上に資するようなPDCAサイクルの推進について、モデル的に調査を実施し、具体的にユースケース等の検討を行うとともに、LIFE導入における課題等について検証を行った。

II. 調査方法

以下の調査を実施した。

- ① アンケート調査
- ② ヒアリング調査
- ③ モデル事業
- ④ 介護関連DB分析

Ⅲ. 検討体制

本事業の実施に際し、さらなる LIFE の活用に向けた課題及びモデル的な調査の実施、LIFE 導入における課題等の検証等について検討を行う場として、検討委員会を設置した。

図表 1 LIFE を活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所における LIFE の活用可能性の検証に関する調査研究 検討委員会 委員

役割	氏名(所属)
委員長	藤野 善久(産業医科大学産業生態科学研究所 環境疫学教室 教授)
副委員長	田宮 菜奈子(つくば医療介護サービス研究機構株式会社 代表取締役 筑波大学 医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野 教授)
委員	栗田 主一(東京都健康長寿医療センター研究所 副所長 認知症未来社会創造センター センター長)
委員	今村 知明(奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授)
委員	江澤 和彦(公益社団法人日本医師会 常任理事)
委員	海老原 寛(東北大学大学院医学系研究科内部障害学分野 教授)
委員	岡野 英樹(一般社団法人全国デイ・ケア協会 理事)
委員	川越 雅弘(埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 兼研究開発センター 教授)
委員	七種 秀樹(一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長)
委員	高橋 肇(公益社団法人全国老人保健施設協会 常務理事 介護老人保健施設ゆとりろ 理事長)
委員	田母神 裕美(公益社団法人日本看護協会 常任理事)
委員	中井 孝之(一般社団法人シルバーサービス振興会 常務理事 民間介護事業推進委員会 委員長)
委員	波潟 幸敏(公益社団法人全国老人福祉施設協議会 介護保険事業等経営委員会 デイ サービスセンター部会 部会長)
委員	西村 一弘(公益社団法人日本栄養士会 常任理事)
委員	細野 純(公益社団法人日本歯科医師会 理事)
委員	村松 圭司(産業医科大学公衆衛生学教室 准教授)
委員	森 重勝(一般社団法人全国定期巡回・随時対応型訪問介護看護協議会 理事長 社会福祉法人ライフ・タイム・福島 事務局長)

(敬称略、50 音順)

<事務局>

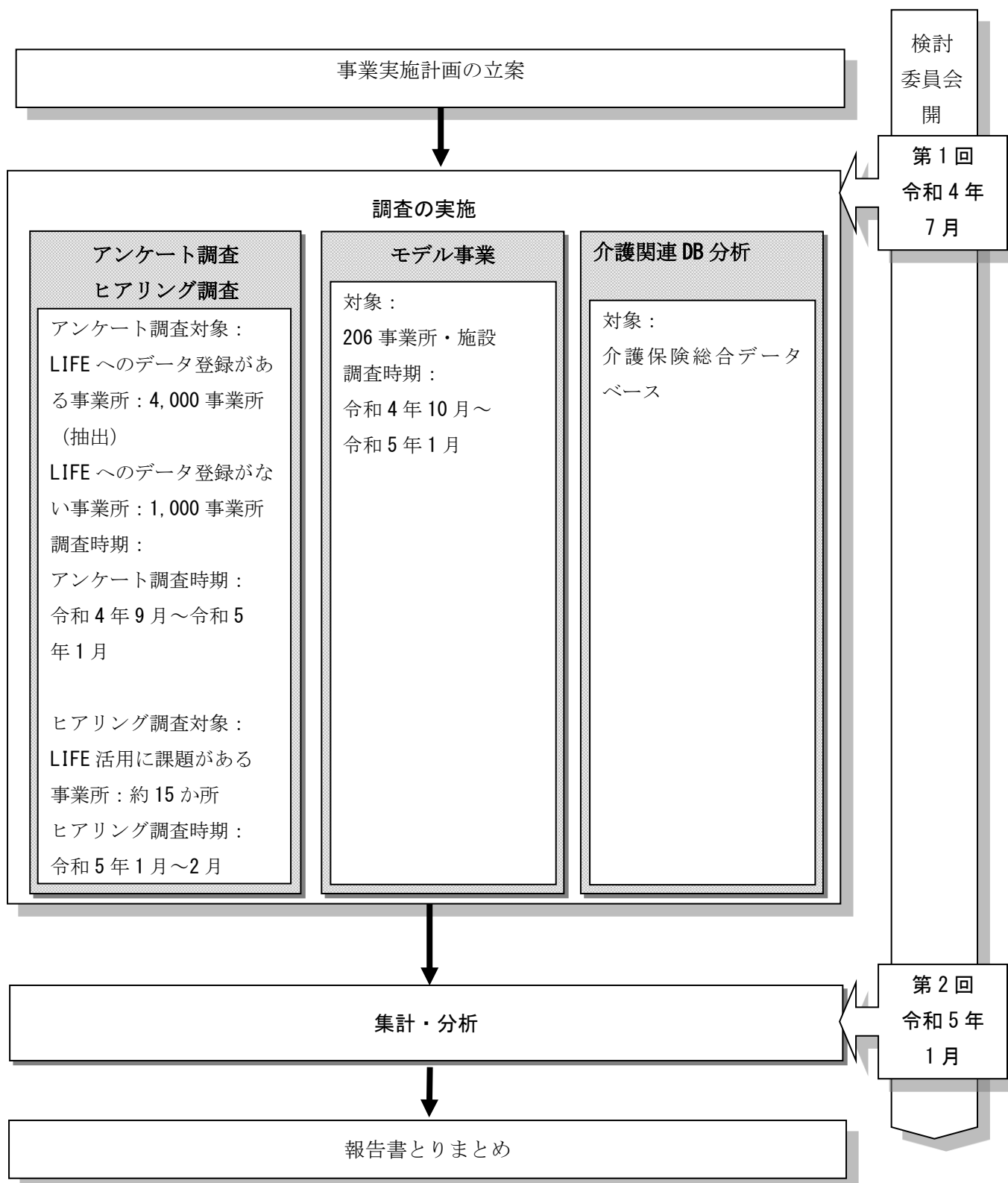
株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部 介護・福祉グループ

検討委員会における検討内容は以下の通りである。

図表 2 検討委員会の開催時期と課題

回	時期	主な議題
第1回	令和4年7月8日(金) 14:00~16:00	・ 調査計画(案)について ・ 調査票(案)について
第2回	令和5年1月26日(木) 13:00~14:30	・ 報告書案について ・ 調査結果概要案について

IV. 調査研究の流れ



V. アンケート調査

1. 調査目的

令和3年度介護報酬改定において、LIFE へのデータ提出とフィードバックの活用による PDCA サイクルの推進とケアの質の向上を図るため、事業所の全利用者に係る事業所単位での取組や、既存の口腔・栄養や機能訓練に関する加算等における取組に加えた利用者単位での更なる取組に対する評価を創設した。

本調査では、令和3年度の事業に引き続き、LIFE を活用した取組（特にリハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養等の多職種連携）について、その実態を把握するとともに、さらなる LIFE の活用に向けた検討を行う。また、本調査では特に LIFE の入力及び活用に関する事業所の負担の推移、フィードバックの利活用の状況とその効果及び課題等に焦点を当てた。

2. 調査対象事業所

LIFE に関連した加算を算定している事業所・施設（以下、「LIFE 登録済事業所」）、および LIFE へのデータ登録がない事業所・施設（以下、「LIFE 未登録事業所」）を対象として本調査を行った。

図表 1 調査対象

分類	母集団	抽出方法	調査客体数
LIFE 登録済事業所	34,671	無作為抽出	4,000
LIFE 未登録事業所	58,389	無作為抽出	1,000

- ※ 介護保険総合 DB における令和4年3月に請求実績のある事業所を母集団とし、災害救助法の適用地域に所在している事業所を除き、無作為抽出にて調査対象事業所を選定した。
- ※ LIFE 登録済み事業所：令和4年3月に LIFE 関連加算（科学的介護推進体制加算等）の算定がある事業所を対象としてサービス別に抽出した。
- ※ LIFE 未登録事業所：令和4年3月に LIFE 関連加算（科学的介護推進体制加算等）の算定がない事業所を対象としてサービス別に抽出した。
- ※ 対象とするサービス：介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、通所介護、認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション

3. 調査期間

調査期間は、令和4年9月5日～令和5年1月20日とした。

4. 調査方法

LIFE 登録済み事業所については、LIFE を通じて調査を実施した。事業所は LIFE へログインし、調査に係る資料一式をシステム上からダウンロードした。事業所は調査票（Excel 形式）に必要な事項を記入し、メールにて調査事務局へ回答済み調査票を送付した。

LIFE 未登録事業所については、調査専用サイトを設置して調査を実施した。事業所は調査専用サイトへログインし、調査に係る資料一式をシステム上からダウンロードした。事業所は調査票（Excel 形式）に必要な事項を記入し、調査専用サイトへ回答済み調査票をアップロードして調査に回答した。

5. 調査項目

主な調査項目は以下の通りである。本調査で使用した調査票は、参考資料 1 および参考資料 2 として添付した。

● LIFE 登録済事業所

- 基本情報・職員体制
- 使用している介護ソフト・PC 等の台数
- LIFE へのデータ入力状況
 - ✧ データ入力する職員の属性・人数
 - ✧ LIFE へのデータ登録方法
 - ✧ インポート機能の利便性
 - ✧ LIFE 利用における利用者 1 人당りに要する時間
 - ✧ LIFE データ登録に関する負担
- LIFE の利用状況
 - ✧ LIFE の利用場面
 - ✧ LIFE 活用により、ケアの一連の活動のプロセスで役に立った点
 - ✧ LIFE 利用に当たって新たに開始した取組
 - ✧ 委員会や多職種連携等における LIFE の活用状況
 - ✧ LIFE を利用したケアの質の向上に向けた取組についての課題
- LIFE 関連加算に関する取組の状況
 - ✧ 加算の算定に当たり、新たに開始した取組
 - ✧ 加算を算定している利用者数と、状態の評価に要する時間
 - ✧ 利用者の状態の頻度
 - ✧ 加算の算定における課題

● LIFE 未登録事業所

- 基本情報・職員体制
- 使用している介護ソフト
- 利用者および自事業所に関するデータ分析状況
 - ✧ データ分析の内容および頻度
 - ✧ データを活用した多職種での議論状況
- 利用者・家族への介護状態のフィードバック状況
 - ✧ フィードバックの実施頻度や説明内容、説明対象者
- ケアの質の向上に向けた PDCA サイクルの取組
 - ✧ ケアの質の向上に向けた PDCA サイクルの取組において、事業所で実施していること
 - ✧ ケアの質の向上に向けた PDCA サイクルの取組における課題
- LIFE の今後の利用意向
 - ✧ LIFE の今後の利用予定
 - ✧ 現在 LIFE を利用していない理由

6. 調査結果

(1) 回収状況

本調査の回収状況は以下の通りであった。

図表 2 回収状況

	発送数	回収数	回収率	有効回収率
LIFE 登録済事業所	4,000 件	1,475 件	36.9%	36.9%
LIFE 未登録事業所	1,000 件	224 件	22.4%	22.4%

※ 令和 5 年 1 月 20 日時点

サービス別の回答数は以下の通りであった。

図表 3 サービス別の回答数（LIFE 登録済み事業所）

件数	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	通所介護	介護認知症対応型通所	特定施設入居者生活介護	認知症対応型共同生活介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	通所リハビリテーション	訪問リハビリテーション
1475	167	125	83	182	88	183	202	158	55	164	68
100.0%	11.3%	8.5%	5.6%	12.3%	6.0%	12.4%	13.7%	10.7%	3.7%	11.1%	4.6%

図表 4 サービス別の回答数（LIFE 未登録事業所）

件数	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	通所介護	介護認知症対応型通所	特定施設入居者生活介護	認知症対応型共同生活介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	通所リハビリテーション	訪問リハビリテーション
224	28	20	17	28	17	17	21	24	18	24	10
100.0%	12.5%	8.9%	7.6%	12.5%	7.6%	7.6%	9.4%	10.7%	8.0%	10.7%	4.5%

(2) 調査結果

① LIFE 登録済事業所

1. 基本情報

LIFE 登録済事業所の基本情報は以下の通りであった。

図表 5 定員数

	件数	5人未満	5～10人未満	10～15人未満	15～20人未満	20～30人未満
合 計	1475	6 0.4%	59 4.0%	83 5.6%	196 13.3%	348 23.6%

30～40人未満	40～60人未満	60～80人未満	80～100人未満	100人以上	無回答	平均
121 8.2%	229 15.5%	115 7.8%	101 6.8%	173 11.7%	44 3.0%	48.98

図表 6 利用者数

	件数	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下	41～50人以下
合 計	1475	12 0.8%	79 5.4%	289 19.6%	274 18.6%	93 6.3%	142 9.6%

51～60人以下	61～70人以下	71～80人以下	81～90人以下	91～100人以下	101人以上	無回答	平均
104 7.1%	76 5.2%	85 5.8%	86 5.8%	81 5.5%	117 7.9%	37 2.5%	51.86

図表 7 事業所の職員数（常勤換算人数）

	件数	0人	1 ～ 5人未満	5 ～ 10人未満	10 ～ 15人未満	15 ～ 20人未満	20 ～ 25人未満	25 ～ 30人未満	30 ～ 35人未満	35 ～ 40人未満	40 ～ 45人未満	45 ～ 50人未満	50人以上	無回答	平均
介護職(介護福祉士除く)		208	560	361	173	85	26	19	8	6	3	4	3	19	6.54
	1475	14.1%	38.0%	24.5%	11.7%	5.8%	1.8%	1.3%	0.5%	0.4%	0.2%	0.3%	0.2%	1.3%	
介護福祉士		127	370	458	198	105	54	53	45	16	9	5	16	19	9.97
	1475	8.6%	25.1%	31.1%	13.4%	7.1%	3.7%	3.6%	3.1%	1.1%	0.6%	0.3%	1.1%	1.3%	
介護支援専門員		580	861	11	3		1							19	0.96
	1475	39.3%	58.4%	0.7%	0.2%		0.1%							1.3%	
社会福祉士		1203	244	9										19	0.28
	1475	81.6%	16.5%	0.6%										1.3%	
精神保健福祉士		1441	15											19	0.01
	1475	97.7%	1.0%											1.3%	
相談員		882	567	7										19	0.61
	1475	59.8%	38.4%	0.5%										1.3%	
歯科衛生士		1409	47											19	0.05
	1475	95.5%	3.2%											1.3%	
管理栄養士		1060	393	2			1							19	0.41
	1475	71.9%	26.6%	0.1%			0.1%							1.3%	
栄養士(管理栄養士除く)		1355	99	1	1									19	0.11
	1475	91.9%	6.7%	0.1%	0.1%									1.3%	
理学療法士		1014	366	67	5	3		1						19	0.87
	1475	68.7%	24.8%	4.5%	0.3%	0.2%		0.1%						1.3%	
作業療法士		1140	295	18	2		1							19	0.5
	1475	77.3%	20.0%	1.2%	0.1%		0.1%							1.3%	
言語聴覚士		1342	111	2	1									19	0.14
	1475	91.0%	7.5%	0.1%	0.1%									1.3%	
看護職員		448	662	182	110	33	11	2	3	4		1		19	3.59
	1475	30.4%	44.9%	12.3%	7.5%	2.2%	0.7%	0.1%	0.2%	0.3%		0.1%		1.3%	
歯科医師		1450	6											19	0.01
	1475	98.3%	0.4%											1.3%	
医師		1192	258	6										19	0.27
	1475	80.8%	17.5%	0.4%										1.3%	
その他の職員		848	395	128	49	21	10	2	1			1	1	19	2.1
	1475	57.5%	26.8%	8.7%	3.3%	1.4%	0.7%	0.1%	0.1%			0.1%	0.1%	1.3%	

図表 8 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数）

	件数	0人	1 ～ 5人未満	5 ～ 10人未満	10 ～ 15人未満	15 ～ 20人未満	20 ～ 25人未満	25 ～ 30人未満	30 ～ 35人未満	35 ～ 40人未満	40 ～ 45人未満	45 ～ 50人未満	50人以上	無回答	平均
介護職(介護福祉士除く)		889	90	24	7		1	1						463	0.47
	1475	60.3%	6.1%	1.6%	0.5%		0.1%	0.1%						31.4%	
介護福祉士		863	115	21	3	5		3	2					463	0.66
	1475	58.5%	7.8%	1.4%	0.2%	0.3%		0.2%	0.1%					31.4%	
介護支援専門員		936	76											463	0.12
	1475	63.5%	5.2%											31.4%	
社会福祉士		979	33											463	0.05
	1475	66.4%	2.2%											31.4%	
精神保健福祉士		1011	1											463	0
	1475	68.5%	0.1%											31.4%	
相談員		957	55											463	0.09
	1475	64.9%	3.7%											31.4%	
歯科衛生士		996	16											463	0.03
	1475	67.5%	1.1%											31.4%	
管理栄養士		934	78											463	0.13
	1475	63.3%	5.3%											31.4%	
栄養士(管理栄養士除く)		993	19											463	0.02
	1475	67.3%	1.3%											31.4%	
理学療法士		880	119	12									1	463	0.38
	1475	59.7%	8.1%	0.8%									0.1%	31.4%	
作業療法士		921	89	1							1			463	0.2
	1475	62.4%	6.0%	0.1%							0.1%			31.4%	
言語聴覚士		981	30			1								463	0.07
	1475	66.5%	2.0%			0.1%								31.4%	
看護職員		851	132	26	3									463	0.47
	1475	57.7%	8.9%	1.8%	0.2%									31.4%	
歯科医師		1002	10											463	0.01
	1475	67.9%	0.7%											31.4%	
医師		876	124	8	3									464	0.29
	1475	59.4%	8.4%	0.5%	0.2%									31.5%	
その他の職員		892	96	15	3	2	2			1	1			463	0.48
	1475	60.5%	6.5%	1.0%	0.2%	0.1%	0.1%			0.1%	0.1%			31.4%	

図表 9 使用している介護ソフト（完全導入）（複数回答可）

	件数	ほのぼののシリーズ（NDソフトウェア株式会社）	ワイズマンシステムSP（株式会社ワイズマン）	NHCOPELIFE（富士通株式会社）	カイボケ（株式会社エス・エム・エス）	薬すけ（ニッブクケアサービス株式会社）	すこやかサン（株式会社EMシス）	アコネク（株式会社アコネク）	ちようじゅ（株式会社アコネク）	その他	介護ソフトは使用していない	無回答
合計	1475	273 18.5%	226 15.3%	42 2.8%	22 1.5%	3 0.2%	12 0.8%	88 6.0%	22 1.5%	258 17.5%	104 7.1%	436 29.6%

図表 10 使用している介護ソフト（一部導入）（複数回答可）

	件数	ほのぼののシリーズ（NDソフトウェア株式会社）	ワイズマンシステムSP（株式会社ワイズマン）	NHCOPELIFE（富士通株式会社）	カイボケ（株式会社エス・エム・エス）	薬すけ（ニッブクケアサービス株式会社）	すこやかサン（株式会社EMシス）	アコネク（株式会社アコネク）	ちようじゅ（株式会社アコネク）	その他	介護ソフトは使用していない	無回答
合計	1475	114 7.7%	90 6.1%	32 2.2%	24 1.6%	3 0.2%	2 0.1%	10 0.7%	2 0.1%	190 12.9%	104 7.1%	933 63.3%

図表 11 介護ソフトへの記録に使用している各端末の台数

	件数	0台	1～2台以下	3～5台以下	6～10台以下	11～15台以下	16～20台以下
PC（パーソナルコンピュータ）	1475	18 1.2%	529 35.9%	406 27.5%	200 13.6%	98 6.6%	52 3.5%
タブレット端末	1475	777 52.7%	294 19.9%	147 10.0%	101 6.8%	31 2.1%	9 0.6%
スマートフォン	1475	1251 84.8%	33 2.2%	22 1.5%	23 1.6%	18 1.2%	12 0.8%

21～25台以下	26～30台以下	31～35台以下	36～40台以下	41～45台以下	46～50台以下	51台以上	無回答	平均
24 1.6%	16 1.1%	6 0.4%	8 0.5%	2 0.1%	2 0.1%	3 0.2%	111 7.5%	5.79
2 0.1%	2 0.1%					1 0.1%	111 7.5%	1.83
3 0.2%	2 0.1%						111 7.5%	0.68

2. LIFE へのデータ入力状況

LIFE への記録に使用している PC 端末の台数は、1～2 台所有している施設が多く、1 施設当たり平均 2.88 台であった。

図表 12 LIFE への記録に使用している PC 端末の台数

	件数	0 台	1 ～ 2 台 以下	3 ～ 5 台 以下	6 ～ 10 台 以下	11 ～ 15 台 以下	16 ～ 20 台 以下	21 ～ 25 台 以下	26 ～ 30 台 以下	31 ～ 35 台 以下	36 ～ 40 台 以下	41 ～ 45 台 以下	46 ～ 50 台 以下	51 台 以上	無回答	平均
合 計	1475	14 0.9%	904 61.3%	289 19.6%	112 7.6%	20 1.4%	16 1.1%	6 0.4%	2 0.1%		1 0.1%			1 0.1%	110 7.5%	2.88

LIFE ヘデータ入力する職員としては、介護職（介護福祉士含む）が最も多く、平均 3.69 人であった。次いで、看護職員、介護支援専門員、理学療法士などが、データ入力する職員数が比較的多い。

図表 13 LIFEヘデータ入力する職員の人数

	件数	0 人	1 ～ 5 人 未満	5 ～ 10 人 未満	10 ～ 15 人 未満	15 ～ 20 人 未満	20 ～ 25 人 未満	25 ～ 30 人 未満	30 ～ 35 人 未満	35 ～ 40 人 未満	40 ～ 45 人 未満	45 ～ 50 人 未満	50 人 以上	無回答	平均
介護職(介護福祉士含む)	1475	662 44.9%	578 39.2%	57 3.9%	47 3.2%	29 2.0%	25 1.7%	18 1.2%	18 1.2%	6 0.4%	9 0.6%	3 0.2%	11 0.7%	12 0.8%	3.69
介護支援専門員	1475	678 46.0%	776 52.6%	3 0.2%	3 0.2%	2 0.1%		1 0.1%						12 0.8%	0.75
社会福祉士	1475	1284 87.1%	179 12.1%											12 0.8%	0.16
精神保健福祉士	1475	1452 98.4%	11 0.7%											12 0.8%	0.01
相談員	1475	1115 75.6%	347 23.5%	1 0.1%										12 0.8%	0.33
歯科衛生士	1475	1389 94.2%	73 4.9%	1 0.1%										12 0.8%	0.07
管理栄養士	1475	1069 72.5%	392 26.6%	2 0.1%										12 0.8%	0.38
栄養士(管理栄養士除く)	1475	1433 97.2%	29 2.0%	1 0.1%										12 0.8%	0.03
理学療法士	1475	1003 68.0%	388 26.3%	66 4.5%	4 0.3%	2 0.1%								12 0.8%	0.83
作業療法士	1475	1140 77.3%	302 20.5%	20 1.4%	1 0.1%									12 0.8%	0.47
言語聴覚士	1475	1319 89.4%	143 9.7%	1 0.1%										12 0.8%	0.13
看護職員	1475	997 67.6%	357 24.2%	59 4.0%	37 2.5%	8 0.5%	3 0.2%	2 0.1%						12 0.8%	1.16
歯科医師	1475	1453 98.5%	10 0.7%											12 0.8%	0.01
医師	1475	1391 94.3%	70 4.7%	2 0.1%										12 0.8%	0.07
その他	1475	1057 71.7%	394 26.7%	11 0.7%									1 0.1%	12 0.8%	0.49

LIFE 利用開始前から PC 操作に慣れている職員がいたと回答した事業所・施設が 72.3%だった。そのため、利用開始に当たって、PC 操作に慣れている職員や ICT を担当する職員を新たに雇用了事業所・施設の割合はそれぞれ 0.9%、0.9%にとどまる。また、ICT を担当する職員を配置していない事業所・施設が 70.4%を占める。

図表 14 LIFE登録開始に当たっての職員雇用状況

	件数	はい	いいえ	無回答
LIFE登録開始前からPC操作に慣れている職員がいましたか	1475	1066 72.3%	406 27.5%	3 0.2%
LIFE登録開始に当たり、PC操作に慣れている職員を新たに雇用しましたか	1475	13 0.9%	1453 98.5%	9 0.6%
LIFE登録開始に当たり、事業所内でICTを担当する職員を新たに雇用しましたか	1475	13 0.9%	1453 98.5%	9 0.6%

図表 15 L I F E登録前後での、I C Tを担当する職員の配置状況

	件数	ＬＩＦＥ登録前からの、ＩＣＴを担当する職員がいた	ＬＩＦＥ登録に当たって、新たにＩＣＴを担当する職員を配置した	ＩＣＴを担当する職員は配置していない	無回答
合 計	1475	304 20.6%	109 7.4%	1039 70.4%	23 1.6%

1事業所・施設当たりのLIFEデータ登録者数は平均45.3人であり、事業所・施設の利用者数に占める割合としては平均86.3%だった。

図表 16 LIFEデータ登録者数

件数	0人	1~5人以下	6~10人以下	11~20人以下	21~30人以下	31~40人以下	41~50人以下	51~60人以下	61~70人以下	71~80人以下	81~90人以下	91~100人以下	101人以上	無回答	平均
合計	39 1475 2.6%	155 6.6%	97 4.0%	251 17.0%	241 16.3%	84 5.7%	121 8.2%	95 6.4%	53 3.6%	52 3.5%	47 3.2%	52 3.5%	133 9.0%	55 3.7%	45.32

図表 17 L I F E データ登録者割合

	件数	100%以上	1800%-未満	60%-80%	40%-60%	40%未満	無回答	平均
合計	1475	778 52.7%	184 12.5%	60 4.1%	70 4.7%	293 19.9%	90 6.1%	86.3%

LIFE へのデータ登録方法として、インポート機能を活用している事業所・施設が 74.9%を占める。サービス別では、介護老人福祉施設や介護老人保健施設でインポート機能を利用している施設の割合がそれぞれ 89.8%、88.0%と比較的高かった。一方で、介護医療院や訪問リハビリテーションでは LIFE 上で直接入力している事業所の割合がそれぞれ 50.6%、44.1%と比較的高かった。

インポート機能の利便性について、便利だと感じている事業所・施設（「便利だと思う」「やや便利だと思う」と回答した事業所・施設の合計）の割合は 50.4%を占める。サービス別では、介護老人福祉施設や介護老人保健施設でインポート機能を便利だと感じている事業所・施設の割合がそれぞれ 69.5%、67.2%と比較的高かった。一方で、介護医療院や認知症対応型共同生活介護では便利だと感じている事業所・施設の割合がそれぞれ 33.7%、39.1%と比較的低かった。

図表 18 L I F E へのデータ登録方法（複数回答可）

	件数	インポート機能の利用	LIFE 上での直接入力	その他	無回答
合 計	1475	1105 74.9%	496 33.6%	19 1.3%	5 0.3%

図表 19 L I F E へのデータ登録方法 - サービス別（複数回答可）

	件数	インポート機能の利用	LIFE 上での直接入力	その他
介護老人福祉施設	167	89.8%	22.2%	0.0%
介護老人保健施設	125	88.0%	22.4%	0.0%
介護医療院	83	59.0%	50.6%	0.0%
通所介護	182	72.0%	35.7%	1.6%
認知症対応型通所介護	88	68.2%	38.6%	1.1%
特定施設入居者生活介護	183	76.0%	27.3%	3.3%
認知症対応型共同生活介護	202	65.8%	38.1%	2.0%
小規模多機能型居宅介護	158	73.4%	36.1%	1.9%
看護小規模多機能型居宅介護	55	78.2%	34.5%	0.0%
通所リハビリテーション	164	79.9%	34.8%	0.6%
訪問リハビリテーション	68	63.2%	44.1%	1.5%

図表 20 インポート機能の利便性について

	件数	便利だと思う	やや便利だと思う	どちらでもない	やや不便だと思う	不便だと思う	無回答
合 計	1475	448 30.4%	295 20.0%	239 16.2%	107 7.3%	61 4.1%	325 22.0%

インポート機能を不便だと感じる点として、使用手順が理解しづらいことが 6.0%、インポート時にエラーが生じることが 5.9%を占める。

図表 21 インポート機能についての不便だと感じる点（複数回答可）

	件数	インポート機能の使用手順が理解しづらい	インポート時にエラーが頻発する	インポート機能が早い	介護ソフトからインポートするのが難しい	その他	無回答
合 計	1475	89 6.0%	87 5.9%	54 3.7%	66 4.5%	42 2.8%	1283 87.0%

利用者 1 人当たりの LIFE に係る時間（1 ヶ月当たり）として、利用者の状態の評価に平均 107.7 分、介護ソフトまたは紙媒体への入力・記録に 96.16 分、インポート機能の利用に 33.97 分、LIFE への直接入力に 39.98 分要している。

図表 22 利用者 1 人当たりにかかった時間（1 ヶ月当たり）

	件数	10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分～40分未満	40分～50分未満	50分～60分未満
利用者の状態の評価にかかった時間	1475	102 6.9%	319 21.6%	143 9.7%	263 17.8%	40 2.7%	7 0.5%
介護ソフト又は紙媒体への入力・記載した時間	1475	218 14.8%	337 22.8%	114 7.7%	232 15.7%	33 2.2%	3 0.2%
インポート機能の利用にかかった時間	1475	444 30.1%	375 25.4%	80 5.4%	195 13.2%	15 1.0%	
LIFE上での直接入力にかかった時間	1475	546 37.0%	234 15.9%	78 5.3%	139 9.4%	19 1.3%	4 0.3%

6 0 5 7 0 分 未 満	7 0 5 8 0 分 未 満	8 0 5 9 0 分 未 満	満 9 0 5 1 0 0 分 未	未 満 1 0 0 5 1 0 分	未 満 1 0 0 5 1 2 0 分	1 2 0 分 以 上	無 回 答	平 均
215 14.6%	5 0.3%	2 0.1%	20 1.4%	1 0.1%	1 0.1%	189 12.8%	168 11.4%	107.7
176 11.9%	2 0.1%	2 0.1%	21 1.4%	2 0.1%	2 0.1%	172 11.7%	161 10.9%	96.16
100 6.8%	1 0.1%		6 0.4%			42 2.8%	217 14.7%	33.97
106 7.2%	2 0.1%		6 0.4%			91 6.2%	250 16.9%	39.98

LIFE へ直接入力している理由としては、算定人数が少ないため手入力の方が早いと回答した事業所・施設が比較的多く、8.3%を占める。

図表 23 LIFEヘデータを直接入力している理由（複数回答可）

	件 数	使用 している 介護ソフト がLIFEに 全く対応 していない	使用 している 介護ソフト がLIFEに 一部対応 していない （対応して いない介護 ソフトがあ る等）	使用 している 介護ソフト はLIFEに 対応して いるが、事 業	使用 している 介護ソフト はLIFEに 対応して いるが、介 護	使用 している 介護ソフト はLIFEに 対応して いるが、イン ポート機能 を使うのが 難しい	利用 者数が少 ない又は 加算を算 定している 人数が少 ないため	そ の 他	無 回 答
合 計	1475	59 4.0%	75 5.1%	24 1.6%	76 5.2%	87 5.9%	122 8.3%	136 9.2%	1001 67.9%

LIFE へのデータ入力に負担を感じている事業所・施設（「負担を感じる」「やや負担を感じる」と回答した事業所・施設の合計）が80.1%を占める。負担や課題を感じた点としては、LIFE の操作方法の理解が44.8%を占める。次いで、LIFE へのデータ入力作業が43.3%、利用者の状態の評価が39.7%、データ提出後の確認が37.1%を占める。

図表 24 LIFEへのデータ登録の過程での負担

	件数	負担を感じる	やや負担を感じる	どちらでもない	あまり負担を感じない	負担を感じない	無回答
合 計	1475	624 42.3%	557 37.8%	214 14.5%	63 4.3%	12 0.8%	5 0.3%

図表 25 LIFEへのデータ登録の過程で、負担や課題を感じた・感じる点（複数回答可）

	件数	利用者の状態の評価	LIFEの操作方法の理解	LIFEのアカウント登録	ランチャのダウンロード	LIFEの起動・ログイン	職員IDの設定	利用者IDの設定	LIFEへのデータ入力作業	介護ソフトへの入力	LIFEへのCSVインポート	ヘルプデスクの利用	提出期限がレセプト請求等と同じ毎月10日であること	データの提出が確実に行われたかの確認	その他	無回答
合 計	1475	586 39.7%	661 44.8%	256 17.4%	101 6.8%	212 14.4%	237 16.1%	185 12.5%	639 43.3%	520 35.3%	322 21.8%	158 10.7%	494 33.5%	547 37.1%	126 8.5%	286 19.4%

LIFE へのデータ登録方法別に見ても、いずれのセグメント（無回答を除く）でも LIFE へのデータ入力に負担を感じている事業所・施設が 75%を超えていた。その中では、インポート機能のみを活用している事業所・施設で、LIFE へのデータ入力に負担を感じている事業所・施設が 78.6%と比較的低かった。

図表 26 LIFEへのデータ登録の過程での負担（LIFEへのデータ登録方法別）

	件数	負担を感じる	やや負担を感じる	どちらでもない	あまり負担を感じない	負担を感じない	無回答
合 計	1475	624 42.3%	557 37.8%	214 14.5%	63 4.3%	12 0.8%	5 0.3%
インポート・LIFE直接入力の併用	147	75 51.0%	51 34.7%	17 11.6%	3 2.0%	0 0.0%	1 0.7%
インポート機能のみ活用	956	385 40.3%	366 38.3%	149 15.6%	44 4.6%	10 1.0%	2 0.2%
LIFE上での直接入力のみ	348	158 45.4%	129 37.1%	44 12.6%	15 4.3%	2 0.6%	0 0.0%
その他	19	5 26.3%	10 52.6%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%

事業所・施設の職員規模別では、職員数が 51 人以上の比較的大規模の事業所で、負担を感じている事業所・施設の割合が 85.7%と最も高かった。次いで、10 人以下の事業所・施設が 82.7%

と負担を感じている事業所・施設の割合が高かった。

図表 27 LIFEへのデータ登録の過程での負担（事業所・施設の職員規模別）

	件数	負担を感じる	やや負担を感じる	どちらでもない	あまり負担を感じない	負担を感じない	無回答
合 計		624	557	214	63	12	5
	1475	42.3%	37.8%	14.5%	4.3%	0.8%	0.3%
10人以下		123	116	41	6	2	1
	289	42.6%	40.1%	14.2%	2.1%	0.7%	0.3%
11-20人		202	202	82	24	6	3
	519	38.9%	38.9%	15.8%	4.6%	1.2%	0.6%
21-30人		97	83	29	14	1	0
	224	43.3%	37.1%	12.9%	6.3%	0.4%	0.0%
31-40人		43	32	25	8	0	0
	108	39.8%	29.6%	23.1%	7.4%	0.0%	0.0%
41-50人		30	32	9	5	1	0
	77	39.0%	41.6%	11.7%	6.5%	1.3%	0.0%
51人以上		129	92	28	6	2	1
	258	50.0%	35.7%	10.9%	2.3%	0.8%	0.4%

3. LIFE の利活用状況

LIFE を利用する場面として、利用者状態の管理や把握が 62. 0%と最も高い。次いで、利用者情報の多職種連携が 31. 9%、ケアの質の向上に関する方針の策定・実施が 26. 2%を占める。一方で、いずれにも当てはまらないと回答した事業所・施設が 20. 8%を占める。

図表 28 LIFEの利用場面（複数回答可）

	件数	ケアの質の向上に関する方針の策定・実施	利用者状態の管理・課題把握	利用者状態の多職種での情報連携	ファミリードバックス・ケア票を用いた提供	ファミリードバックスへの説明を用いた利用	その他	上記のいずれにも当てはまらない	無回答
合 計		387	914	471	296	70	33	307	13
	1475	26.2%	62.0%	31.9%	20.1%	4.7%	2.2%	20.8%	0.9%

LIFE がケアの一連のプロセスで役に立った点として、利用者状態の評価や介入について考えるきっかけとなったと回答した事業所・施設が 36. 4%で最も多い。次いで、今まで把握していなかった利用者の状態を評価するようになった事業所・施設が 33. 6%、LIFE ヘデータ入力・管理することで課題を把握しやすくなった事業所・施設が 20. 2%だった。

図表 29 LIFEを利用することで、ケアの一連の活動のプロセスの中で役に立った点（複数回答可）

	件数	LIFEの活用が、職員に対して、利用者の状態の評価や介入について考えることを意識付けるきっかけになった	フリードバック票を用いて、事業所の傾向を把握することができるようになった	ケアの内容を議論する組織体等を設けた（又は組織体を明確化した）	ケアの質の向上に関する方針を策定した	ケアの質の向上に関する方針を事業所内で周知した	これまで把握していなかった利用者の状態についても、評価するようになった
合 計	1475	537 36.4%	184 12.5%	85 5.8%	85 5.8%	112 7.6%	496 33.6%
LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法が統一された	285 19.3%						
LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が向上した	276 18.7%						
LIFEを利用した取組を通じて、全利用者の状態の評価を実施するようになった	270 18.3%						
LIFEへのデータ提出のための利用者の状態の評価の結果、利用者の問題点・課題がこれまでよりも把握できるようになった	226 15.3%						
LIFEに利用者のデータを入力し管理することで、利用者の状態や課題をこれまでよりも把握しやすくなった	298 20.2%						
LIFEでデータを一元管理することで、多職種での情報連携がしやすくなった	176 11.9%						
LIFEへのデータ提出を通じて、利用者の経時的な状態変化等を分析するようになった（分析する予定）	153 10.4%						
ケア計画の見直しにむけた指標（KPI）を設定した	10 0.7%						
その他	24 1.6%						
上記のいずれにも当てはまらない	286 19.4%						
無回答	7 0.5%						

LIFEの利用開始に当たって実施した取組として、PC等の端末やインターネット環境の整備が33.7%と最も多かった。次いで、多職種連携が28.9%、評価方法に関する職員への件数が24.8%だった。一方で、いずれにも当てはまらないと回答した事業所・施設が25.3%を占める。

図表 30 LIFEの利用に当たって、新たに開始した取組（複数回答可）

	件数	多職種連携（多職種間における日々の情報共有など）	加算の算定に必要な評価方法に関する職員への研修	PC等の端末やインターネット環境の整備	LIFEで収集した情報やフィードバック情報を利用した利用者や提供サービスの見直し・変更	LIFEで収集した情報やフィードバック情報の利用 者・家族への共有	その他	上記のいずれにも当てはまらない	無回答
合 計	1475	426 28.9%	366 24.8%	497 33.7%	275 18.6%	96 6.5%	12 0.8%	373 25.3%	9 0.6%

多職種連携の中でも、多職種間の日々の情報共有に LIFE を利用できると感じている事業所・施設が 47.5%だった。また他職種への会議体での情報共有に 37.6%、介護支援専門員との情報共有に 35.9%の事業所・施設が LIFE を利用できると感じている。

図表 31 多職種連携等の推進に利用できると感じる点（複数回答可）

	件数	有る多職種間の情報共有	介護支援専門員との情報共有	有る他職種の情報共有	その他	いも上記のいずれにも当てはまらない	無回答
合 計	1475	701 47.5%	530 35.9%	555 37.6%	31 2.1%	279 18.9%	15 1.0%

LIFE の利用に伴い、事業所・施設内の既存の委員会で議論した事業所・施設は 24.1%だった。一方で、議論を実施していない事業所・施設が 55.3%を占める。

議論した内容としては、利用者の状態の変化が 28.5%で最も多い。次いで、利用者の状態等を踏まえたケアの内容・実施方法等が 18.7%、フィードバック内容（全国平均等）が 14.8%だった。調査時点では十分なフィードバックが返せていなかったことが要因として考えられる。

図表 32 L I F Eの利用に伴い、事業所内の委員会等で行った議論

	件 数	既存の 委員会 で議論 した	新たに 委員会 等を設 置の上 に議論 した	委員 会等 の組 織体 以外 で議 論し た	そ の 他	実 施し てい ない	無 回 答
合 計	1475	356 24.1%	48 3.3%	187 12.7%	59 4.0%	816 55.3%	9 0.6%

図表 33 議論された内容（複数回答可）

	件 数	利用 者の 状態 の 変化	ド バ ッ ク 内 容 （ 全 国 平 均 等 ）	設 定 利 用 者 の 状 態 等 を 踏 ま え た 目 標	内 容 ・ 実 施 方 法 等	そ の 他	無 回 答
合 計	1475	420 28.5%	218 14.8%	159 10.8%	276 18.7%	32 2.2%	828 56.1%

LIFE を利用したケアの質の向上に向けた取組について、課題があると感じている事業所・施設が 71.1%を占める。

課題の内容としては、フィードバック票が不十分で PDCA サイクルを回しづらいことが 45.9%で最も多い。次いで、既存の取組と LIFE を利用した取組の連携ができていないことが 36.1%、ケアの質の向上について議論する場がないことが 15.8%であった。

図表 34 L I F Eを利用したケアの質の向上に向けた取組についての課題

	件 数	あ る	な い	無 回 答
合 計	1475	1049 71.1%	405 27.5%	21 1.4%

図表 35 LIFEを利用したケアの質の向上に向けた取組における課題（複数回答可）

	件数	ケアの質の向上について議論する場合（委員会等）がない	ケアの質の向上に関する方針が事業所内で周知されていない	利用者の状態の評価方法がわからない	利用者の状態の評価の結果を多職種で共有していない	既存のケアの質の向上に向けた取組とLIFE	フィードバック票が不十分でありPDCAサイクルを回しづらい	PDCAサイクルを回すのに必要な項目が収集されていない	その他	無回答
合 計	1475	233 15.8%	212 14.4%	122 8.3%	230 15.6%	532 36.1%	677 45.9%	60 4.1%	65 4.4%	419 28.4%

リハビリテーション・個別機能訓練、栄養管理、口腔管理に係る実施計画書を利用している事業所・施設が 53.8%を占める。作成方法としては、介護ソフトで作成している事業所・施設が 32.0%を占める。

図表 36 リハビリテーション・個別機能訓練、栄養管理、口腔管理に係る実施計画書の利用

	件数	利用している	利用していない	無回答
合 計	1475	794 53.8%	659 44.7%	22 1.5%

図表 37 リハビリテーション・個別機能訓練、栄養管理、口腔管理に係る実施計画書

	件数	介護ソフトで作成している	紙媒体で作成している	介護ソフトと併用して紙媒体	無回答
合 計	1475	472 32.0%	201 13.6%	138 9.4%	664 45.0%

LIFE 関連加算を 2021 年から取得開始した事業所・施設が 77.1%を占める。科学的介護推進体制加算を算定している事業所・施設が 93.4%と最も多い。

図表 41 科学的介護推進体制加算：本加算を算定している利用者数

	件数	0人	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下
合計	1378	3 0.2%	11 0.8%	61 4.4%	264 19.2%	246 17.9%	77 5.6%

41～50人以下	51～60人以下	61～70人以下	71～80人以下	81～90人以下	91～100人以下	101人以上	無回答	平均
125 9.1%	107 7.8%	63 4.6%	77 5.6%	77 5.6%	79 5.7%	151 11.0%	37 2.7%	55.69

図表 42 科学的介護推進体制加算：利用者1人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～40分未満	40～50分未満	50～60分未満
合計	1378	99 7.2%	416 30.2%	183 13.3%	353 25.6%	35 2.5%	6 0.4%

60～70分未満	70～80分未満	80～90分未満	90分未満	100分未満	101～120分以上	無回答	平均
172 12.5%	1 0.1%	1 0.1%	9 0.7%	1 0.1%	56 4.1%	46 3.3%	48.56

図表 43 科学的介護推進体制加算：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	1か月に1回以上	2か月に1回程度	3か月に1回程度	6か月に1回程度	無回答
合計	1378	273 19.8%	35 2.5%	383 27.8%	668 48.5%	19 1.4%

図表 44 科学的介護推進体制加算：L I F Eの利用に当たって感じている課題（複数回答可）

	件数	A D L の評価方法がわかりにくい	栄養状態の評価方法がわかりにくい	口腔機能の評価方法がわかりにくい	認知症の状況の評価方法がわかりにくい	疾病状況を正確に把握することが難しい	服薬情報を正確に把握することが難しい	疾病状況の入力に手間がかかる
合 計	1378	287 20.8%	176 12.8%	133 9.7%	277 20.1%	387 28.1%	259 18.8%	421 30.6%

服薬情報の入力に手間がかかる	A D L の評価に手間がかかる	栄養状態の評価に手間がかかる	口腔機能の評価に手間がかかる	認知症の状況の評価に手間がかかる	疾病状況の評価に手間がかかる	服薬情報の評価に手間がかかる	修加算・評価方法に関する職員への研修ができていない	収集した情報を利用したサービス計画や提供サービスの見直しに難しい	その他	感じている課題は特になし	無回答
454 32.9%	218 15.8%	135 9.8%	94 6.8%	171 12.4%	147 10.7%	187 13.6%	398 28.9%	479 34.8%	63 4.6%	176 12.8%	12 0.9%

図表 45 個別機能訓練加算（Ⅱ）：本加算を取得するために、配置している職員の属性（複数回答可）

	件数	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護職員	柔道整復師	あん摩マッサージ指圧師	鍼灸師	無回答
合 計	263	103 39.2%	64 24.3%	9 3.4%	131 49.8%	57 21.7%	16 6.1%	11 4.2%	2 0.8%

図表 46 個別機能訓練加算（Ⅱ）：利用者 1 人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分～40分未満	40分～50分未満	50分～60分未満
合 計	263	25 9.5%	77 29.3%	47 17.9%	64 24.3%	3 1.1%	

60 ～ 70分未満	70 ～ 80分未満	80 ～ 90分未満	満90 ～ 100分未満	未満100 ～ 110分	未満110 ～ 120分	120分以上	無回答	平均
26 9.9%	1 0.4%					11 4.2%	9 3.4%	35.48

図表 47 個別機能訓練加算（Ⅱ）：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	2週間に1回以上	1か月に1回程度	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
合 計	263	10 3.8%	35 13.3%	2 0.8%	211 80.2%	5 1.9%

図表 48 個別機能訓練加算（Ⅱ）：L I F Eの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件数	個別機能訓練加算（Ⅰ）の算定要件を満たすのが難しい	画収や集めた情報を利用しサービス計画が難しい	その他	感じている課題は特にない	無回答
合 計	263	24 9.1%	128 48.7%	25 9.5%	101 38.4%	5 1.9%

図表 49 A D L維持等加算（Ⅰ）・（Ⅱ）：本加算取得のために、A D Lを測定している職員の属性（複数回答可）

	件数	医師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護職員	介護職員	その他	無回答
合 計	124	2 1.6%	42 33.9%	24 19.4%	1 0.8%	55 44.4%	52 41.9%	19 15.3%	

図表 50 A D L維持等加算（Ⅰ）・（Ⅱ）：本加算を算定している利用者数

	件数	0人	1 ～ 5人 以下	6 ～ 10人 以下	11 ～ 20人 以下	21 ～ 30人 以下	31 ～ 40人 以下
合 計	124	1 0.8%			12 9.7%	8 6.5%	11 8.9%

4 1 ～ 5 0人 以下	5 1 ～ 6 0人 以下	6 1 ～ 7 0人 以下	7 1 ～ 8 0人 以下	8 1 ～ 9 0人 以下	9 1 ～ 10 0人 以下	10 1 人 以上	無 回 答	平 均
22 17.7%	15 12.1%	11 8.9%	11 8.9%	9 7.3%	4 3.2%	12 9.7%	8 6.5%	60.18

図表 51 A D L維持等加算（Ⅰ）・（Ⅱ）：利用者1人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10 ～ 20分未満	20 ～ 30分未満	30 ～ 40分未満	40 ～ 50分未満	50 ～ 60分未満
合 計	124	19 15.3%	55 44.4%	14 11.3%	19 15.3%	3 2.4%	

60 ～ 70分未満	70 ～ 80分未満	80 ～ 90分未満	90分未満	100分未満	100分未満	120分以上	無 回 答	平 均
2 1.6%						3 2.4%	9 7.3%	21.12

図表 52 A D L維持等加算（Ⅰ）・（Ⅱ）：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	1か月に1回以上	2か月に1回程度	3か月に1回程度	6か月に1回程度	無 回 答
合 計	124	22 17.7%	4 3.2%	32 25.8%	64 51.6%	2 1.6%

図表 53 ADL維持等加算（Ⅰ）・（Ⅱ）：LIFEの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件数	方利用者がわ かり状態の く評価	に利用者が か状態の 評価	がより 適切な 評価 指標	その他	に感じて いる 課題は 特	無 回 答
合 計	124	28 22.6%	47 37.9%	1 0.8%	13 10.5%	47 37.9%	

図表 54 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算（A）ロ・（B）ロ・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：①リハビリテーションマネジメント計画書情報加算

	件数	0人	1 ～ 5人 以下	6 ～ 10人 以下	11 ～ 20人 以下	21 ～ 30人 以下	31 ～ 40人 以下
本加算を算定している利用者数	345	68 19.7%	6 1.7%	3 0.9%	9 2.6%	10 2.9%	10 2.9%

4 1 ～ 5 0人 以下	5 1 ～ 6 0人 以下	6 1 ～ 7 0人 以下	7 1 ～ 8 0人 以下	8 1 ～ 9 0人 以下	下9 1 ～ 10 0人 以下	10 1 人 以上	無 回 答	平均
17 4.9%	17 4.9%	11 3.2%	17 4.9%	26 7.5%	32 9.3%	26 7.5%	93 27.0%	53.83

図表 55 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算（A）ロ・（B）ロ・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：利用者1人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10 ～ 20分 未満	20 ～ 30分 未満	30 ～ 40分 未満	40 ～ 50分 未満	50 ～ 60分 未満
合 計	345	56 16.2%	36 10.4%	36 10.4%	47 13.6%	17 4.9%	

60 ～ 70分 未満	70 ～ 80分 未満	80 ～ 90分 未満	満90 ～ 100分 未満	未満100 ～ 110分	未満110 ～ 120分	120分 以上	無 回 答	平均
33 9.6%	1 0.3%	1 0.3%	6 1.7%			6 1.7%	106 30.7%	38.01

図表 56 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算
(A) 口・(B) 口・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：②リハビリテーションマネジメント加算 (A) 口

	件数	0人	1 ～ 5人 以下	6 ～ 10人 以下	11 ～ 20人 以下	21 ～ 30人 以下	31 ～ 40人 以下
本加算を算定している利用者数	345	121 35.1%	23 6.7%	11 3.2%	15 4.3%	14 4.1%	10 2.9%

41 ～ 50人 以下	51 ～ 60人 以下	61 ～ 70人 以下	71 ～ 80人 以下	81 ～ 90人 以下	91 ～ 100人 以下	101 人以上	無回答	平均
4 1.2%	5 1.4%	5 1.4%	3 0.9%			1 0.3%	133 38.6%	10.75

図表 57 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算
(A) 口・(B) 口・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：利用者1人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10 ～ 20分 未満	20 ～ 30分 未満	30 ～ 40分 未満	40 ～ 50分 未満	50 ～ 60分 未満
合計	345	94 27.2%	17 4.9%	20 5.8%	21 6.1%	6 1.7%	1 0.3%

60 ～ 70分 未満	70 ～ 80分 未満	80 ～ 90分 未満	90分未満	100分未満	101分未満	120分以上	無回答	平均
19 5.5%			3 0.9%			3 0.9%	161 46.7%	18.94

図表 58 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算
(A) 口・(B) 口・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：③リハビリテーションマネジメント加算 (B) 口

	件数	0人	1 ～ 5人 以下	6 ～ 10人 以下	11 ～ 20人 以下	21 ～ 30人 以下	31 ～ 40人 以下
本加算を算定している利用者数	345	85 24.6%	29 8.4%	21 6.1%	21 6.1%	13 3.8%	10 2.9%

4 1 5 0 人 以 下	5 1 6 0 人 以 下	6 1 7 0 人 以 下	7 1 8 0 人 以 下	8 1 9 0 人 以 下	下 9 1 1 0 0 人 以 下	1 0 1 人 以 上	無 回 答	平 均
23 6.7%	13 3.8%	4 1.2%	9 2.6%	2 0.6%	4 1.2%	11 3.2%	100 29.0%	25.84

図表 59 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算
(A) ロ・(B) ロ・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：利用者 1 人当たりの状態の評
価に要する時間

	件 数	1 0 分 未 満	1 0 分 未 満	2 0 分 未 満	3 0 分 未 満	4 0 分 未 満	5 0 分 未 満	
合 計	345	65 18.8%	28 8.1%	27 7.8%	42 12.2%	17 4.9%		

6 0 分 未 満	7 0 分 未 満	8 0 分 未 満	満 9 0 分 未 満	未 1 満 0 分 未 満	未 1 満 1 分 未 満	1 2 0 分 以 上	無 回 答	平 均
34 9.9%			6 1.7%	1 0.3%		5 1.4%	120 34.8%	33.96

図表 60 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算
(A) ロ・(B) ロ・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：④理学療法、作業療法及び言
語聴覚療法に係る加算

	件 数	0 人	1 5 人 以 下	6 1 0 人 以 下	1 1 2 0 人 以 下	2 1 3 0 人 以 下	3 1 4 0 人 以 下	
本加算を算定している利用者数	345	127 36.8%	5 1.4%	6 1.7%	11 3.2%	8 2.3%	7 2.0%	

4 1 5 0 人 以 下	5 1 6 0 人 以 下	6 1 7 0 人 以 下	7 1 8 0 人 以 下	8 1 9 0 人 以 下	下 9 1 1 0 0 人 以 下	1 0 1 人 以 上	無 回 答	平 均
11 3.2%	6 1.7%	1 0.3%	1 0.3%	6 1.7%	3 0.9%	11 3.2%	142 41.2%	19.66

図表 61 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算
(A) ロ・(B) ロ・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：利用者 1 人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分～40分未満	40分～50分未満	50分～60分未満
合 計	345	100 29.0%	13 3.8%	21 6.1%	16 4.6%	6 1.7%	

60分未満	70分未満	80分未満	90分未満	100分未満	100分以上	無回答	平均
17 4.9%	1 0.3%		1 0.3%		3 0.9%	167 48.4%	19.66

図表 62 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算
(A) ロ・(B) ロ・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	1か月に1回以上	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
合 計	345	47 13.6%	4 1.2%	285 82.6%	9 2.6%

図表 63 リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算
(A) ロ・(B) ロ・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算：L I F Eの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件数	リハビリテーション （Ｂ）の算定要件を満 たすのが難しい	収集した情報を利用 したサービス計画や 提供	その他	感じている課題は 特にない	無回答
合 計	345	72 20.9%	141 40.9%	67 19.4%	103 29.9%	10 2.9%

図表 64 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組（複数回答可）

	件数	褥瘡の危険因子の評価	褥瘡の状態の評価	褥瘡の危険度向上の評価	褥瘡の状態向上の評価	その他	新たに開始した取組はない	無回答
合 計	272	86 31.6%	90 33.1%	73 26.8%	79 29.0%	8 2.9%	118 43.4%	2 0.7%

図表 65 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：褥瘡ケア計画の策定に参加している職員の属性（複数回答可）

	件数	医師	看護職員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	栄養士（管理栄養士除く）	介護職員	その他の職種	無回答
合 計	272	184 67.6%	268 98.5%	126 46.3%	90 33.1%	27 9.9%	188 69.1%	21 7.7%	216 79.4%	72 26.5%	2 0.7%

図表 66 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：褥瘡マネジメントに関する職員向けマニュアルの整備

	件数	整備している	整備していない	無回答
合 計	272	201 73.9%	67 24.6%	4 1.5%

図表 67 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：褥瘡マネジメントに関して参考になっているガイドライン（複数回答可）

	件数	褥瘡予防・管理ガイドライン（日本褥瘡学会）	科学的根拠に基づく褥瘡治療ガイドライン（日本皮膚科学会）	褥瘡診療ガイドライン（日本皮膚科学会）	創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン（日本皮膚科学会）	その他	特になし	無回答
合 計	272	166 61.0%	39 14.3%	19 7.0%	9 3.3%	9 3.3%	76 27.9%	8 2.9%

図表 68 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：利用者１人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分～40分未満	40分～50分未満	50分～60分未満
合 計	272	41 15.1%	108 39.7%	38 14.0%	53 19.5%	2 0.7%	1 0.4%

60分～70分未満	70分～80分未満	80分～90分未満	90分～満90分未満	100分～110分未満	110分～120分未満	120分以上	無回答	平均
18 6.6%		1 0.4%	1 0.4%			4 1.5%	5 1.8%	31.56

図表 69 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）を算定している利用者数

	件数	0人	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下
合 計	272	66 24.3%	49 18.0%	25 9.2%	33 12.1%	21 7.7%	5 1.8%

41～50人以下	51～60人以下	61～70人以下	71～80人以下	81～90人以下	91～100人以下	101人以上	無回答	平均
14 5.1%	7 2.6%	7 2.6%	14 5.1%	9 3.3%	8 2.9%	3 1.1%	11 4.0%	23.42

図表 70 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：褥瘡マネジメント加算（Ⅱ）を算定している利用者数

	件数	0人	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下	41～50人以下
合 計	272	94 34.6%	13 4.8%	6 2.2%	9 3.3%	14 5.1%	15 5.5%	17 6.3%

51～60人以下	61～70人以下	71～80人以下	81～90人以下	91～100人以下	101人以上	無回答	平均
8 2.9%	16 5.9%	21 7.7%	27 9.9%	8 2.9%	13 4.8%	11 4.0%	37.62

図表 71 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：褥瘡対策指導加算（Ⅱ）を算定している利用者数

	件数	0人	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下	41～50人以下
合 計	272	215 79.0%	4 1.5%	3 1.1%	7 2.6%	1 0.4%	6 2.2%	9 3.3%

51～60人以下	61～70人以下	71～80人以下	81～90人以下	91～100人以下	101人以上	無回答	平均
4 1.5%	1 0.4%	2 0.7%	2 0.7%	2 0.7%	5 1.8%	11 4.0%	8.72

図表 72 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	1週間に1回以上	2週間に1回程度	1か月に1回程度	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
合 計	272	21 7.7%	6 2.2%	55 20.2%	2 0.7%	183 67.3%	5 1.8%

図表 73 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）：L I F Eの利用に当たって、
 感じている課題（複数回答可）

	件 数	褥瘡の危険因子の評価方法がわかりにくい	褥瘡の状態の評価方法がわかりにくい	褥瘡の危険因子の評価に手間がかかる	褥瘡の状態の評価に手間がかかる	より適切な評価指標がある	褥瘡発生を防ぐ管理・予防措置が困難（褥瘡マネジメント加算（Ⅱ）・褥瘡対策指導管理（Ⅱ）の算定が難しい）	その他	感じている課題は特にない	無回答
合 計	272	27 9.9%	40 14.7%	50 18.4%	69 25.4%	4 1.5%	36 13.2%	13 4.8%	124 45.6%	3 1.1%

図表 74 排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）：排せつ支援計画の作成に参加している職員の属性（複数回答可）

	件 数	医師	看護職員	理学療法士	作業療法士	介護支援専門員	その他	無回答
合 計	201	122 60.7%	187 93.0%	62 30.8%	50 24.9%	138 68.7%	112 55.7%	

図表 75 排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）：利用者１人当たりの状態の評価に要する時間

	件 数	1 0 分 未 満	1 0 ～ 2 0 分 未 満	2 0 ～ 3 0 分 未 満	3 0 ～ 4 0 分 未 満	4 0 ～ 5 0 分 未 満	5 0 ～ 6 0 分 未 満
合 計	201	26 12.9%	71 35.3%	25 12.4%	47 23.4%	1 0.5%	1 0.5%

6 0 ～ 7 0 分 未 満	7 0 ～ 8 0 分 未 満	8 0 ～ 9 0 分 未 満	満 9 0 分	未 満 1 0 分	未 満 1 1 分	1 2 分 以 上	無 回 答	平 均
19 9.5%						9 4.5%	2 1.0%	46.91

図表 76 排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）：排せつ支援加算（Ⅰ）を算定している利用者数

	件数	0人	1 ～ 5人 以下	6 ～ 10人 以下	11 ～ 20人 以下	21 ～ 30人 以下	31 ～ 40人 以下
合 計	201	6 3.0%	2 1.0%	8 4.0%	15 7.5%	20 10.0%	10 5.0%

41 ～ 50人 以下	51 ～ 60人 以下	61 ～ 70人 以下	71 ～ 80人 以下	81 ～ 90人 以下	下91 ～ 100人 以下	101 人以上	無 回 答	平 均
14 7.0%	15 7.5%	15 7.5%	18 9.0%	33 16.4%	17 8.5%	22 10.9%	6 3.0%	64.7

図表 77 排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）：排せつ支援加算（Ⅱ）を算定している利用者数

	件数	0人	1 ～ 5人 以下	6 ～ 10人 以下	11 ～ 20人 以下	21 ～ 30人 以下	31 ～ 40人 以下
合 計	201	126 62.7%	31 15.4%	12 6.0%	15 7.5%	2 1.0%	3 1.5%

41 ～ 50人 以下	51 ～ 60人 以下	61 ～ 70人 以下	71 ～ 80人 以下	81 ～ 90人 以下	下91 ～ 100人 以下	101 人以上	無 回 答	平 均
2 1.0%	1 0.5%	2 1.0%				1 0.5%	6 3.0%	4.92

図表 78 排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）：排せつ支援加算（Ⅲ）を算定している利用者数

	件数	0人	1 ～ 5人 以下	6 ～ 10人 以下	11 ～ 20人 以下	21 ～ 30人 以下	31 ～ 40人 以下
合 計	201	165 82.1%	19 9.5%	5 2.5%	1 0.5%		

41 ～ 50人 以下	51 ～ 60人 以下	61 ～ 70人 以下	71 ～ 80人 以下	81 ～ 90人 以下	下91 ～ 100人 以下	101 人以上	無 回 答	平 均
3 1.5%		1 0.5%				1 0.5%	6 3.0%	2.44

図表 79 排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件 数	1 か 月 に 1 回 以 上	2 か 月 に 1 回 程 度	3 か 月 に 1 回 程 度	6 か 月 に 1 回 程 度	無 回 答
合 計	201	30 14.9%	1 0.5%	158 78.6%	11 5.5%	1 0.5%

図表 80 排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）：L I F Eの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件 数	排 せ つ の 状 態 の 評 価 方 法 が わ か り に く い	排 せ つ の 状 態 の 評 価 に 手 間 が か か る	よ り 適 切 な 評 価 指 標 が あ る	排 せ つ の 状 態 の 維 持 ・ 改 善 に つ な が る 適 切 な 対 応 が 難 し い （ 排 せ つ 支 援 加 算 （ Ⅱ ） （ Ⅲ ） の 算 定 が 難 し い ）	そ の 他	感 じ て い る 課 題 は 特 に な い	無 回 答
合 計	201	56 27.9%	57 28.4%		96 47.8%	10 5.0%	50 24.9%	3 1.5%

図表 81 自立支援促進加算：本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組（複数回答可）

	件数	尊厳の保持を踏まえたケアの提供	本人を尊重する個別ケアの実践	寝たきり防止に係る取組	自立生活の支援	入所者に対する離床・基本動作やADL動作、日々の過ごし方等、訓練時間についての評価	多職種共同による自立支援に係る支援計画の策定	その他	新たに開始した取組はない	無回答
合 計	135	33 24.4%	40 29.6%	39 28.9%	45 33.3%	52 38.5%	62 45.9%	5 3.7%	37 27.4%	1 0.7%

図表 82 自立支援促進加算：本加算について、貴事業所で実施している支援（複数回答可）

	件数	廃用性機能障害を防ぐための離床、座位保持又は立ち上がりの支援	食事について、個人の習慣や希望を尊重した支援	排泄のつりづみの考慮、プライバシーを配慮したトイレの使用	個人の習慣や希望を尊重した入浴の支援（一般浴槽での入浴、入浴回数やケアの方法など）	自宅での生活と同様の暮らしを続けられるような生活全般の支援	無回答
合 計	135	114 84.4%	89 65.9%	98 72.6%	61 45.2%	62 45.9%	4 3.0%

図表 83 自立支援促進加算：本加算を算定している利用者数

	件数	0人	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下	41～50人以下
合 計	135	1 0.7%	2 1.5%		10 7.4%	9 6.7%	2 1.5%	13 9.6%

5 1 ～ 6 0 人 以 下	6 1 ～ 7 0 人 以 下	7 1 ～ 8 0 人 以 下	8 1 ～ 9 0 人 以 下	9 1 ～ 1 0 0 人 以 下	1 0 1 人 以 上	無 回 答	平 均
9 6.7%	12 8.9%	12 8.9%	24 17.8%	14 10.4%	22 16.3%	5 3.7%	76.48

図表 84 自立支援促進加算：本加算に関する利用者の状態の評価頻度

	件 数	2 週 間 に 1 回 以 上	1 か 月 に 1 回 程 度	2 か 月 に 1 回 程 度	3 か 月 に 1 回 程 度	無 回 答
合 計	135		14 10.4%	1 0.7%	120 88.9%	

図表 85 自立支援促進加算：L I F Eの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件 数	訓練・基本動作やADL動作が、日々の過ごし方等、 訓練時・基本動作やADL動作が、日々の過ごし方等、	訓練・基本動作やADL動作が、日々の過ごし方等、 訓練時・基本動作やADL動作が、日々の過ごし方等、	どのような支援計画を目指せばよいかわかりにくい	その他	感じている課題は特にない	無 回 答
合 計	135	55 40.7%	63 46.7%	56 41.5%	10 7.4%	27 20.0%	3 2.2%

図表 86 かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅱ）・（Ⅲ）・薬剤管理指導の注2の加算：本加算に関する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組（複数回答可）

	件数	現在の服薬内容や頻度向上・減量	服薬内容や薬剤師の変更・減頻度・減量の評価への関与	既往歴・発症年月日の管理	その他	新たに開始した取組はない	無回答
合 計	33	15 45.5%	11 33.3%	6 18.2%	1 3.0%	16 48.5%	

図表 87 かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅱ）・（Ⅲ）・薬剤管理指導の注2の加算：貴事業所内で、本加算に関する評価や薬剤の変更に当たり、参考になっている文書やガイドライン（複数回答可）

	件数	高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）	高齢者の医薬品適正使用の指針（各論編（療養環境別））	日本老年医学会の関連ガイドライン（高齢者の安全な薬物療法ガイドライン）	その他	無回答
合 計	33	13 39.4%	5 15.2%	16 48.5%	2 6.1%	6 18.2%

図表 88 かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅱ）・（Ⅲ）・薬剤管理指導の注2の加算：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	1か月に1回以上	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
合 計	33	17 51.5%		16 48.5%	

図表 89 かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅱ）・（Ⅲ）・薬剤管理指導の注2の加算：L I F Eの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件数	把握に歴 手・処 間が か容 るの	く入 力方 法が わか りに	そ 他	に感 じて いる 課題 は特	無 回 答
合 計	33	16 48.5%	11 33.3%	3 9.1%	12 36.4%	

図表 90 栄養マネジメント強化加算：本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組（複数回答可）

	件数	管理栄養士の増員	栄養士の増員	食事の観 察（ミールラウンド） の頻度向上	退所時の食 事相談や栄養情報連 携の実施	利用者の低 栄養状態の 評価の頻度向上 生活状況等	そ 他	新たに開始した取組はない	無 回 答
合 計	224	73 32.6%	5 2.2%	151 67.4%	39 17.4%	93 41.5%	7 3.1%	33 14.7%	3 1.3%

図表 91 栄養マネジメント強化加算：本加算を算定している利用者数

				件数	0人	1 ～ 5人 以下	6 ～ 10人 以下	11 ～ 20人 以下	21 ～ 30人 以下	31 ～ 40人 以下	41 ～ 50人 以下
合 計					224	3 1.3%	1 0.4%	13 5.8%	21 9.4%	18 8.0%	33 14.7%

5 1 ～ 6 0人 以下	6 1 ～ 7 0人 以下	7 1 ～ 8 0人 以下	8 1 ～ 9 0人 以下	9 1 ～ 10 0人 以下	10 1 ～ 11 0人 以上	無 回 答	平 均
21 9.4%	12 5.4%	25 11.2%	26 11.6%	20 8.9%	23 10.3%	8 3.6%	66.13

図表 92 栄養マネジメント強化加算：利用者 1 人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分～40分未満	40分～50分未満	50分～60分未満
合 計	224	13 5.8%	65 29.0%	25 11.2%	62 27.7%	13 5.8%	2 0.9%

60分～70分未満	70分～80分未満	80分～90分未満	90分～100分未満	100分～110分未満	110分～120分未満	120分以上	無回答	平均
28 12.5%			1 0.4%			8 3.6%	7 3.1%	37.41

図表 93 栄養マネジメント強化加算：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	低栄養状態のリスクに 応じて頻度を設定	2週間に1回以上	1か月に1回程度	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
合 計	224	118 52.7%	11 4.9%	35 15.6%	1 0.4%	55 24.6%	4 1.8%

図表 94 栄養マネジメント強化加算：L I F Eの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件数	低栄養リスクがわかりにくい 評価方法がわかりにくい	食生活状況についての 評価方法がわかりにくい	低栄養リスクレベルの 評価に手間がかかる	食生活状況についての 評価に手間がかかる	より適切な評価指標がある	加算・評価方法に関する 研修ができていない	収集した情報を利用した 計画やケアの見直し計画	その他	感じている課題は 特にない	無回答
合 計	224	32 14.3%	38 17.0%	48 21.4%	59 26.3%	1 0.4%	45 20.1%	69 30.8%	16 7.1%	64 28.6%	6 2.7%

図表 95 栄養アセスメント加算：本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組（複数回答可）

	件数	管理栄養士の配置（外部との連携含む）	利用者の低栄養状態のリスクや食生活状況等の評価	利用者の低栄養状態の頻度向上	その他	新たに開始した取組はない	無回答
合計	109	53 48.6%	57 52.3%	44 40.4%	1 0.9%	12 11.0%	8 7.3%

図表 96 栄養アセスメント加算：本加算を算定している利用者数

	件数	0人	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下	41～50人以下
合計	109	1 0.9%	7 6.4%	6 5.5%	14 12.8%	20 18.3%	4 3.7%	7 6.4%

51～60人以下	61～70人以下	71～80人以下	81～90人以下	91～100人以下	101人以上	無回答	平均
6 5.5%	4 3.7%	10 9.2%	5 4.6%	3 2.8%	14 12.8%	8 7.3%	54.05

図表 97 栄養アセスメント加算：利用者1人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～40分未満	40～50分未満	50～60分未満
合計	109	14 12.8%	27 24.8%	17 15.6%	26 23.9%	2 1.8%	

60～70分未満	70～80分未満	80～90分未満	90分未満	100分未満	101分以上	無回答	平均
12 11.0%			1 0.9%		3 2.8%	7 6.4%	28.9

図表 98 栄養アセスメント加算：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	2週間に1回以上	1か月に1回程度	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
合 計	109	7 6.4%	36 33.0%	3 2.8%	56 51.4%	7 6.4%

図表 99 栄養アセスメント加算：L I F Eの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件数	低栄養リスクレベルについての評価方法がわかりにくい	食生活状況についての評価方法がわかりにくい	低栄養リスクレベルの評価に手間がかかる	食生活状況についての評価に手間がかかる	より適切な評価指標がある	加算・評価方法に関する職員への研修ができていない	その他	感じている課題は特にない	無回答
合 計	109	21 19.3%	32 29.4%	21 19.3%	42 38.5%		17 15.6%	6 5.5%	30 27.5%	6 5.5%

図表 100 口腔衛生管理加算（Ⅱ）：本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組（複数回答可）

	件数	歯科衛生士が実施した口腔衛生等の管理 及び介護職員への技術的助言	歯科衛生士が実施した口腔衛生等の管理 及び介護職員への技術的助言	歯科医師・歯科衛生士の増員	その他	新たに開始した取組はない	無回答
合 計	209	95 45.5%	72 34.4%	8 3.8%	5 2.4%	71 34.0%	13 6.2%

図表 101 口腔衛生管理加算（Ⅱ）：本加算を算定している利用者数

	件数	0人	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下
合 計	209	1 0.5%	13 6.2%	21 10.0%	38 18.2%	24 11.5%	8 3.8%

41～50人以下	51～60人以下	61～70人以下	71～80人以下	81～90人以下	91～100人以下	101人以上	無回答	平均
13 6.2%	11 5.3%	12 5.7%	18 8.6%	12 5.7%	7 3.3%	13 6.2%	18 8.6%	45.96

図表 102 口腔衛生管理加算（Ⅱ）：利用者1人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～40分未満	40～50分未満	50～60分未満
合 計	209	25 12.0%	80 38.3%	20 9.6%	34 16.3%	8 3.8%	1 0.5%

60～70分未満	70～80分未満	80～90分未満	90分未満	100分未満	101分以上	無回答	平均
15 7.2%					7 3.3%	19 9.1%	38.49

図表 103 口腔衛生管理加算（Ⅱ）：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	1か月に1回以上	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
合 計	209	107 51.2%	4 1.9%	89 42.6%	9 4.3%

図表 104 口腔衛生管理加算（Ⅱ）：L I F Eの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件数	口腔衛生状態に関する問題点についての評価方法がわかりにくい	口腔衛生状態に関する問題点の評価に手間がかかる	より適切な評価指標・管理方法がある	その他	感じている課題は特にない	無回答
合 計	209	52 24.9%	57 27.3%	2 1.0%	11 5.3%	101 48.3%	7 3.3%

図表 105 口腔機能向上加算（Ⅱ）：本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組（複数回答可）

	件数	口腔機能に関する問題点の把握（スクリーニング）	口腔機能向上に関する実施目標や実施内容の管理（アセスメント）	口腔機能に関する問題点の把握（スクリーニング）の頻度向上	口腔機能のアセスメントの頻度向上	その他	新たに開始した取組はない	無回答
合 計	122	45 36.9%	47 38.5%	40 32.8%	36 29.5%	4 3.3%	42 34.4%	2 1.6%

図表 106 口腔機能向上加算（Ⅱ）：本加算を算定している利用者数

	件数	0人	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下
合 計	122	3 2.5%	23 18.9%	15 12.3%	27 22.1%	9 7.4%	8 6.6%

	41～50人以下	51～60人以下	61～70人以下	71～80人以下	81～90人以下	91～100人以下	101人以上	無回答	平均
	5 4.1%	6 4.9%	3 2.5%	7 5.7%	4 3.3%	1 0.8%	5 4.1%	6 4.9%	32.21

図表 107 口腔機能向上加算（Ⅱ）：利用者１人当たりの状態の評価に要する時間

	件数	10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分～40分未満	40分～50分未満	50分～60分未満
合 計	122	11 9.0%	47 38.5%	18 14.8%	25 20.5%	4 3.3%	

60分～70分未満	70分～80分未満	80分～90分未満	90分～満	10分未満	10分～20分未満	20分～30分以上	無回答	平均
5 4.1%						4 3.3%	8 6.6%	27.59

図表 108 口腔機能向上加算（Ⅱ）：本加算に関する利用者の状態の評価の頻度

	件数	1か月に1回以上	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
合 計	122	60 49.2%	1 0.8%	55 45.1%	6 4.9%

図表 109 口腔機能向上加算（Ⅱ）：L I F Eの利用に当たって、感じている課題（複数回答可）

	件数	ての口腔機能に関わる問題点について	に口腔機能に関する問題点の評価	がより適切な評価指標・管理方法がある	その他	感じている課題は特にない	無回答
合 計	122	36 29.5%	48 39.3%	3 2.5%	8 6.6%	46 37.7%	4 3.3%

② LIFE 未登録済事業所票

1. 基本情報

LIFE 未登録事業所の基本情報は以下の通りであった。

図表 110 定員数

	件数	5人未満	5～10人未満	10～15人未満	15～20人未満	20～30人未満
合計	224	4	6	16	26	66
		1.8%	2.7%	7.1%	11.6%	29.5%

30～40人未満	40～60人未満	60～80人未満	80～満	100人以上	無回答	平均
18	24	15	15	23	11	42.5
8.0%	10.7%	6.7%	6.7%	10.3%	4.9%	

図表 111 利用者数

	件数	0人	1～5人以下	6～10人以下	11～20人以下	21～30人以下	31～40人以下
合計	224		4	21	50	48	19
			1.8%	9.4%	22.3%	21.4%	8.5%

41～50人以下	51～60人以下	61～70人以下	71～80人以下	81～90人以下	91～100人以下	101人以上	無回答	平均
12	10	7	7	10	15	12	9	43.07
5.4%	4.5%	3.1%	3.1%	4.5%	6.7%	5.4%	4.0%	

図表 112 事業所の職員数（常勤換算人数）

	件数	0人	1～5人未満	5～10人未満	10～15人未満	15～20人未満	20～25人未満	25～30人未満	30～35人未満	35～40人未満	40～45人未満	45～50人未満	50人以上	無回答	平均
介護職(介護福祉士除く)	224	38 17.0%	83 37.1%	55 24.6%	26 11.6%	7 3.1%	4 1.8%	2 0.9%	1 0.4%		3 1.3%			5 2.2%	5.93
介護福祉士	224	33 14.7%	80 35.7%	45 20.1%	28 12.5%	10 4.5%	9 4.0%	5 2.2%	3 1.3%	4 1.8%	2 0.9%			5 2.2%	7.73
介護支援専門員	224	94 42.0%	119 53.1%	6 2.7%										5 2.2%	0.97
社会福祉士	224	187 83.5%	32 14.3%											5 2.2%	0.18
精神保健福祉士	224	218 97.3%	1 0.4%											5 2.2%	0.01
相談員	224	131 58.5%	87 38.8%	1 0.4%										5 2.2%	0.6
歯科衛生士	224	215 96.0%	4 1.8%											5 2.2%	0.02
管理栄養士	224	174 77.7%	45 20.1%											5 2.2%	0.27
栄養士(管理栄養士除く)	224	206 92.0%	13 5.8%											5 2.2%	0.08
理学療法士	224	162 72.3%	52 23.2%	5 2.2%										5 2.2%	0.6
作業療法士	224	178 79.5%	40 17.9%	1 0.4%										5 2.2%	0.38
言語聴覚士	224	206 92.0%	13 5.8%											5 2.2%	0.08
看護職員	224	70 31.3%	100 44.6%	25 11.2%	19 8.5%	3 1.3%	2 0.9%							5 2.2%	3.24
歯科医師	224	219 97.8%												5 2.2%	0
医師	224	178 79.5%	40 17.9%	1 0.4%										5 2.2%	0.27
その他の職員	224	144 64.3%	58 25.9%	8 3.6%	7 3.1%	2 0.9%								5 2.2%	1.41

図表 113 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数）

	件数	0人	1～5人未満	5～10人未満	10～15人未満	15～20人未満	20～25人未満	25～30人未満	30～35人未満	35～40人未満	40～45人未満	45～50人未満	50人以上	無回答	平均
介護職(介護福祉士除く)	224	117 52.2%	19 8.5%	5 2.2%		1 0.4%								82 36.6%	0.63
介護福祉士	224	118 52.7%	18 8.0%	4 1.8%					1 0.4%					83 37.1%	0.75
介護支援専門員	224	127 56.7%	15 6.7%											82 36.6%	0.16
社会福祉士	224	137 61.2%	4 1.8%											83 37.1%	0.04
精神保健福祉士	224	140 62.5%	1 0.4%											83 37.1%	0.01
相談員	224	132 58.9%	10 4.5%											82 36.6%	0.11
歯科衛生士	224	140 62.5%	1 0.4%											83 37.1%	0.01
管理栄養士	224	129 57.6%	12 5.4%	1 0.4%										82 36.6%	0.19
栄養士(管理栄養士除く)	224	135 60.3%	6 2.7%											83 37.1%	0.07
理学療法士	224	122 54.5%	18 8.0%	1 0.4%										83 37.1%	0.28
作業療法士	224	129 57.6%	13 5.8%											82 36.6%	0.2
言語聴覚士	224	135 60.3%	6 2.7%											83 37.1%	0.07
看護職員	224	116 51.8%	23 10.3%	2 0.9%	1 0.4%									82 36.6%	0.5
歯科医師	224	140 62.5%	1 0.4%											83 37.1%	0.01
医師	224	123 54.9%	17 7.6%	2 0.9%										82 36.6%	0.31
その他の職員	224	121 54.0%	17 7.6%	2 0.9%	1 0.4%	1 0.4%								82 36.6%	0.52

図表 114 使用している介護ソフト（完全導入）（複数回答可）

	件数	ほのぼののシリーズ（N D ソフトウェア株式会社）	ワイズマンシステム S P（株式会社ワイズマン）	WHOPENCE LIFE MARK（富士通株式会社）	カイボケ（株式会社エス・エム・エス）	薬すけ（ニッブクケアサービス株式会社）	すこやかサン（株式会社 E M システムズ）	CAREKART（株式会社ケアコネクトジャパン）	ちようじゅ（株式会社ケアコネクトジャパン）	その他	介護ソフトは使用していない	無回答
合 計	224	44 19.6%	26 11.6%	5 2.2%	3 1.3%			7 3.1%	3 1.3%	38 17.0%	28 12.5%	70 31.3%

図表 115 使用している介護ソフト（一部導入）（複数回答可）

	件数	ほのぼののシリーズ（N D ソフトウェア株式会社）	ワイズマンシステム S P（株式会社ワイズマン）	WHOPENCE LIFE MARK（富士通株式会社）	カイボケ（株式会社エス・エム・エス）	薬すけ（ニッブクケアサービス株式会社）	すこやかサン（株式会社 E M システムズ）	CAREKART（株式会社ケアコネクトジャパン）	ちようじゅ（株式会社ケアコネクトジャパン）	その他	介護ソフトは使用していない	無回答
合 計	224	22 9.8%	19 8.5%	17 7.6%	7 3.1%	3 1.3%			1 0.4%		25 11.2%	131 58.5%

図表 116 使用している介護ソフトの L I F E への対応

	件数	完全に 対応して いる	一部 対応して いる	全く 対応して いない	わから ない	無 回 答
合 計	224	100 44.6%	42 18.8%	16 7.1%	44 19.6%	22 9.8%

利用者の状態を指標を用いて評価している事業所・施設は 57.6%だった。評価している内容としては、ADL が 58.0%、認知機能が 49.6%、栄養状態が 39.7%だった。評価した内容を多職種で定期的に議論している事業所・施設が 33.0%だった。

図表 117 利用者の状態を指標を用いての評価

	件数	評価 している	評価 していない	無 回 答
合 計	224	129 57.6%	91 40.6%	4 1.8%

図表 118 評価している内容（複数回答可）

	件数	乗利用者のA・D・L（日常生活動作、食事・移動・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等）	除利用者のI・A・D・L（手段的A・D・L、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等）	利用者の認知機能	D（利用者の認知症の行動・心理症状（B・P・S）	利用者の意欲	利用者の栄養状態	利用者の口腔・嚥下機能	利用者の褥瘡の状態	居室以外における滞在時間／外出回数／	利用者の服薬状況	その他	無回答
合 計	224	130 58.0%	69 30.8%	111 49.6%	76 33.9%	70 31.3%	89 39.7%	77 34.4%	84 37.5%	60 26.8%	87 38.8%	6 2.7%	92 41.1%

図表 119 評価した内容の多職種での議論

	件数	定期的に議論している	不定期だが議論している	議論したことはない	無回答
合 計	224	74 33.0%	52 23.2%	5 2.2%	93 41.5%

評価結果や利用者の状態推移等を、利用者本人あるいはその家族へ説明したことがある事業所・施設は 63.8%だった。

図表 120 状態を評価した結果や利用者の介護状態の推移等の利用者あるいはその家族への説明

	件数	ある	ない	無回答
合 計	224	143 63.8%	77 34.4%	4 1.8%

その頻度としては、現在も定期的実施している事業所・施設が 30.8%、現在も不定期に実施している事業所・施設が 27.7%だった。定期的に実施している事業所・施設では、月に平均 4.4 回程度利用者あるいは家族へ評価結果や利用者の状態推移等を実施している。

図表 121 実施頻度

	件 数	現在、定期的 に実施している	現在、不定期 に実施している	過去に、定期的 に実施していた	過去に、不定期 に実施していた	その他	無回答
合 計	224	69 30.8%	62 27.7%		9 4.0%	7 3.1%	77 34.4%

図表 122 定期的に実施している回数

	件 数	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回
合 計	224		2 0.9%	25 11.2%	2 0.9%	29 12.9%

5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	10 回以上	無 回 答	平 均
			1 0.4%		8 3.6%	157 70.1%	4.15

説明の対象者としては、利用者本人が 37.9%、家族が 62.1%だった。

図表 123 説明対象者（複数回答可）

	件 数	利用者本人	利用者の家族	その他	無回答
合 計	224	85 37.9%	139 62.1%	19 8.5%	81 36.2%

説明の内容としては、ADL が 62.1%、認知機能が 51.8%、栄養状態が 44.6%だった。

図表 124 説明している内容（複数回答可）

	件数	A D L（日常生活動作・食事・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等）	I A D L（手段的 A D L、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等）	認知機能	認知症の行動・心理症状（B P S D）	栄養状態	口腔・嚥下機能	その他	無回答
合計	224	139 62.1%	56 25.0%	116 51.8%	89 39.7%	100 44.6%	87 38.8%	16 7.1%	80 35.7%

PDCA サイクルの取組として、ケアプランの定期的なモニタリングや内容の見直しを実施している事業所・施設が 88.8%と最も多かった。次いで、全利用者に対して状態評価を実施している事業所・施設が 61.6%、利用者の問題点・課題を明らかにしている事業所・施設が 54.0%だった。

図表 125 P D C A サイクルの取組において、貴事業所で実施していること（複数回答可）

	件数	ケアの結果を議論する組織体等を設置している	ケアの質の向上に関する方針を策定している	ケアの質の向上に関する方針を事業所内で周知している	ケアの質の向上に関する必要な文書を作成している	ケアプランの定期的なモニタリングや内容の見直しを実施している
合計	224	76 33.9%	72 32.1%	88 39.3%	61 27.2%	199 88.8%

一事業所内で利用者の状態の評価方法を統一している	利用者の状態の評価頻度を統一している	全利用者の状態の評価を実施している	利用者の状態の評価の結果から利用者の問題点・課題を明らかにしている	利用者の状態の評価の結果を職種で連携し、評価に基づいて議論している情報	利用者の経時的な状態変化等を分析するようになつた（分析する予定）	ケア計画の見直しにむけた指標（K P I）を設定した	その他	無回答
86 38.4%	85 37.9%	138 61.6%	121 54.0%	112 50.0%	48 21.4%	10 4.5%	3 1.3%	7 3.1%

PDCA サイクルの取組に課題がある事業所・施設が 59.4%だった。課題の内容としては、状態評価をケアの質の向上に活かしていない事業所・施設が 30.4%、利用者の問題点・課題を十分に把握できていない事業所・施設が 21.9%だった。

図表 126 PDCAサイクルの取組における課題

	件数	ある	ない	無回答
合 計	224	133 59.4%	86 38.4%	5 2.2%

図表 127 PDCAサイクルの取組における課題内容（複数回答可）

	件数	ケアの場（委員会等）について議論	ケアの質の向上に関する方針	利用者の状態の評価方法がわからない	利用者の問題点や課題を十分に把握できていない	利用者の経時的な状態変化を把握できていない	利用者の状態の評価結果を多種で共有していない	利用者の状態の評価をケアの向上に活かしていない	その他	無回答
合 計	224	41 18.3%	41 18.3%	26 11.6%	49 21.9%	29 12.9%	33 14.7%	68 30.4%	14 6.3%	91 40.6%

今後の利用意向としては、利用したいと考えている事業所・施設が 64.3%だった。現時点でLIFE を利用していない理由としては、データ入力の職員負担が大きいと回答した事業所・施設が 20.5%と最も多かった。次いで、LIFE や加算に関する職員への研修ができない事業所・施設が 22.2%、LIFE の利用開始手順が分からない事業所・施設が 20.5%、状態評価の職員負担が大きい事業所・施設が 20.5%だった。

図表 128 LIFEの今後の利用意向

	件数	利用したい（申請済み）	利用したい（申請予定）	利用したいと思わない	無回答
合 計	224	79 35.3%	65 29.0%	73 32.6%	7 3.1%

図表 129 LIFEを利用していない理由（複数回答可）

[illegible]

VI ヒアリング調査

1. 調査目的

本調査は、LIFE を活用した取組についてその状況を把握するとともに、さらなる LIFE の活用に向けた課題の検討等を目的として実施した。

2. 調査対象事業所

本調査では、「LIFE の活用に関して課題を感じている事業所」（以下、「LIFE 課題調査事業所」）を対象とした。

対象事業所は、V. アンケート調査の結果をもとに選定した。LIFE 登録済事業所のうち、以下の条件を満たす事業所 6 箇所を調査対象とした。

- 科学的介護推進体制加算の問 14 (1)「LIFE の利用に当たって、感じている課題を教えてください」で「⑮加算・評価方法に関する職員への研修ができていない」または「⑯収集した情報を利用したサービス計画や提供サービスの見直しが難しい」と回答した事業所・施設
- 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、通所介護、通所リハビリテーション、特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護のいずれかのサービスを提供している事業所・施設
- 問 2「職員体制」で職員数（常勤換算人数）が中規模（51-80 人）の事業所・施設
 - 通所介護、小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護は回答事業所がすべて職員数 50 人以下だったため、本条件は設けなかった。

3. 調査期間

調査期間は、令和 4 年 12 月～令和 5 年 2 月とした。

4. 調査項目

主な調査項目は以下の通り。

- アセスメントの状況
 - LIFE に関連する加算の取得に必要なアセスメントの開始時期
 - 加算やアセスメントに関する職員への教育・研修等の実施状況
- LIFE の活用方法
 - 利用者アセスメント、サービス計画の作成、ケアの状況の記録
 - LIFE へのデータ入力・提出
 - LIFE およびフィードバック票を活用した取組
- LIFE を活用する上の課題と改善点
 - LIFE 関連加算の算定における課題
 - LIFE へのデータ入力・登録における課題
 - LIFE およびフィードバック票を活用した取組における課題

5. 調査結果

● LIFE に関するアセスメントの状況

- 排せつ・褥瘡を担当するリーダーが、現場の職員に対して、各加算の様式や利用者へのヒアリング事項、それらの内容を基にした計画の策定方法を説明する研修会を行った。また加算要件や計画書の内容を基に、利用者のチェック項目やアセスメント内容を現場の職員へ説明した。
- 理学療法士や作業療法士等の専門職が多い事業所であるため、LIFE に関するアセスメント実施に際しての課題は特になかった。また LIFE 導入以前からアセスメントの内容は変化していない。
- アセスメント等の LIFE への記載内容に関する負担というより、事務作業が増えたことによる負担が大きい。データの落とし込みや、利用者・ご家族への説明や文書のやり取りによる同意の取得を3か月で行う必要がある点が大きな負担である。
- 職員間で適宜相談・情報共有しながらアセスメントを実施しているため、職員間の評価のばらつきはないと認識している。
- LIFE 導入前から社内規定のアセスメント表に基づくアセスメントとケアプラン作成を行っていたため、LIFE 導入前後でアセスメントに関する変化はなかった。
- 従来から口腔ケアや認知症などのアセスメントは実施していたが、新規やケアプラン更新時に、その人の ADL に沿って聞いており、基準を細かく定めていた訳ではなかった。LIFE 登録のためのアセスメントをするようになってから、評価基準を統一することができた。
- アセスメントは介護リーダー、サブリーダー、ケアマネが中心となって実施している。それ以外の職員はあまり関わっていない。
- 月に1回のカンファレンスで、利用者1人1人についてアセスメントを実施し、状態変化があった箇所についてのみ、LIFE のデータを更新している。アセスメントは職員全員で実施しているが、LIFE への入力に関わっている職員は2名のみである。

● LIFE 活用の状況

- LIFE へデータ入力できる PC 端末は1台であり、職員は空き時間等を活用して順番に入力している。他にインターネットに接続可能な PC 端末はあるが、うまく LIFE に接続することができなかった。複数端末で LIFE に入力できることが望ましいが、現状困るほどではないので、LIFE に接続可能な端末の台数は増やしていない。
- 現在のフィードバック票は、自施設と全国値の比較のみであるため、活用は難しいと感じている。全国データを基に、同じような状態の利用者にどのようなケアを行うことが有効であるか等、利用者別により詳細な内容であれば、自施設のケアを客観的に見直すことができると考える。また利用者別のケアの検証等を行うことができれば、ケアプランやアセスメント、日々のカンファレンス等に活かせるのではないかと考える。
- 現場には、データ分析等を行う人的リソースの余裕がない。ICT 活用が今後ますます重要になることは認識しているが、現場の手間が減らず、職員を増やすための介護報酬改定も行われないうまま、より多くの事務作業が求められるようになったと感じる。LIFE の分析を専門的に行う職員を置ければ理想であるが、人材を確保する余裕がそこまでない。
- 加算によって LIFE への入力頻度が異なり、入力忘れが発生する恐れがあるため、職員同士で連絡を取り合っている。連絡に際しては、管理者が職員からどのアセスメントを実施済みであるか

を聞き取り、チャットで共有している。

- 初回は1時間程度データ入力に時間を要するが、2回目以降にかかる時間は少なくなる。4月・7月は、20人分程度まとめて入力する場合もあるため、1〜2時間かかる場合もある。4月以外の月は、全てのアセスメント結果を入力する訳ではないため、新規利用者がいたとしても1時間以内で入力できる。
- フィードバック票を活用した取組みは特に行っていない。フィードバック票のダウンロードが、去年の夏頃まではできていたが、それ以降出来なくなってしまった。フィードバックの共有の必要性を感じないため、ヘルプデスクへの問合せ等は行っていない。介護ソフト等に保管されたデータを共有して活用している。
- 入居者約35名分のデータ登録を、介護支援専門員が1人で行っている。介護支援専門員の指導の下でグループワークを実施し、アセスメント情報等は職員間で共有しているが、介護支援専門員以外の職員がアセスメント表を作成する機会は基本的にはない。
- データ登録の方法を理解できておらず、また入力頻度が半年に一度のみであることもあり、手間がかかっている。
- 継続分については、必要な部分のみ書き換えているため、所要時間は30分程度である。初回の場合は、所要時間は1時間以内程度である。初回については、所定の期限までに入力を行っている。会社の規定により、4月・10月には、必ず利用者全員分を更新することとなっている。
- 将来的にLIFEのフィードバック票を活用するかは不明である。現在、人員配置が充実しており、個別的なケアに近いサービスを提供している。ケアプランについても各利用者の状態に応じて属人的に考えているため、他の利用者と比較することはあまり想定できない。
- 管理者、ケアマネジャー、生活相談員の4名がLIFEの入力を行っている。ケアマネジャーが一括してアセスメントを行い、カバーしきれない部分は現場のリーダー・サブリーダーから話を聞くこともある。新規については生活相談員が関わる場合もある。
- 科学的介護しか算定しておらず、全国平均値しか見ていない。要介護度別の利用者数、認知症、生活機能レベルなどを見ている。毎回注目している項目がある訳ではなく、入力したついでにフィードバック票も見程度である。
- 個々の利用者について話す会議をフロアごとに実施している。会議では、データよりも日々の出来事等のリアルタイムの情報に重きを置いているため、将来的にもフィードバック票の活用は想定しづらい。ケアマネジャーがケアプランを更新する際に、フィードバック票を参照することは考えられる。
- 月1回、多職種で利用者のケアの内容やケアの統一方法などを話し合っている。現在は、本人の様子をよく見ている現場職員が問題提起して、そこを起点に話し合っている。内容自体はLIFEに載っていることなので、フィードバック票が充実したら活用できると思う。
- LIFEに関する不明点は、各事業所から本社の運営部に相談し、運営部からLIFEの問合せ窓口にて問合せ、事業所に返す仕組みになっている。操作IDなどのシステム上の質問は事業所からLIFEの問合せ窓口にて直接問い合わせることもあるが、内容に関しては本社の運営部に問い合わせしている。

- LIFEを活用する前後の変化

- LIFE を導入したことで、これまで利用者のアセスメントにあまり関わってこなかった職員が利用者の状態を詳細に把握するようになり、意識改革につながった。
 - 以前は看護師のみが把握していた利用者の状態を、別の職員の視点でも評価するようになり、施設全体として役割分担しながら状態を評価できるようになったと考えている。
 - LIFE を導入してアセスメントをする頻度が増えたことで、定期的に利用者と密にお話しすることができるようになった点は良かったと感じている。
 - ケアマネジャーがデータ登録する中で、状態の経時的な変化に気が付き、各フロアのリーダー・サブリーダー・看護師等に共有したことで、医師に相談すべきケースに気が付けたことが数件程度あった。現場のスタッフは毎日利用者と一緒にいるため、気になったことがあっても記録に書くほどではないと考えてしまうことがある。違う目が入ることで、チェックしやすくなる面がある。
- LIFE を活用する上での課題と改善点
 - 利用者に合わせた個別性を重視しているという割には、個別機能訓練加算の計画書の目標設定の選択肢が少なく、個別性が低いと感じている。現在使っている介護ソフトでは、目標設定は自由記述であるため、LIFE への記入内容と差異が生じている。
 - 入力・登録について、紙ベースの資料しかないのので分かりにくい。社内に窓口はあるものの、細部にわたり現場でサポートを受けることが難しい。LIFE の問合せ窓口についても、電話ではなくメールでのやり取りになるため、不明点が残った。紙のマニュアルよりも、動画での説明資料や説明会があると分かりやすい。また、問合せ窓口で電話対応をしてほしい。
 - データ入力の事務負担が大きい。現在は介護記録の電子化も進んでいるが、この業界はパソコンが得意な人は少ない。1人で入力していると不明点を身近な人に聞くこともできない。もう少し簡単に入力できるようにしていただきたい。
 - 正しく登録できたのかが分からず、加算の算定にも関わるためとても困った。
 - フィードバック票で、自分の施設の利用者の分布や状態の経時的な変化が見られると良い。
 - 家族・利用者にとっては視覚的に経時的変化を見せた方が分かりやすいので、フィードバック票が充実すれば、説明に活用できる。ただし、良くなっている点はよいが、悪くなっている点も明らかになってしまう点が懸念である。
 - 現在は科学的介護推進体制加算のみ取得している。他の加算も取れるものは取りたいが、主治医の協力がなかなか得られず難しい。
 - タブレット端末を用いて介護ソフトの記録を見れば、体重やバイタルの経時的変化をグラフで確認することができるため、LIFE のデータを見たいと思う機会が少ない。状態の変化があった時には、すぐにデータを確認している。

Ⅶ. モデル事業

1. 実施目的

次期介護報酬改定に向けて、訪問系サービス及び居宅介護支援事業所における LIFE の活用可能性について、令和 3 年度に実施した少数の事業所でのモデル的な調査の結果を踏まえて、より多くのサービス及び多数の事業所を対象とした調査を行い、具体的な活用方法及びそれに向けた課題等について検討することを目的とした。

2. 訪問系サービス・居宅介護支援事業所に対するフィードバック試行

(1) 調査対象事業所

関係団体に協力を依頼し、公募や推薦等により参加事業所を募集・選定した。

実際に参加した事業所数、データ入力及び提出ができた事業所数、アンケート調査に回答した事業所数は以下の通り。

図表 130 事業所の参加状況

サービス種類	参加事業所数	データ入力及び提出ができた事業所数	データ入力・提出率	回収数	回収率	利用者数（人）		職員数（常勤換算人数）	
						平均値	中央値	平均値	中央値
訪問介護事業所	31	21	67.7%	19	90.5%	75.9	56	21.2	10
訪問看護事業所	47	22	46.8%	22	100%	104.2	81	11.6	11
定期巡回・臨時対応型訪問介護看護事業所	32	21	65.6%	21	100%	42.8	39	16.0	13
居宅介護支援事業所	96	65	67.7%	63	96.9%	173.3	156	7.2	6

データの入力や提出ができなかった事業所については、コロナ対応や本事業を担当する職員の休職や異動を理由に断念する申し出が多くあった。特に訪問看護においては、急患等の発生により対応ができなくなったという申し出が多かった。その他、LIFE の初期設定、職員の設定（管理職員・操作職員）、利用者の登録、利用者データの登録、2 回分のデータ登録などの各段階でつまづいてしまい、その先のステップに進めなくなってしまう例が見られた。

(2) 調査期間

以下に示した調査フローに従って、以下の期間で実施した。

令和 4 年 6 月～：関係団体への参加事業所公募・推薦依頼

令和 4 年 8 月～：参加事業所への調査案内・説明

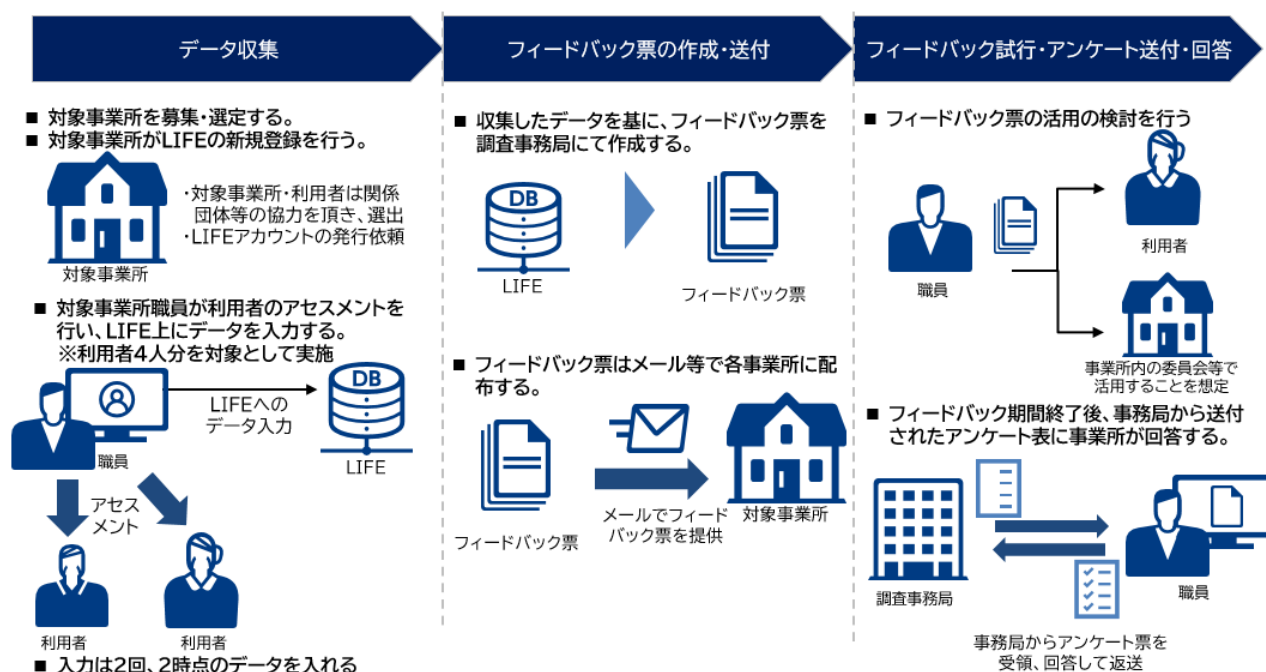
令和 4 年 9 月～：LIFE へのデータ入力（2 回、2 時点）

令和 4 年 11 月～：フィードバック票の作成・送付

令和 4 年 12 月～：フィードバック票の活用・アンケート調査（最終締切：令和 5 年 2 月 15 日）

令和 5 年 1 月～：ヒアリング調査

図表 131 調査フロー



(3) 試行的な LIFE の活用

関係団体の公募・推薦等により集められたモデル事業参加事業所に対し、調査案内と事業説明書を送付した。事業内容の不明点等に関して問合せがあった事業所に対しては、個別に説明等を行った。

参加事業所に対しては、LIFE の利活用の試行として次の5点を依頼した(①LIFE の利活用の準備(導入、職員・利用者の登録)、②利用者へのアセスメントの実施(原則として1か月以上間隔をあけた2時点分)、③LIFE へのアセスメント結果の入力(直接入力・CSV連携のいずれも可)、④アセスメント結果から作成されたフィードバック票の読み取り、⑤フィードバック票を活用したケア計画・ケアプランの検討)。なお、②のアセスメントにおいてデータ入力を行う対象者数は、調査期間や事業所負担を考慮し、4名を目安とした。

アセスメントを行う項目、及びフィードバック票の作成対象となる項目は、科学的介護推進体制加算の必須項目を対象とした。フィードバック票の授受に関しては、本モデル事業調査専用サイトを開設し、当該サイトにアップロード・ダウンロードする仕組みとした。

入力されたアセスメントデータを LIFE データベースから抽出し、厚生労働省が公開している LIFE のフィードバック票を基に事業所フィードバック票及び利用者フィードバック票を作成した(参考資料 4, 5 参照)。なお、訪問系サービスや居宅介護支援における全国値は存在しないため、本モデル事業では本モデル事業に参加した事業所の平均値を表示した。なお、LIFE データベースと介護総合データベースを連結して解析することにより、モデル事業の参加事業所を利用する被保険者が、参加事業所以外のどのようなサービスを利用しているかを特定することができ、さらにその利用先の事業所が LIFE 関連加算を取得しているかどうか把握できるため、ある利用者について、モデル事業の参加事業所以外の他事業所のフィードバック票も作成は可能であり、提供予定であったが、今回のモデル事業参加事業所の利用者においてはいずれも他の LIFE 関連加算算定事業所のデータが確認できず、他事業所のフィードバック票

の提供は行っていない。そのため、アンケート調査票の間 11 については調査を割愛した。

提供したフィードバック票を計画の見直し等の日常業務において活用してもらい、どのような場面で活用できるかの検討や、訪問系サービスや居宅介護支援において必要な項目、活用できそうな項目について検討を依頼した。

LIFE 利活用の各段階において、質問や相談があった際には随時、メールや電話によるサポートを行った。

（４） アンケート調査

LIFE が活用できる場面や課題等の把握を目的として、事業所向けのアンケート調査を行った。調査項目の概要は以下の通り（詳細は参考資料 3 を参照）。

図表 132 訪問系サービス向けのアンケート調査項目概要

No	分類	調査項目
1	基本情報	・利用者数、職員体制、併設サービス等 ・介護支援専門員の基本情報（居宅介護支援のみ）
2	LIFE の認知度	・LIFE の認知度 ・法人内の別のサービスにおける LIFE 活用状況
3	通常時の利用者の状態の評価	・実施項目 ・実施頻度、実施方法 ・実施者（職員）、実施対象者
4	通常時のデータ分析状況	・実施有無、実施項目 ・実施頻度、実施体制
5	通常時のデータ分析の利用者へのフィードバック状況	・実施有無、実施頻度 ・実施対象者 ・実施内容
6	LIFE の項目を利用者ごとにアセスメントする際の課題	・評価方法の認知、理解 ・評価の技術的課題、リソースの課題
7	フィードバック票の活用	・計画の検討実施状況 ・計画の見直し実施状況 ・検討・見直しをしなかった場合の理由
8	LIFE の活用状況と介護の質に及ぼす影響	・LIFE の活用が介護過程の展開のプロセスの中で役に立った点 ・LIFE の活用が介護の質の向上に寄与すると感じるか

(5) 調査結果

1) 回収状況

回収状況は以下の通り。(令和5年2月15日時点)

図表 133 回収率（再掲）

サービス種類	参加事業所数	データ入力及び提出ができた事業所数	データ入力・提出率	回収数	回収率	利用者数（人）		職員数（常勤換算人数）	
						平均値	中央値	平均値	中央値
訪問介護事業所	31	21	67.7%	19	90.5%	75.9	56	21.2	10
訪問看護事業所	47	22	46.8%	22	100%	104.2	81	11.6	11
定期巡回・臨時対応型訪問介護看護事業所	32	21	65.6%	21	100%	42.8	39	16.0	13
居宅介護支援事業所	96	65	67.7%	63	96.9%	173.3	156	7.2	6

2) 調査結果

図表 134 事業所のサービス種別

	件数	訪問介護	訪問看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	居宅介護支援	無回答
合 計	125 100.0%	19 15.2%	22 17.6%	21 16.8%	63 50.4%	0 0.0%

図表 135 事業所の利用者数（介護保険分）

	件数	1人未満	10人未満	30人未満	50人未満	100人未満	150人未満	200人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	9 7.2%	12 9.6%	14 11.2%	23 18.4%	24 19.2%	18 14.4%	22 17.6%	3 2.4%	122.81	122.00	14982.50	105.70	540.00	1.00
訪問介護	19 100%	2 10.5%	1 5.3%	2 10.5%	6 31.6%	4 21.1%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	84.88	17.00	1443.00	73.00	283.00	1.00
訪問看護	22 100%	1 4.5%	3 13.6%	4 18.2%	5 22.7%	5 22.7%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	78.18	22.00	1720.00	53.33	182.00	4.00
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21 100%	3 14.3%	7 33.3%	6 28.6%	3 14.3%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	42.81	21.00	899.00	38.51	164.00	4.00
居宅介護支援	63 100%	3 4.8%	1 1.6%	2 3.2%	9 14.3%	14 22.2%	12 19.0%	21 33.3%	1 1.6%	176.14	62.00	10920.50	114.40	540.00	3.00

図表 136 事業所の利用者数（医療保険分、訪問看護のみ）

	件数	0人	1人未満	10人未満	30人未満	50人未満	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
合 計	22 100%	2 9.1%	3 13.6%	9 40.9%	5 22.7%	3 13.6%	0 0.0%	26.05	22.00	573.00	20.29	71.00	0.00

図表 137 事業所の職員数（常勤換算人数） 介護職（介護福祉士除く）

	件数	満0人 以上 1人未	満1人 以上 2人未	満2人 以上 3人未	満3人 以上 4人未	満4人 以上 5人未	満5人 以上 6人未	満6人 以上 7人未	満7人 以上 8人未	満8人 以上 9人未	満9人 以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	30 24.0%	10 8.0%	3 2.4%	2 1.6%	1 0.8%	2 1.6%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 5.6%	69 55.2%	2.72	56.00	152.50	5.97	38.00	0.00
訪問介護	19 100%	4 21.1%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 26.3%	5 15.8%	6.86	16.00	109.70	9.53	38.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.29	7.00	2.00	0.76	2.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	6 28.6%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	6 28.6%	2.17	15.00	32.60	3.39	10.50	0.00
居宅介護支援	63 100%	14 22.2%	2 3.2%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	45 71.4%	0.46	18.00	8.20	1.08	4.20	0.00

図表 138 事業所の職員数（常勤換算人数） 介護福祉士

	件数	満0人 以上 1人未	満1人 以上 2人未	満2人 以上 3人未	満3人 以上 4人未	満4人 以上 5人未	満5人 以上 6人未	満6人 以上 7人未	満7人 以上 8人未	満8人 以上 9人未	満9人 以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	21 16.8%	4 3.2%	4 3.2%	10 8.0%	5 4.0%	4 3.2%	4 3.2%	4 3.2%	0 0.0%	3 2.4%	9 7.2%	57 45.6%	4.67	68.00	317.60	6.31	40.00	0.00
訪問介護	19 100%	2 10.5%	0 0.0%	3 15.8%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	1 5.3%	2 10.5%	0 0.0%	1 5.3%	5 26.3%	5 15.8%	8.48	18.00	152.70	9.30	40.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	1 4.8%	4 19.0%	0 0.0%	4 19.0%	0 0.0%	2 9.5%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%	2 9.5%	3 14.3%	3 14.3%	5.31	18.00	95.60	4.52	17.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	11 17.5%	0 0.0%	1 1.6%	5 7.9%	4 6.3%	0 0.0%	2 3.2%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	38 60.3%	2.77	25.00	69.30	3.73	17.00	0.00

図表 139 事業所の職員数（常勤換算人数） 介護支援専門員

	件数	満0人 以上 1人未	満1人 以上 2人未	満2人 以上 3人未	満3人 以上 4人未	満4人 以上 5人未	満5人 以上 6人未	満6人 以上 7人未	満7人 以上 8人未	満8人 以上 9人未	満9人 以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	16 12.8%	2 1.6%	6 4.8%	11 8.8%	12 9.6%	9 7.2%	9 7.2%	4 3.2%	3 2.4%	3 2.4%	5 4.0%	45 36.0%	4.21	80.00	337.10	3.39	16.50	0.00
訪問介護	19 100%	4 21.1%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	11 57.9%	2.50	8.00	20.00	3.46	9.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.29	7.00	2.00	0.76	2.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	0 0.0%	1 1.6%	5 7.9%	11 17.5%	11 17.5%	9 14.3%	8 12.7%	4 6.3%	3 4.8%	2 3.2%	5 7.9%	4 6.3%	5.34	59.00	315.10	2.96	16.50	1.00

図表 140 事業所の職員数（常勤換算人数） 社会福祉士

	件数	満0人 以上 1人未	満1人 以上 2人未	満2人 以上 3人未	満3人 以上 4人未	満4人 以上 5人未	満5人 以上 6人未	満6人 以上 7人未	満7人 以上 8人未	満8人 以上 9人未	満9人 以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	29 23.2%	8 6.4%	3 2.4%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	83 66.4%	0.55	42.00	23.00	1.09	5.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 63.2%	0.14	7.00	1.00	0.38	1.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.17	6.00	1.00	0.41	1.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	11 17.5%	6 9.5%	3 4.8%	0 0.0%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	41 65.1%	0.95	22.00	21.00	1.36	5.00	0.00

図表 141 事業所の職員数（常勤換算人数） 精神保健福祉士

	件数	満0人以上 1人未	満1人以上 2人未	満2人以上 3人未	満3人以上 4人未	満4人以上 5人未	満5人以上 6人未	満6人以上 7人未	満7人以上 8人未	満8人以上 9人未	満9人以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	34 27.2%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	90 72.0%	0.03	35.00	1.00	0.17	1.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 63.2%	0.14	7.00	1.00	0.38	1.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 142 事業所の職員数（常勤換算人数）

相談員（介護支援専門員・社会福祉士・精神保健福祉士以外）

	件数	満0人以上 1人未	満1人以上 2人未	満2人以上 3人未	満3人以上 4人未	満4人以上 5人未	満5人以上 6人未	満6人以上 7人未	満7人以上 8人未	満8人以上 9人未	満9人以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	34 27.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	91 72.8%	0.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 143 事業所の職員数（常勤換算人数） 歯科衛生士

	件数	満0人以上 1人未	満1人以上 2人未	満2人以上 3人未	満3人以上 4人未	満4人以上 5人未	満5人以上 6人未	満6人以上 7人未	満7人以上 8人未	満8人以上 9人未	満9人以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	33 26.4%	2 1.6%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	89 71.2%	0.11	36.00	4.00	0.40	2.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	14 22.2%	2 3.2%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	46 73.0%	0.24	17.00	4.00	0.56	2.00	0.00

図表 144 事業所の職員数（常勤換算人数） 管理栄養士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	満5人以上 6人未満	満6人以上 7人未満	満7人以上 8人未満	満8人以上 9人未満	満9人以上 10人未満	10人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	34 27.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	91 72.8%	0.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 145 事業所の職員数（常勤換算人数） 栄養士（管理栄養士除く）

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	満5人以上 6人未満	満6人以上 7人未満	満7人以上 8人未満	満8人以上 9人未満	満9人以上 10人未満	10人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	34 27.2%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	90 72.0%	0.03	35.00	1.00	0.17	1.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 66.7%	0.14	7.00	1.00	0.38	1.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 146 事業所の職員数（常勤換算人数） 理学療法士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	満5人以上 6人未満	満6人以上 7人未満	満7人以上 8人未満	満8人以上 9人未満	満9人以上 10人未満	10人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	29 23.2%	4 3.2%	1 0.8%	3 2.4%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	84 67.2%	0.96	41.00	39.50	1.95	8.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	2 9.1%	4 18.2%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 36.4%	2.82	14.00	39.50	2.47	8.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 147 事業所の職員数（常勤換算人数） 作業療法士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	満5人以上 6人未満	満6人以上 7人未満	満7人以上 8人未満	満8人以上 9人未満	満9人以上 10人未満	10人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	31 24.8%	4 3.2%	2 1.6%	2 1.6%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	85 68.0%	0.45	40.00	18.10	0.98	4.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	4 18.2%	3 13.6%	2 9.1%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 45.5%	1.43	12.00	17.10	1.37	4.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	47 74.6%	0.06	16.00	1.00	0.25	1.00	0.00

図表 148 事業所の職員数（常勤換算人数） 言語聴覚士

	件数	満0人 以上 1人未	満1人 以上 2人未	満2人 以上 3人未	満3人 以上 4人未	満4人 以上 5人未	満5人 以上 6人未	満6人 以上 7人未	満7人 以上 8人未	満8人 以上 9人未	満9人 以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	34 27.2%	2 1.6%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	88 70.4%	0.11	37.00	4.00	0.39	2.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 54.5%	0.40	10.00	4.00	0.70	2.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 149 事業所の職員数（常勤換算人数） 看護職員

	件数	満0人 以上 1人未	満1人 以上 2人未	満2人 以上 3人未	満3人 以上 4人未	満4人 以上 5人未	満5人 以上 6人未	満6人 以上 7人未	満7人 以上 8人未	満8人 以上 9人未	満9人 以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	29 23.2%	3 2.4%	1 0.8%	3 2.4%	0 0.0%	2 1.6%	6 4.8%	2 1.6%	1 0.8%	1 0.8%	4 3.2%	73 58.4%	3.01	52.00	156.29	4.67	21.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 63.2%	0.14	7.00	1.00	0.38	1.00	0.00
訪問看護	22 100%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%	2 9.1%	6 27.3%	2 9.1%	1 4.5%	1 4.5%	4 18.2%	2 9.1%	7.54	20.00	150.89	4.79	21.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	8 38.1%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 57.1%	0.26	9.00	2.30	0.66	2.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	14 22.2%	2 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	47 74.6%	0.13	16.00	2.10	0.36	1.10	0.00

図表 150 事業所の職員数（常勤換算人数） 歯科医師

	件数	満0人 以上 1人未	満1人 以上 2人未	満2人 以上 3人未	満3人 以上 4人未	満4人 以上 5人未	満5人 以上 6人未	満6人 以上 7人未	満7人 以上 8人未	満8人 以上 9人未	満9人 以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	34 27.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	91 72.8%	0.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 151 事業所の職員数（常勤換算人数） 医師

	件数	満0人 以上 1人未	満1人 以上 2人未	満2人 以上 3人未	満3人 以上 4人未	満4人 以上 5人未	満5人 以上 6人未	満6人 以上 7人未	満7人 以上 8人未	満8人 以上 9人未	満9人 以上 10人未	10人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	34 27.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	91 72.8%	0.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 152 事業所の職員数（常勤換算人数） その他

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	満5人以上 6人未満	満6人以上 7人未満	満7人以上 8人未満	満8人以上 9人未満	満9人以上 10人未満	10人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	30 24.0%	12 9.6%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	81 64.8%	0.59	44.00	25.80	1.70	11.10	0.00
訪問介護	19 100%	6 31.6%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 63.2%	0.21	7.00	1.50	0.39	1.00	0.00
訪問看護	22 100%	4 18.2%	5 22.7%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	11 50.0%	1.65	11.00	18.10	3.20	11.10	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	14 22.2%	6 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	43 68.3%	0.31	20.00	6.20	0.49	1.20	0.00

図表 153 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 介護職（介護福祉士除く）

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	27 21.6%	7 5.6%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	6 4.8%	82 65.6%	2.17	43.00	93.40	5.23	30.00	0.00
訪問介護	19 100%	3 15.8%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	3 15.8%	10 52.6%	6.04	9.00	54.40	9.65	30.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	3 14.3%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 14.3%	9 42.9%	3.17	12.00	38.00	3.75	10.50	0.20
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	47 74.6%	0.06	16.00	1.00	0.25	1.00	0.00

図表 154 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 介護福祉士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	26 20.8%	2 1.6%	4 3.2%	2 1.6%	0 0.0%	14 11.2%	77 61.6%	4.47	48.00	214.50	7.83	38.00	0.00
訪問介護	19 100%	4 21.1%	1 5.3%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	3 15.8%	8 42.1%	5.63	11.00	61.90	11.14	38.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%	11 52.4%	7 33.3%	10.83	14.00	151.60	6.84	25.40	2.10
居宅介護支援	63 100%	16 25.4%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	46 73.0%	0.06	17.00	1.00	0.24	1.00	0.00

図表 155 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 介護支援専門員

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	36 28.8%	2 1.6%	1 0.8%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	83 66.4%	0.38	42.00	16.10	1.03	5.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	5 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.50	6.00	3.00	1.22	3.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	20 31.7%	2 3.2%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%	38 60.3%	0.52	25.00	13.10	1.18	5.00	0.00

図表 156 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 社会福祉士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	34 27.2%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	89 71.2%	0.07	36.00	2.60	0.25	1.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	7 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 66.7%	0.09	7.00	0.60	0.23	0.60	0.00
居宅介護支援	63 100%	16 25.4%	2 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	45 71.4%	0.11	18.00	2.00	0.32	1.00	0.00

図表 157 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 精神保健福祉士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	32 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	93 74.4%	0.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 158 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数）
相談員（介護支援専門員・社会福祉士・精神保健福祉士以外）

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	32 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	93 74.4%	0.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 159 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 歯科衛生士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	32 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	93 74.4%	0.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 160 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 管理栄養士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	32 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	93 74.4%	0.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 161 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 栄養士（管理栄養士除く）

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	32 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	93 74.4%	0.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 162 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 理学療法士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	34 27.2%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	90 72.0%	0.07	35.00	2.50	0.22	1.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	8 36.4%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 59.1%	0.28	9.00	2.50	0.39	1.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 163 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 作業療法士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	33 26.4%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	91 72.8%	0.06	34.00	2.10	0.22	1.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 63.6%	0.26	8.00	2.10	0.41	1.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 164 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 言語聴覚士

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	33 26.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	92 73.6%	0.01	33.00	0.30	0.05	0.30	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.04	7.00	0.30	0.11	0.30	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 165 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 看護職員

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	125 100%	35 28.0%	3 2.4%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	85 68.0%	0.53	40.00	21.00	2.00	12.50	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	9 40.9%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	11 50.0%	1.35	11.00	14.80	3.71	12.50	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 57.1%	0.69	9.00	6.20	0.74	2.30	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 166 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 歯科医師

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	32 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	93 74.4%	0.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 167 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） 医師

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	32 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	93 74.4%	0.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 71.4%	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	15 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00

図表 168 他の事業所と兼務している職員数（常勤換算人数） その他

	件数	満0人以上 1人未満	満1人以上 2人未満	満2人以上 3人未満	満3人以上 4人未満	満4人以上 5人未満	5人以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	125 100%	30 24.0%	3 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	91 72.8%	0.21	34.00	7.10	0.73	4.00	0.00
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 73.7%	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	22 100%	6 27.3%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%	0.16	7.00	1.10	0.37	1.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	14 66.7%	0.57	7.00	4.00	1.51	4.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	13 20.6%	2 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 76.2%	0.13	15.00	2.00	0.35	1.00	0.00

図表 169 介護支援専門員の基本情報 事業所の管理者 ※居宅介護支援事業所のみ回答

	件数	該当	非該当	無回答
合 計	125 100.0%	47 37.6%	15 12.0%	58 46.4%
訪問介護	19 100.0%	2 10.5%	2 10.5%	15 78.9%
訪問看護	22 100.0%	2 9.1%	0 0.0%	19 86.4%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100.0%	0 0.0%	1 4.8%	18 85.7%
居宅介護支援	63 100.0%	43 68.3%	12 19.0%	6 9.5%

図表 170 介護支援専門員としての業務経験年数 ※居宅介護支援事業所のみ回答

	件数	1年未満	満1年以上 5年未満	満5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	63 100%	0 0.0%	2 3.2%	7 11.1%	22 34.9%	18 28.6%	13 20.6%	1 1.6%	14.97	62.00	928.08	4.75	23.00	3.50
訪問介護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	0 0.0%	2 3.2%	7 11.1%	22 34.9%	18 28.6%	13 20.6%	1 1.6%	14.97	62.00	928.08	4.75	23.00	3.50

図表 171 介護支援専門員の担当件数（要支援1・2は介護予防支援業務の委託を受けている人数）

居宅介護 ※居宅介護支援事業所のみ回答

	件数	0件	1件 9件	10件 19件	20件 29件	30件 39件	40件 49件	50件 以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	63 100%	1 1.6%	3 4.8%	2 3.2%	17 27.0%	24 38.1%	10 15.9%	3 4.8%	3 4.8%	33.92	60.00	2035.00	26.84	215.00	0.00
訪問介護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	1 1.6%	3 4.8%	2 3.2%	17 27.0%	24 38.1%	10 15.9%	3 4.8%	3 4.8%	33.92	60.00	2035.00	26.84	215.00	0.00

図表 172 介護支援専門員の担当件数（要支援１・２は介護予防支援業務の委託を受けている人数）

介護予防 ※居宅介護支援事業所のみ回答

	件数	0件	1件 ～ 9件	10件 ～ 19件	20件 ～ 29件	30件 ～ 39件	40件 ～ 49件	50件 以上	無回答	平均	平均の 分母	実数 合計	標準 偏差	最大 値	最小 値
全体	63 100%	5 7.9%	41 65.1%	9 14.3%	2 3.2%	2 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.3%	6.51	59.00	384.00	6.59	33.00	0.00
訪問介護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	5 7.9%	41 65.1%	9 14.3%	2 3.2%	2 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.3%	6.51	59.00	384.00	6.59	33.00	0.00

図表 173 介護支援専門員の勤務形態 ※居宅介護支援事業所のみ回答

	件数	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	非常勤兼務	無回答
合 計	125 100.0%	40 32.0%	21 16.8%	1 0.8%	0 0.0%	48 38.4%
訪問介護	19 100.0%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	11 57.9%
訪問看護	22 100.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	18 81.8%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 85.7%
居宅介護支援	63 100.0%	37 58.7%	19 30.2%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%

図表 174 主任介護支援専門員資格 ※居宅介護支援事業所のみ回答

	件数	あり	なし	無回答
合 計	125 100.0%	50 40.0%	5 4.0%	56 44.8%
訪問介護	19 100.0%	2 10.5%	1 5.3%	11 57.9%
訪問看護	22 100.0%	1 4.5%	1 4.5%	18 81.8%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 85.7%
居宅介護支援	63 100.0%	47 74.6%	3 4.8%	9 14.3%

図表 175 その他の保有資格【複数回答可】 ※居宅介護支援事業所のみ回答

	件数	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	社会福祉士	介護福祉士	視能訓練士	義肢装具士
合計	125 100.0%	4 3.2%	5 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 7.2%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	23 18.4%	38 30.4%	3 2.4%	3 2.4%
訪問介護	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%
訪問看護	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居宅介護支援	63 100.0%	4 6.3%	5 7.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 12.7%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	22 34.9%	35 55.6%	3 4.8%	3 4.8%

	件数	歯科衛生士	言語聴覚士	あん摩マツサージ指圧師	はり師	きゅう師	柔道整復師	管理栄養士	栄養士	精神保健福祉士	介護福祉士 （旧ホームヘルパー1級） 実務者研修	介護職員 （旧ホームヘルパー2級） 初任者研修	3旧ホームヘルパー	その他	無回答
合 計	125 100.0%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.6%	1 0.8%	15 12.0%	0 0.0%	7 5.6%	4 3.2%
訪問介護	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 57.9%
訪問看護	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 86.4%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 85.7%
居宅介護支援	63 100.0%	2 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.2%	1 1.6%	14 22.2%	0 0.0%	7 11.1%	1 1.6%

図表 176 介護支援専門員の年齢 ※居宅介護支援事業所のみ回答

	件数	40歳未満	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳以上	無回答	平均	平均の 分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	63 100%	2 3.2%	9 14.3%	20 31.7%	10 15.9%	6 9.5%	9 14.3%	7 11.1%	50.36	56.00	2820.00	7.19	67.00	37.00
訪問介護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問看護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	0 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
居宅介護支援	63 100%	2 3.2%	9 14.3%	20 31.7%	10 15.9%	6 9.5%	9 14.3%	7 11.1%	50.36	56.00	2820.00	7.19	67.00	37.00

図表 177 法人が提供しているサービス（関連法人・系列法人を含む）【複数回答可】

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	通所介護	訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入居者生活介護	福祉用具貸与または販売	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	地域密着型通所介護
全体	125	68 54.4%	12 9.6%	62 49.6%	55 44.0%	22 17.6%	27 21.6%	38 30.4%	18 14.4%	12 9.6%	29 23.2%	30 24.0%	11 8.8%	21 16.8%
訪問介護	19	17 89.5%	5 26.3%	4 21.1%	11 57.9%	0 0.0%	0 0.0%	7 36.8%	0 0.0%	3 15.8%	6 31.6%	4 21.1%	2 10.5%	4 21.1%
訪問看護	22	8 36.4%	1 4.5%	17 77.3%	6 27.3%	3 13.6%	5 22.7%	2 9.1%	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%	3 13.6%	0 0.0%	1 4.5%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	10 47.6%	3 14.3%	9 42.9%	9 42.9%	1 4.8%	1 4.8%	8 38.1%	1 4.8%	2 9.5%	7 33.3%	16 76.2%	6 28.6%	9 42.9%
居宅介護支援	63	33 52.4%	3 4.8%	32 50.8%	29 46.0%	18 28.6%	21 33.3%	21 33.3%	16 25.4%	5 7.9%	15 23.8%	7 11.1%	3 4.8%	7 11.1%

	件数	介護認知症対応型通所	宅小規模多機能型居	生認知症対応型共同	設地域密着型生活特定介護施設	介社地域密着型老人生活	型看護小規模多機能	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	設介護療養型医療施設	介護医療院	病院	支援診療所（在宅療養）	支援診療所（在宅外療養）
全体	125	24 19.2%	27 21.6%	30 24.0%	3 2.4%	5 4.0%	13 10.4%	19 15.2%	22 17.6%	1 0.8%	3 2.4%	26 20.8%	11 8.8%	5 4.0%
訪問介護	19	2 10.5%	7 36.8%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
訪問看護	22	0 0.0%	1 4.5%	4 18.2%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	6 28.6%	5 23.8%	10 47.6%	1 4.8%	0 0.0%	5 23.8%	4 19.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%
居宅介護支援	63	16 25.4%	14 22.2%	13 20.6%	1 1.6%	3 4.8%	5 7.9%	12 19.0%	19 30.2%	1 1.6%	2 3.2%	22 34.9%	9 14.3%	4 6.3%

図表 178 事業所に併設されているサービス【複数回答可】

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	通所介護	訪問リハビリ	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入居者生活介護	福祉用具貸与
全体	125	43 34.4%	4 3.2%	23 18.4%	24 19.2%	6 4.8%	10 8.0%	12 9.6%	8 6.4%	5 4.0%	4 3.2%
訪問介護	19	6 31.6%	2 10.5%	0 0.0%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%
訪問看護	22	4 18.2%	0 0.0%	6 27.3%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	12 57.1%	0 0.0%	2 9.5%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%
居宅介護支援	63	21 33.3%	2 3.2%	15 23.8%	15 23.8%	6 9.5%	9 14.3%	9 14.3%	8 12.7%	3 4.8%	4 6.3%

看 護	定 期 巡 回 ・ 随 時	介 護	夜 間 対 応 型 訪 問	介 護	地 域 密 着 型 通 所	所 認 知 症 対 応 型 通	居 宅 小 規 模 多 機 能 型	同 認 知 症 対 応 型 共	施 設 入 居 者 生 活	地 域 密 着 型 特 定	生 活 介 護	福 祉 施 設 入 所 者	地 域 密 着 型 老 人	能 看 型 居 宅 介 護	看 護 小 規 模 多 機	設 介 護 老 人 福 祉 施	設 介 護 老 人 保 健 施	施 設 介 護 療 養 型 医 療	介 護 医 療 院	病 院	診 療 所 （ 在 宅 療 所 ）	外 養 支 援 所 （ 在 宅 療 所 ）	診 療 所 （ 在 宅 療 所 ）
20 16.0%	10 8.0%	4 3.2%	4 3.2%	5 4.0%	4 3.2%	0 0.0%	2 1.6%	3 2.4%	8 6.4%	7 5.6%	0 0.0%	1 0.8%	5 4.0%	1 0.8%	3 2.4%								
2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%								
1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%								
12 57.1%	7 33.3%	1 4.8%	1 4.8%	3 14.3%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%								
5 7.9%	2 3.2%	1 1.6%	3 4.8%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%	2 3.2%	6 9.5%	7 11.1%	0 0.0%	1 1.6%	4 6.3%	0 0.0%	3 4.8%								

	件数	居宅介護支援	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム（介護付型有料老人ホーム）	有料老人ホーム（介護付型有料老人ホーム）	養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウスA、B）	旧高齢者専用賃貸住宅	地域包括支援センター（在宅介護支援センター）	調剤薬局	特になし	無回答
全体	125	46 36.8%	7 5.6%	5 4.0%	4 3.2%	0 0.0%	7 5.6%	2 1.6%	3 2.4%	31 24.8%	
訪問介護	19	8 42.1%	0 0.0%	1 5.3%	2 10.5%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 31.6%	
訪問看護	22	8 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	9 40.9%	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	10 47.6%	2 9.5%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	
居宅介護支援	63	20 31.7%	5 7.9%	2 3.2%	2 3.2%	0 0.0%	2 3.2%	2 3.2%	2 3.2%	14 22.2%	

図表 179 本調査の実施前からの LIFE の認知度

	件数	知っていた	知らなかった	無回答
全体	125 100%	115 92.0%	9 7.2%	1 0.8%
訪問介護	19 100%	17 89.5%	2 10.5%	0 0.0%
訪問看護	22 100%	19 86.4%	3 13.6%	0 0.0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21 100%	19 90.5%	2 9.5%	0 0.0%
居宅介護支援	63 100%	60 95.2%	2 3.2%	1 1.6%

図表 180 LIFE を知った経緯【複数回答可】

	件数	省・行政（厚生労働）	居宅サービス事業所	（介護支援専門員）	（介護支援専門員）	職能団体等	その他の事業所	民間の雑誌等	その他	無回答
全体	115	88 76.5%	30 26.1%	23 20.0%	7 6.1%	35 30.4%	16 13.9%	13 11.3%	12 10.4%	1 0.9%
訪問介護	17	13 76.5%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	2 11.8%	0 0.0%	4 23.5%	0 0.0%
訪問看護	19	16 84.2%	4 21.1%	2 10.5%	1 5.3%	3 15.8%	3 15.8%	3 15.8%	3 15.8%	1 5.3%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19	11 57.9%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	5 26.3%	2 10.5%	3 15.8%	0 0.0%
居宅介護支援	60	48 80.0%	22 36.7%	19 31.7%	5 8.3%	30 50.0%	6 10.0%	8 13.3%	2 3.3%	0 0.0%

図表 181 同じ法人が経営する別のサービスにおける LIFE の利用状況
(データの提出や加算の算定など)

	件数	利用している	利用していない	分からない	無回答
全体	115 100%	63 54.8%	42 36.5%	7 6.1%	3 2.6%
訪問介護	17 100%	11 64.7%	5 29.4%	1 5.9%	0 0.0%
訪問看護	19 100%	6 31.6%	10 52.6%	1 5.3%	2 10.5%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19 100%	13 68.4%	3 15.8%	2 10.5%	1 5.3%
居宅介護支援	60 100%	33 55.0%	24 40.0%	3 5.0%	0 0.0%

図表 182 同じ法人が経営する別のサービスにおいて LIFE を利用している場合、
全利用者における割合

	件 数	1 割	2 割	3 割	4 割	5 割	6 割	7 割	8 割	9 割	1 0 割	無 回 答	平 均	平 均 の 分 母	実 数 合 計	標 準 偏 差	最 大 値	最 小 値
全体	63 100%	3 4.8%	4 6.3%	1 1.6%	5 7.9%	9 14.3%	5 7.9%	7 11.1%	3 4.8%	3 4.8%	16 25.4%	7 11.1%	6.59	56.00	369.00	2.89	10.00	1.00
訪問介護	11 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	3 27.3%	2 18.2%	7.22	9.00	65.00	2.39	10.00	4.00
訪問看護	6 100%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	7.20	5.00	36.00	3.56	10.00	2.00
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	13 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	2 15.4%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	2 15.4%	6.55	11.00	72.00	1.92	10.00	4.00
居宅介護支援	33 100%	3 9.1%	3 9.1%	1 3.0%	3 9.1%	4 12.1%	0 0.0%	4 12.1%	2 6.1%	2 6.1%	9 27.3%	2 6.1%	6.32	31.00	196.00	3.26	10.00	1.00

図表 183 利用者の状態に関する評価の実施頻度（令和4年7月1日時点における状況）
※訪問系サービスのみ回答

	件 数	て定 い期 る 的 に 実 施 し	て不 定 期 に 実 施 し	実 施 し て い な い	そ の 他	無 回 答
全体	62 100%	37 59.7%	17 27.4%	3 4.8%	3 4.8%	2 3.2%
訪問介護	19 100%	9 47.4%	8 42.1%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%
訪問看護	22 100%	16 72.7%	3 13.6%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%
定期巡回・随時対応型訪問介護 看護	21 100%	12 57.1%	6 28.6%	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%

図表 184 利用者の状態に関する評価を定期的に行っている場合の回数／年
(令和4年7月1日時点における状況) ※訪問系サービスのみ回答

	件数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	37	2	9	1	3	0	5	0	0	0	0	0	16	0	1	7.14	36.00	257.00	4.61	12.00	1.00
	100%	5.4%	24.3%	2.7%	8.1%	0.0%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.2%	0.0%	2.7%						
訪問介護	9	1	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4.44	9.00	40.00	4.36	12.00	1.00
	100%	11.1%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%						
訪問看護	16	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11	0	1	9.40	15.00	141.00	4.50	12.00	1.00
	100%	6.3%	12.5%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	68.8%	0.0%	6.3%						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	12	0	3	0	1	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0	6.33	12.00	76.00	3.80	12.00	2.00
	100%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%						

図表 185 状態の評価の対象としている利用者(令和4年7月1日時点における状況)
※訪問系サービスのみ回答

	件数	担当者全員の利	要担当者利用者のみ	その他	無回答
全体	62	47	8	1	6
	100%	75.8%	12.9%	1.6%	9.7%
訪問介護	19	14	4	0	1
	100%	73.7%	21.1%	0.0%	5.3%
訪問看護	22	17	3	0	2
	100%	77.3%	13.6%	0.0%	9.1%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	16	1	1	3
	100%	76.2%	4.8%	4.8%	14.3%

図表 186 担当している利用者のうち、必要な利用者のみ状態の評価の対象としている割合
(令和4年7月1日時点における状況) ※訪問系サービスのみ回答

	件数	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	8	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	2	3.67	6.00	22.00	2.16	7.00	1.00
	100%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%						
訪問介護	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4.50	2.00	9.00	3.54	7.00	2.00
	100%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%						
訪問看護	3	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4.00	3.00	12.00	1.00	5.00	3.00
	100%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00
	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						

図表 187 利用者の状態の評価の実施体制【複数回答可】（令和４年７月１日時点における状況）

※訪問系サービスのみ回答

	件数	等（利用者・訪問看護員・訪問看護士）が評価している	理・事（訪問看護士・訪問看護員）が評価している	の居宅介護支援事業所から評価	領事居宅介護支援事業所の結果を他	て評価の実施・結果の受領はし	その他	無回答
全体	62	49 79.0%	20 32.3%	5 8.1%	3 4.8%	1 1.6%	2 3.2%	4 6.5%
訪問介護	19	13 68.4%	11 57.9%	3 15.8%	1 5.3%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%
訪問看護	22	20 90.9%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	16 76.2%	8 38.1%	2 9.5%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%

図表 188 利用者の状態の評価方法【複数回答可】（令和４年７月１日時点における状況）

※訪問系サービスのみ回答

	件数	価（A 評価基準に基づき評価）	踏利用者の普段の状況等を	情利用・家族との面談で	その他	無回答
全体	62	30 48.4%	51 82.3%	23 37.1%	2 3.2%	5 8.1%
訪問介護	19	6 31.6%	16 84.2%	9 47.4%	2 10.5%	1 5.3%
訪問看護	22	14 63.6%	17 77.3%	5 22.7%	0 0.0%	2 9.1%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	10 47.6%	18 85.7%	9 42.9%	0 0.0%	2 9.5%

図表 189 利用者の状態の評価項目の中で、該当する項目【複数回答可】
(令和4年7月1日時点における状況) ※訪問系サービスのみ回答

	件数	排泄・移動・日常生活動作・更衣・排食	趣味・洗濯・掃除・買い物・外出・入浴・入所・退所	認知機能	認知症の行動・心理症状 (BPSD)	意欲	栄養状態	口腔・嚥下機能	褥瘡	排泄	滞り・回数・居室内・離床・時間・その他	服薬の状況	その他	無回答
全体	62	53 85.5%	43 69.4%	41 66.1%	31 50.0%	36 58.1%	30 48.4%	29 46.8%	30 48.4%	46 74.2%	27 43.5%	48 77.4%	6 9.7%	5 8.1%
訪問介護	19	16 84.2%	14 73.7%	11 57.9%	10 52.6%	9 47.4%	10 52.6%	9 47.4%	8 42.1%	12 63.2%	4 21.1%	13 68.4%	3 15.8%	1 5.3%
訪問看護	22	20 90.9%	16 72.7%	17 77.3%	13 59.1%	11 50.0%	15 68.2%	14 63.6%	18 81.8%	17 77.3%	13 59.1%	17 77.3%	3 13.6%	2 9.1%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	17 81.0%	13 61.9%	13 61.9%	8 38.1%	16 76.2%	5 23.8%	6 28.6%	4 19.0%	17 81.0%	10 47.6%	18 85.7%	0 0.0%	2 9.5%

図表 190 指標を用いた日常的な利用者の状態の評価の実施状況
(令和4年7月1日時点における状況)

※「利用者の状態に関する評価を実施していない」と回答した場合は対象外

	件数	評価している	評価していない	無回答
全体	122 100%	40 32.8%	64 52.5%	18 14.8%
訪問介護	19 100%	5 26.3%	13 68.4%	1 5.3%
訪問看護	21 100%	13 61.9%	6 28.6%	2 9.5%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19 100%	4 21.1%	15 78.9%	0 0.0%
居宅介護支援	63 100%	18 28.6%	30 47.6%	15 23.8%

図表 191 評価している内容【複数回答可】（令和４年７月１日時点における状況）

※「日常的に利用者の状況を指標を用いて評価している」と回答した場合のみ回答

	件数	排泄・移動・日常生活動作・更衣・排食	洗濯・掃除・買物の利用・趣味・洗濯	認知機能	認知症の行動・心理症状（B）	栄養状態	口腔・嚥下機能	その他	無回答
全体	40	35 87.5%	28 70.0%	29 72.5%	22 55.0%	25 62.5%	21 52.5%	11 27.5%	0 0.0%
訪問介護	5	5 100.0%	4 80.0%	4 80.0%	4 80.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
訪問看護	13	10 76.9%	6 46.2%	8 61.5%	4 30.8%	9 69.2%	6 46.2%	7 53.8%	0 0.0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
居宅介護支援	18	16 88.9%	14 77.8%	15 83.3%	13 72.2%	12 66.7%	12 66.7%	4 22.2%	0 0.0%

図表 192 評価した内容について、多職種での議論の実施状況（令和４年７月１日時点における状況）

※「日常的に利用者の状況を指標を用いて評価している」と回答した場合のみ回答

	件数	定期的に議論し	不定期だが議論	議論したことは	無回答
全体	40 100%	5 12.5%	28 70.0%	4 10.0%	3 7.5%
訪問介護	5 100%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%
訪問看護	13 100%	0 0.0%	10 76.9%	2 15.4%	1 7.7%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4 100%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
居宅介護支援	18 100%	4 22.2%	11 61.1%	1 5.6%	2 11.1%

図表 193 状態を評価した結果の利用者あるいはその家族への説明の実施状況
(令和4年7月1日時点における状況)

※「利用者の状態に関する評価を実施していない」と回答した場合は対象外

	件 数	あ る	な い	無 回 答
全体	122 100%	57 46.7%	42 34.4%	23 18.9%
訪問介護	19 100%	9 47.4%	10 52.6%	0 0.0%
訪問看護	21 100%	15 71.4%	4 19.0%	2 9.5%
定期巡回・随時対応型訪問介護 看護	19 100%	11 57.9%	8 42.1%	0 0.0%
居宅介護支援	63 100%	22 34.9%	20 31.7%	21 33.3%

図表 194 状態を評価した結果について、利用者・家族への説明の実施頻度
(令和4年7月1日時点における状況) ※「利用者の状態を評価した結果を利用者あるいはその家族に
説明したことがある」と回答した場合のみ回答

	件 数	実 現 施 在 し 、 定 期 的 に	実 現 施 在 し 、 不 定 期 に	に 過 実 去 施 に し 、 定 期 的	に 過 実 去 施 に し 、 不 定 期	そ の 他	無 回 答
全体	57 100%	16 28.1%	35 61.4%	2 3.5%	2 3.5%	1 1.8%	1 1.8%
訪問介護	9 100%	2 22.2%	5 55.6%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
訪問看護	15 100%	5 33.3%	9 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%
定期巡回・随時対応型訪問介護 看護	11 100%	2 18.2%	9 81.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居宅介護支援	22 100%	7 31.8%	12 54.5%	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%

図表 195 状態を評価した結果について、

利用者・家族への説明を定期的に行っている場合の回数／年（令和4年7月1日時点における状況）

※「利用者の状態を評価した結果を利用者あるいはその家族に説明したことがある」と

回答した場合のみ回答

	件数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回以上	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	16	0	5	0	5	0	1	0	0	0	1	0	4	0	0	5.88	16.00	94.00	4.16	12.00	2.00
	100%	0.0%	31.3%	0.0%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%						
訪問介護	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	8.00	2.00	16.00	5.66	12.00	4.00
	100%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%						
訪問看護	5	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	7.60	5.00	38.00	4.10	12.00	4.00
	100%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.00	2.00	4.00	0.00	2.00	2.00
	100%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
居宅介護支援	7	0	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	5.14	7.00	36.00	4.14	12.00	2.00
	100%	0.0%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%						

図表 196 状態を評価した結果について、説明の対象者【複数回答可】

（令和4年7月1日時点における状況）

※「利用者の状態を評価した結果を利用者あるいはその家族に説明したことがある」と

回答した場合のみ回答

	件数	利用者本人	利用者の家族	その他	無回答
全体	57	46 80.7%	51 89.5%	3 5.3%	3 5.3%
訪問介護	9	5 55.6%	8 88.9%	2 22.2%	0 0.0%
訪問看護	15	11 73.3%	12 80.0%	0 0.0%	2 13.3%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	11	9 81.8%	10 90.9%	0 0.0%	0 0.0%
居宅介護支援	22	21 95.5%	21 95.5%	1 4.5%	1 4.5%

図表 197 説明対象者が利用者本人の割合（令和4年7月1日時点における状況）

※「利用者の状態を評価した結果を利用者あるいはその家族に説明したことがある」と

回答した場合のみ回答

	件数	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	46	3	7	4	1	8	5	4	6	2	5	1	5.49	45.00	247.00	2.82	10.00	1.00
	100%	6.5%	15.2%	8.7%	2.2%	17.4%	10.9%	8.7%	13.0%	4.3%	10.9%	2.2%						
訪問介護	5	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	0	6.60	5.00	33.00	2.07	10.00	5.00
	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%						
訪問看護	11	0	1	1	0	2	0	1	4	2	0	0	6.55	11.00	72.00	2.42	9.00	2.00
	100%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	0	5	1	0	0	1	1	0	0	1	0	4.00	9.00	36.00	2.96	10.00	2.00
	100%	0.0%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%						
居宅介護支援	21	3	1	2	1	4	3	1	2	0	3	1	5.30	20.00	106.00	2.94	10.00	1.00
	100%	14.3%	4.8%	9.5%	4.8%	19.0%	14.3%	4.8%	9.5%	0.0%	14.3%	4.8%						

図表 198 説明対象者が利用者の家族の割合（令和４年７月１日時点における状況）

※「利用者の状態を評価した結果を利用者あるいはその家族に説明したことがある」と回答した場合のみ回答

	件数	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	無回答	平均	平均の分母	実数合計	標準偏差	最大値	最小値
全体	51	9	5	4	2	8	3	3	10	1	4	2	5.04	49.00	247.00	2.99	10.00	1.00
	100%	17.6%	9.8%	7.8%	3.9%	15.7%	5.9%	5.9%	19.6%	2.0%	7.8%	3.9%						
訪問介護	8	2	1	2	1	1	0	0	0	0	1	0	3.62	8.00	29.00	2.92	10.00	1.00
	100%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%						
訪問看護	12	1	2	1	0	3	0	1	2	1	0	1	5.00	11.00	55.00	2.76	9.00	1.00
	100%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10	3	0	0	0	2	0	0	4	0	1	0	5.50	10.00	55.00	3.44	10.00	1.00
	100%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%						
居宅介護支援	21	3	2	1	1	2	3	2	4	0	2	1	5.40	20.00	108.00	2.95	10.00	1.00
	100%	14.3%	9.5%	4.8%	4.8%	9.5%	14.3%	9.5%	19.0%	0.0%	9.5%	4.8%						

図表 199 説明内容【複数回答可】（令和４年７月１日時点における状況）

※「利用者の状態を評価した結果を利用者あるいはその家族に説明したことがある」と回答した場合のみ回答

	件数	排泄・移動・日常生活等（更衣・排食）	洗濯・掃除（機械・手動）の物的利用等（趣味・娯楽）	認知機能	（認知症の行動・心理症状）	栄養状態	口腔・嚥下機能	その他	無回答
全体	57	47	34	38	28	32	23	13	2
		82.5%	59.6%	66.7%	49.1%	56.1%	40.4%	22.8%	3.5%
訪問介護	9	9	8	8	6	5	4	1	0
		100.0%	88.9%	88.9%	66.7%	55.6%	44.4%	11.1%	0.0%
訪問看護	15	11	5	7	5	10	7	8	1
		73.3%	33.3%	46.7%	33.3%	66.7%	46.7%	53.3%	6.7%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	11	7	6	4	4	2	3	4	0
		63.6%	54.5%	36.4%	36.4%	18.2%	27.3%	36.4%	0.0%
居宅介護支援	22	20	15	19	13	15	9	0	1
		90.9%	68.2%	86.4%	59.1%	68.2%	40.9%	0.0%	4.5%

図表 200 LIFE 項目を利用者ごとに評価する際の課題【複数回答可】

サービス別合計

	件数	で特 きた 問題 なく 評価	あな った 評価 をした 必要 とが	る評 の価 が方 難し かを 理解 した	るど かの 判断 評価 結果 につ いた	間た ーり に利 用者 がた る1 人か あつ	無 回 答
ADL (Barthel Index)	125 100%	60 48.0%	11 8.8%	23 18.4%	19 15.2%	5 4.0%	8 6.4%
ADL・IADL (Barthel Index以 外)	125 100%	59 47.2%	13 10.4%	23 18.4%	12 9.6%	7 5.6%	13 10.4%
認知機能・行動心理症状 (DBD1 3)	125 100%	59 47.2%	18 14.4%	17 13.6%	16 12.8%	8 6.4%	9 7.2%
認知機能・行動心理症状 (DBD13 以外)	125 100%	53 42.4%	19 15.2%	17 13.6%	15 12.0%	5 4.0%	14 11.2%
意欲 (Vitality Index)	125 100%	55 44.0%	18 14.4%	21 16.8%	16 12.8%	5 4.0%	11 8.8%
栄養状態	125 100%	45 36.0%	29 23.2%	15 12.0%	21 16.8%	6 4.8%	9 7.2%
口腔・嚥下機能	125 100%	54 43.2%	24 19.2%	18 14.4%	10 8.0%	11 8.8%	8 6.4%
褥瘡	125 100%	65 52.0%	10 8.0%	19 15.2%	13 10.4%	6 4.8%	17 13.6%
日中の活動	125 100%	61 48.8%	11 8.8%	22 17.6%	10 8.0%	5 4.0%	15 12.0%
排泄	125 100%	75 60.0%	10 8.0%	19 15.2%	9 7.2%	4 3.2%	10 8.0%
服薬	125 100%	66 52.8%	13 10.4%	18 14.4%	7 5.6%	11 8.8%	11 8.8%

訪問介護

	件 数	で きた 問題 なく 評価	あ な 評 つ く 調 べ し た 必 要 が が	る 評 の 価 が 方 法 し を か 理 解 た す	る ど の 判 断 価 に 結 果 つ た す	間 た た 常 評 り へ に 価 に 利 時 す る か 者 が た る 1 か め 時 人 か に あ つ 非	無 回 答
ADL (Barthel Index)	19 100%	6 31.6%	2 10.5%	5 26.3%	3 15.8%	2 10.5%	1 5.3%
ADL・IADL (Barthel Index以外)	19 100%	4 21.1%	4 21.1%	4 21.1%	1 5.3%	3 15.8%	3 15.8%
認知機能・行動心理症状 (DBD13)	19 100%	5 26.3%	4 21.1%	2 10.5%	3 15.8%	3 15.8%	2 10.5%
認知機能・行動心理症状 (DBD13以外)	19 100%	5 26.3%	4 21.1%	2 10.5%	1 5.3%	3 15.8%	3 15.8%
意欲 (Vitality Index)	19 100%	6 31.6%	4 21.1%	3 15.8%	1 5.3%	3 15.8%	2 10.5%
栄養状態	19 100%	3 15.8%	6 31.6%	3 15.8%	4 21.1%	1 5.3%	1 5.3%
口腔・嚥下機能	19 100%	6 31.6%	6 31.6%	2 10.5%	1 5.3%	2 10.5%	1 5.3%
褥瘡	19 100%	6 31.6%	3 15.8%	5 26.3%	2 10.5%	2 10.5%	3 15.8%
日中の活動	19 100%	5 26.3%	4 21.1%	4 21.1%	1 5.3%	1 5.3%	3 15.8%
排泄	19 100%	6 31.6%	3 15.8%	4 21.1%	3 15.8%	1 5.3%	1 5.3%
服薬	19 100%	5 26.3%	7 36.8%	5 26.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%

訪問看護

	件 数	で きた 問題 なく 評価	あ な 評 つ く 調 べ し た 必 要 が が	る 評 の 価 が 方 法 し を か 理 解 た す	る ど の 判 断 価 に 結 果 つ た す	間 た た 常 評 り へ に 価 に 利 時 す る か 者 が た る 1 か め 時 人 か に あ つ 非	無 回 答
ADL (Barthel Index)	22 100%	15 68.2%	0 0.0%	2 9.1%	2 9.1%	1 4.5%	1 4.5%
ADL・IADL (Barthel Index以外)	22 100%	15 68.2%	3 13.6%	2 9.1%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%
認知機能・行動心理症状 (DBD13)	22 100%	11 50.0%	6 27.3%	3 13.6%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%
認知機能・行動心理症状 (DBD13以外)	22 100%	10 45.5%	6 27.3%	3 13.6%	3 13.6%	0 0.0%	1 4.5%
意欲 (Vitality Index)	22 100%	11 50.0%	5 22.7%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	2 9.1%
栄養状態	22 100%	12 54.5%	4 18.2%	2 9.1%	2 9.1%	2 9.1%	0 0.0%
口腔・嚥下機能	22 100%	14 63.6%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%	3 13.6%	1 4.5%
褥瘡	22 100%	17 77.3%	1 4.5%	3 13.6%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%
日中の活動	22 100%	14 63.6%	2 9.1%	4 18.2%	0 0.0%	2 9.1%	1 4.5%
排泄	22 100%	15 68.2%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	1 4.5%	2 9.1%
服薬	22 100%	13 59.1%	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%	3 13.6%	2 9.1%

定期巡回・随时対応型訪問介護看護

	件数	特に問題なく評価できた	評価をしたことがあつた	評価の方法を理解する	どの評価結果にした	常に評価するが、1人あつた	無回答
ADL (Barthel Index)	21 100%	8 38.1%	1 4.8%	3 14.3%	8 38.1%	0 0.0%	0 0.0%
ADL・IADL (Barthel Index以外)	21 100%	6 28.6%	2 9.5%	7 33.3%	3 14.3%	1 4.8%	2 9.5%
認知機能・行動心理症状 (DBD13)	21 100%	10 47.6%	2 9.5%	3 14.3%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%
認知機能・行動心理症状 (DBD13以外)	21 100%	9 42.9%	3 14.3%	3 14.3%	5 23.8%	0 0.0%	1 4.8%
意欲 (Vitality Index)	21 100%	10 47.6%	1 4.8%	4 19.0%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%
栄養状態	21 100%	5 23.8%	6 28.6%	3 14.3%	6 28.6%	0 0.0%	1 4.8%
口腔・嚥下機能	21 100%	11 52.4%	4 19.0%	3 14.3%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%
褥瘡	21 100%	9 42.9%	3 14.3%	3 14.3%	4 19.0%	1 4.8%	3 14.3%
日中の活動	21 100%	9 42.9%	1 4.8%	3 14.3%	3 14.3%	1 4.8%	3 14.3%
排泄	21 100%	15 71.4%	1 4.8%	3 14.3%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
服薬	21 100%	9 42.9%	2 9.5%	3 14.3%	3 14.3%	4 19.0%	0 0.0%

居宅介護支援

	件数	できた で特に問題なく評価	評価をしたことが あつた調べる必要が	評価の方法を理解した	どの評価結果にした	間（に）に利用する た（か）かめ り（に）に利用する か（か）かめ る（か）かめ 時（か）かめ あ（か）かめ	無回答
ADL(Barthel Index)	63 100%	31 49.2%	8 12.7%	13 20.6%	6 9.5%	2 3.2%	6 9.5%
ADL・IADL(Barthel Index以外)	63 100%	34 54.0%	4 6.3%	10 15.9%	6 9.5%	2 3.2%	8 12.7%
認知機能・行動心理症状(DBD13)	63 100%	33 52.4%	6 9.5%	9 14.3%	5 7.9%	3 4.8%	7 11.1%
認知機能・行動心理症状(DBD13以外)	63 100%	29 46.0%	6 9.5%	9 14.3%	6 9.5%	2 3.2%	9 14.3%
意欲(Vitality Index)	63 100%	28 44.4%	8 12.7%	10 15.9%	9 14.3%	1 1.6%	7 11.1%
栄養状態	63 100%	25 39.7%	13 20.6%	7 11.1%	9 14.3%	3 4.8%	7 11.1%
口腔・嚥下機能	63 100%	23 36.5%	12 19.0%	10 15.9%	8 12.7%	5 7.9%	6 9.5%
褥瘡	63 100%	33 52.4%	3 4.8%	8 12.7%	7 11.1%	2 3.2%	9 14.3%
日中の活動	63 100%	33 52.4%	4 6.3%	11 17.5%	6 9.5%	1 1.6%	8 12.7%
排泄	63 100%	39 61.9%	5 7.9%	9 14.3%	2 3.2%	2 3.2%	7 11.1%
服薬	63 100%	39 61.9%	3 4.8%	8 12.7%	3 4.8%	3 4.8%	8 12.7%

図表 201 自事業所のフィードバック票の結果に基づいた、
訪問看護計画・訪問介護計画・ケアプランの妥当性の検討状況【複数回答可】

	件数	事業所内で検討した	サードパーティ等にも他検した	事業所以外に他検した	検討しなかった	無回答
合 計	125 100%	51 40.8%	7 5.6%	10 8.0%	48 38.4%	3 2.4%
訪問介護	19 100%	5 26.3%	0 0.0%	1 5.3%	9 47.4%	0 0.0%
訪問看護	22 100%	14 63.6%	1 4.5%	0 0.0%	6 27.3%	0 0.0%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	10 47.6%	0 0.0%	2 9.5%	8 38.1%	0 0.0%
居宅介護支援	63 100%	22 34.9%	6 9.5%	7 11.1%	25 39.7%	3 4.8%

図表 202 自事業所のフィードバック票に基づいた検討結果

	件数	妥当で あった ことが	要 問 性 を 感 じ た 直 す け 必 ず 訪	無 回 答
合 計	60 100%	52 86.7%	8 13.3%	0 0.0%
訪問介護	5 100%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%
訪問看護	14 100%	13 92.9%	1 7.1%	0 0.0%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	10 100%	9 90.0%	1 10.0%	0 0.0%
居宅介護支援	31 100%	27 87.1%	4 12.9%	0 0.0%

図表 203 自事業所のフィードバック票に基づいた検討の結果、
訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの見直しの状況
※「見直す必要性を感じた」と回答した場合のみ回答

	件 数	実 施 し た	実 施 し な か っ た	無 回 答
合 計	8 100.0%	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%
訪問介護	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
訪問看護	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
居宅介護支援	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%

図表 204 自事業所のフィードバック票に基づいた検討の結果、
訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの見直しを実施しなかった理由【複数回答可】
※「見直しを実施しなかった」と回答した場合のみ回答

	件 数	かばど つよの たいよ かかう ら分 にか 見 ら直 なせ	ぐ利 わ用 な者 かの つ意 た向 かに らそ	し人再 て員検 いや討 る時す か聞る らがた 不め 足の	そ の 他	無 回 答
合 計	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 0.0%	2 0.0%	0 0.0%
訪問介護	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
訪問看護	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	1 0.0%	0 0.0%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居宅介護支援	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%

図表 205 自事業所のフィードバック票に基づいた検討の結果、
訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの妥当性について、検討しなかった理由【複数回答可】
※「妥当性の検討を実施しなかった」と回答した場合のみ回答

	件数	かのフ っ見 た方 かが ド らわ バ ッ ク な 票	て員検 いや討 る時す か間る らが た 不 め 足 の し 人	そ 他	無 回 答
合 計	47 100%	27 57.4%	23 48.9%	10 21.3%	1 2.1%
訪問介護	9 100%	3 33.3%	7 77.8%	2 22.2%	0 100.0%
訪問看護	6 100%	5 83.3%	3 50.0%	2 33.3%	0 100.0%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	8 100%	2 0.0%	5 0.0%	1 0.0%	0 100.0%
居宅介護支援	24 100%	17 0.0%	8 0.0%	5 0.0%	1 100.0%

図表 206 LIFE の初期設定（インストールや管理職員・操作職員の登録等、
初回のみ実施が必要な作業）に要した時間

	件数	0 分 未 満	3 分 未 満	6 分 未 満	10 分 未 満	15 分 未 満	30 分 未 満	60 分 未 満	無 回 答	平均	平均の 分母	実 数 合 計	標 準 偏 差	最 大 値	最 小 値
合 計	125 100%	14 11.2%	19 15.2%	30 24.0%	38 30.4%	3 2.4%	6 4.8%	116.44	119	12,110	217.42	2,160	5		
訪問介護	19 100%	1 5.3%	3 15.8%	4 21.1%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	93.21	19	1,305	73.52	300	15		
訪問看護	22 100%	2 9.1%	3 13.6%	4 18.2%	8 36.4%	2 9.1%	1 4.5%	126.05	21	2,395	104.93	360	10		
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	7 33.3%	2 9.5%	5 23.8%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	60.83	21	1,095	54.27	180	5		
居宅介護支援	63 100%	4 6.3%	11 17.5%	17 27.0%	20 31.7%	1 1.6%	5 7.9%	138.02	58	7,315	281.00	2,160	15		

図表 207 LIFE への入力に必要な状態の評価に要した時間
(LIFE に入力する時間や介護ソフトに記録する時間を除く)

	件数	0 分 未 満	1 分 未 満	3 分 未 満	6 分 未 満	10 分 未 満	15 分 未 満	無 回 答	平均	平均 の 分 母	実 数 合 計	標 準 偏 差	最 大 値	最 小 値
合 計	125 100%	11 8.8%	30 24.0%	30 24.0%	28 22.4%	5 4.0%	6 4.8%	40.29	119	4,190	34.49	180	5	
訪問介護	19 100%	1 5.3%	3 15.8%	2 10.5%	3 15.8%	4 21.1%	1 5.3%	72.69	18	945	61.14	180	10	
訪問看護	22 100%	6 27.3%	3 13.6%	5 22.7%	5 22.7%	0 0.0%	1 4.5%	30.00	21	570	20.62	60	5	
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	1 4.8%	7 33.3%	5 23.8%	5 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	33.89	21	610	21.83	90	10	
居宅介護支援	63 100%	3 4.8%	17 27.0%	18 28.6%	15 23.8%	1 1.6%	4 6.3%	38.24	59	2,065	29.04	180	10	

図表 208 利用者 1 人あたりの入力に要した時間（介護記録ソフトへの入力時間も含む）

	件数	0 ～ 15 分未満	15 分 ～ 30 分	30 分 ～ 60 分	60 分 ～ 120 分	120 分 以上	無 回 答	平 均	平 均 の 分 母	実 数 合 計	標 準 偏 差	最 大 値	最 小 値
合 計	125	28	30	32	22	7	6	37.18	119	4,425	39.54	300	5
訪問介護	19	4	5	3	3	3	1	46.67	18	840	49.98	180	5
訪問看護	22	8	3	5	4	1	1	35.00	21	735	34.26	120	5
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21	2	10	3	5	1	0	36.19	21	760	28.41	120	10
居宅介護支援	63	14	12	21	10	2	4	35.42	59	2,090	40.20	300	5
	100%	22.4%	24.0%	25.6%	17.6%	5.6%	4.8%						
	100%	21.1%	26.3%	15.8%	15.8%	15.8%	5.3%						
	100%	36.4%	13.6%	22.7%	18.2%	4.5%	4.5%						
	100%	9.5%	47.6%	14.3%	23.8%	4.8%	0.0%						
	100%	22.2%	19.0%	33.3%	15.9%	3.2%	6.3%						

図表 209 利用者 1 人あたりのフィードバック票の読み取りに要した時間

	件数	0 ～ 15 分未満	15 分 ～ 30 分	30 分 ～ 60 分	60 分 ～ 120 分	120 分 以上	無 回 答	平 均	平 均 の 分 母	実 数 合 計	標 準 偏 差	最 大 値	最 小 値
合 計	125	27	29	40	18	3	8	30.84	117	3,608	26.21	180	0
訪問介護	19	4	3	6	4	1	1	40.28	18	725	38.57	180	10
訪問看護	22	5	7	7	2	0	1	24.29	21	510	15.99	60	5
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21	7	6	3	5	0	0	28.24	21	593	24.25	90	2
居宅介護支援	63	11	13	24	7	2	6	31.23	57	1,780	24.84	120	0
	100%	21.6%	23.2%	32.0%	14.4%	2.4%	6.4%						
	100%	21.1%	15.8%	31.6%	21.1%	5.3%	5.3%						
	100%	22.7%	31.8%	31.8%	9.1%	0.0%	4.5%						
	100%	33.3%	28.6%	14.3%	23.8%	0.0%	0.0%						
	100%	17.5%	20.6%	38.1%	11.1%	3.2%	9.5%						

図表 210 LIFE を利用することで、ケアの一連の活動（介護過程・看護過程の展開）のプロセスの中で役に立つと思われる点【複数回答可】

	件数	傾をフ 向用イ を把て 握事サ キ所ク るの票	明置す 化又組 （は） 組体 職等 を設 論	関ケ ア する の方 質 針の 向 策に 定に	所関ケ 内ア ア 周の 知方 針の 向 事上 業に	る評のい こ 値状なれ す況か るにつ て よつた 把握 うい利 用にて 用し るの者	る値利た 方用取 法者組 ののを をE 統状通 一態じ 利用 され評 、し	る値利た 頻用取 度者組 がのを をE 上状通 が態じ 利用 るの者	う評全た に値利取 な用組 る実者 ををE 施の通 す状じ 利用 るの者	題用を が者行 明の提 確問た に結態 な果た 点のめ の、し 、評に 示の、	るを用タ 把握の すI し状の や態こ す・と 入利 く課で 力用 者	連とを 携し一 多元 や職 す種 くで すデ る報 こ	す状利 る態用 よ変 う化 に等 なる 分的 析な	Iむブ問 けラ者 のたン 設指の 定標再 へ検・ K対ケ Pにア 訪	そ の 他	無 回 答
合 計	125	54	12	42	29	66	64	36	45	48	45	53	43	26	7	10
	100%	43.2%	9.6%	33.6%	23.2%	52.8%	51.2%	28.8%	36.0%	38.4%	36.0%	42.4%	34.4%	20.8%	5.6%	8.0%
訪問介護	19	7	0	4	2	10	9	6	6	5	6	6	3	3	1	0
	100%	36.8%	0.0%	21.1%	10.5%	52.6%	47.4%	31.6%	31.6%	26.3%	31.6%	31.6%	15.8%	15.8%	5.3%	0.0%
訪問看護	22	13	3	8	6	11	15	8	11	10	8	9	11	5	0	2
	100%	59.1%	13.6%	36.4%	27.3%	50.0%	68.2%	36.4%	50.0%	45.5%	36.4%	40.9%	50.0%	22.7%	0.0%	9.1%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21	11	4	10	5	12	13	6	6	9	8	11	5	6	2	0
	100%	52.4%	19.0%	47.6%	23.8%	57.1%	61.9%	28.6%	28.6%	42.9%	38.1%	52.4%	23.8%	28.6%	9.5%	0.0%
居宅介護支援	63	23	5	20	16	33	27	16	22	24	23	27	24	12	4	8
	100%	36.5%	7.9%	31.7%	25.4%	52.4%	42.9%	25.4%	34.9%	38.1%	36.5%	42.9%	38.1%	19.0%	6.3%	12.7%

図表 211 LIFE の他の様式で利用してみたいシート【複数回答可】

	件数	基本項目	興味関心チェック	生活機能チェック	個別機能訓練計画	A D L維持等加算	褥瘡マネジメント	排せつ支援	自立支援促進	薬剤変更	栄養摂食嚥下	口腔衛生管理記録	口腔機能アセス	特にない	無回答
合 計	125 100%	41 32.8%	42 33.6%	47 37.6%	23 18.4%	20 16.0%	19 15.2%	19 15.2%	26 20.8%	20 16.0%	30 24.0%	11 8.8%	21 16.8%	25 20.0%	8 6.4%
訪問介護	19 100%	7 36.8%	3 15.8%	5 26.3%	3 15.8%	2 10.5%	2 10.5%	2 10.5%	4 21.1%	1 5.3%	4 21.1%	1 5.3%	4 21.1%	3 15.8%	1 5.3%
訪問看護	22 100%	7 31.8%	9 40.9%	8 36.4%	6 27.3%	6 27.3%	9 40.9%	8 36.4%	7 31.8%	7 31.8%	13 59.1%	4 18.2%	6 27.3%	5 22.7%	2 9.1%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	9 42.9%	10 47.6%	11 52.4%	2 9.5%	1 4.8%	3 14.3%	6 28.6%	4 19.0%	1 4.8%	2 9.5%	1 4.8%	3 14.3%	2 9.5%	0 0.0%
居宅介護支援	63 100%	18 28.6%	20 31.7%	23 36.5%	12 19.0%	11 17.5%	5 7.9%	3 4.8%	11 17.5%	11 17.5%	11 17.5%	5 7.9%	8 12.7%	15 23.8%	5 7.9%

図表 212 LIFE 全体として、LIFE の利用が介護の質の向上に寄与すると感じるか

	件数	思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	無回答
合 計	125 100%	20 16.0%	40 32.0%	31 24.8%	16 12.8%	2 1.6%	16 12.8%
訪問介護	19 100%	2 10.5%	6 31.6%	3 15.8%	2 10.5%	1 5.3%	5 26.3%
訪問看護	22 100%	5 22.7%	6 27.3%	5 22.7%	4 18.2%	0 0.0%	2 9.1%
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	21 100%	7 33.3%	5 23.8%	3 14.3%	4 19.0%	0 0.0%	2 9.5%
居宅介護支援	63 100%	6 9.5%	23 36.5%	20 31.7%	6 9.5%	1 1.6%	7 11.1%

3. モデル事業に関するヒアリング調査

(1) 調査目的

本モデル事業に参加いただいた各事業所に対しヒアリング調査を行い、実際にフィードバック票を活用できた場面や、訪問系サービスや居宅介護支援において追加したい評価項目やその活用方法等の把握を行うことを目的とした。

(2) 調査対象事業所

10 事業所（訪問介護 2 事業所、訪問看護 2 事業所、定期巡回 2 事業所、居宅介護支援 3 事業所）

調査開始時点でアンケート調査の結果を提出が確認できた事業所から無作為に抽出し、承諾が得られた事業所を対象とした。

(3) 調査期間

令和 5 年 1 月～令和 5 年 2 月

(4) 調査結果概要

※ 下線については、当該調査の目的を踏まえ、LIFE 活用の主な効果や課題等を中心に引いている。

① LIFE 活用前のアセスメントの状況

- ADL、IADL、精神状態を評価している。(訪問介護)
- 新規利用者は必ず ADL (FIM)、IADL、FAI について評価している。(訪問看護)
- 科学的介護推進体制加算の必須項目と概ね一致しているが、栄養や口腔状態の項目は普段は評価していない。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 普段確認しているのはリハビリに関する項目 (ADL) や口腔関連 (点数で表示される数値項目、指標名は不明) の項目である。(居宅介護支援)
- 使用している介護ソフトの ADL 等の評価表に沿って評価を実施している。必要に応じて個別対応が必要な場合、プラスアルファの情報を収集している (例：認知症が進行しているかたの後見人、キーボックス管理方法等)。(訪問看護)
- 日常生活状況、介助の程度、血液検査等の検査データ、ケアプランと介入内容の整合性を評価している。(訪問看護)

② LIFE へのデータ入力における課題

- 訪問介護で目標として関わっていない項目は評価しづらかった。本事業では併設の通所介護で LIFE の算定を受けている利用者を対象にしていたため、情報提供を受けることができた (機能訓練の状況等) が、それ以外の利用者 (特にリハビリを利用していない方) についてはわからない項目が多いと感じた。 (訪問介護)
- 特に要介護度の高い利用者の 身長・体重の評価は、訪問中の時間では難しい。 身長・体重以外の項目は問題なく評価できた。(訪問看護)

- 身長は利用開始時に情報を得ているが、体重はデイサービス等の他サービス併用者でないと評価が難しい。他サービス併用者については、他事業所で評価された LIFE の情報がシステム上で共有されるとよい。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- LIFE システムに慣れるまでは、操作性について少し負担に感じた。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 決められた端末でしか操作できないのは作業効率が悪かった。起動から利用開始当初は難しく感じた。また、PC の入れ替え時の LIFE の引継ぎが煩雑であった。(訪問看護)
- 医療に関連する項目は介護事業所単体でアセスメントするのは難しく、連携する他サービス・医療従事者との連携が必要である。他の項目については居宅介護支援事業所での入力が可能である。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 身長・体重についてはデイサービスや担当ケアマネジャーからの情報提供で収集は可能である。身長・体重を測定している他サービスを利用者が利用していれば何とかなるが、単体のサービス利用の場合難しく、また他サービスであっても毎回情報を収集するのは難しい可能性がある。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 今回、LIFE で入力することになっていた項目は、すべて普段他事業所から共有されている情報だったため、居宅介護支援事業所で別途利用者の状態について評価する必要はなかった。そのため他事業所から共有された情報をそのまま LIFE に入力した。なお、情報はあまり介護ソフトに入力しておらず、紙で受領・保管・閲覧している。そのため、仮に CSV 連携できるソフトだったとしても、転記の手間が発生しただろう。(居宅介護支援)
- 他事業所からデータ内で連携できるのが理想的であり、統一した書式でアセスメントまで落とし込まれているとありがたい。(居宅介護支援)
- 看護職はアセスメントの実施と記録に慣れているがリハビリ職では習慣化されていない(アセスメントは行っているが記録していない場合が多い)。訪問すれば思いだすような状況で、現場での判断に依拠している場合が多い。(訪問看護)
- 通常の介護支援専門員によるアセスメントでは、アセスメント項目に沿って網羅的に確認することが少なく、利用者とのコミュニケーションを通して利用者の困っている部分を深掘するため、LIFE のアセスメント項目を網羅するには多くの時間を要した。(居宅介護支援)
- 体重や身長等の訪問看護サービスで測定しにくい項目については、通所先で測定していない場合は自事業所で測定する必要がある、負担であった。(訪問看護)
- 薬剤情報の用法・容量(特に点滴、塗り薬)やインスリン等の状況に応じて服薬方法が変化する場合の入力方法がわからなかったため、簡便に入力できる方法があるとよい。(訪問看護)

③ フィードバック票が活用できる場面、具体的な活用方法

- お客様に公表することによって、ケアの状態を定量的に見せることができると感じたため、実際に訪問介護でも LIFE が導入された際にはフィードバック情報を公表したい。事業所・お客様双方にとって有益な情報と感じた。(訪問介護)

- 利用者フィードバック票については、各利用者の全体像の情報があると利用者の経時変化を比較しやすい。事業所フィードバック票は、モデル事業対象の3名では少なかったため活用するのは難しかった。もう少し登録者数が増えると活用できる可能性がある。(訪問看護)
- 特にケアプランの見直し時期・再アセスメント時期にフィードバック票を参照することで、状態の変化を明確に捉えられるのではないかと感じた。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 担当学会議や事業所内のケースカンファレンス等の会議体で情報共有・議論するための材料としても活用できると感じた。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 状態が安定されている利用者に対してはフィードバック票が活用しやすいが、変化が大きい利用者に対しては活用が難しかった。特に定期巡回ではターミナル等の短期の利用が多いため、入力～フィードバック票受領までに時間を要するとなると活用がより難しい。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 利用者フィードバック票は担当学会議の場で共有できると考えている。担当学会議を開催するかどうかを判断する際の参考情報としても使えると思慮。事業所フィードバック票について、(似たような状態の利用者集団を定義して、コホートでアウトカムを追うことでケアの質の違いを明らかにする、という手法は)居宅介護支援以外の事業所であれば活用できる情報だと思うが、居宅介護支援での活用イメージは湧かない。(居宅介護支援)
- 半年に1回の提供の場合、担当学会議(ケアプラン立案時)、地域ケア会議(事業所間)、ケアプラン勉強会(事業所レベル別)等で可視化された共通の資料として活用できる可能性がある。(居宅介護支援)
- 事業計画書・報告書で利用者の状態像を報告する際に活用できる。(居宅介護支援)
- 経営会議にて補足的な資料として活用できる。補足的な使用方法としては、介護度が低くても家族の強い要望や利用者の性格などにより事業所の割く労力が大きくその影響で経営が赤字となる場合がある。事業所が赤字になっている原因について、経営層に対して示せるデータとなりうる。(居宅介護支援)
- 脳梗塞等で状態像の変化が大きい利用者の場合、フィードバック票の経時的な比較はサービスの見直しに役に立つと考えられる。(居宅介護支援)
- 利用者の支援の重点ポイントを抽出する際の補助的な資料として利用者フィードバック票を活用できると考えられる。(居宅介護支援)
- 月1回の事業所内のミーティングや、事業所内で活用しているSNSでフィードバック票を共有した。全国の施設との比較時に要介護度の分布をフィードバック票で確認できた。特に進行性疾患を有する利用者の場合はフィードバック票を定期的に共有できると、より良いケアの方法について検討できると感じた。利用者が何を目指してサービスを受けるのかを検討するための情報になり得る。(訪問看護)

④ フィードバック票の課題、意見等

- 現状の程度で十分であり、読みやすいと感じた。(訪問介護)
- 介護・看護を効果的にするには利用者の想いをくみ取る必要があり興味関心チェックを活用するのは一案かと思う。(訪問看護)

- 利用者のエンパワーメントを評価する観点で、Vitality Index のみだと利用者に伝える方法が難しい。(訪問看護)
- 特に DBD13 については限られた項目のみフィードバックされるため、可能であれば全項目含めてほしい。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 可能な範囲リアルタイム(評価から共有までのタイムラグの縮小)ができるとありがたい。安定している場合アセスメントの頻度である 1 か月以内での情報共有があるとよい。安定していない人はより迅速な共有がよい。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 改善策が明確に提示されていれば活用できるが、そうでない場合データの理解も難しい。データだけでなく改善策が文字で記載されていると担当者もすべきことが明確に分かるようになる。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- ご希望があれば利用者にもお見せしたいが、数値に親しんでいない場合は理解が難しいと考えられる表現が多いと感じた。(居宅介護支援)
- 受領したフィードバック票からケアプランの変更に至る情報を読み取るのは難しく、要検討項目のようなものがフィードバック票に明示されていると介護専門職が確認や漏れがあるかどうかも確認できたと思う。(居宅介護支援)
- 介護支援専門員が利用者フィードバック票を見てすぐに理解するのはハードルが高い。また、フィードバック票がどのようなデータで構成されているのかが理解しにくい。フィードバック票の読みとり方の説明・勉強会が必要と考えている。(居宅介護支援)
- アセスメント項目は加算に沿った内容になっているため専門性が高い。普段のアセスメントに沿った、もう少し分かりやすい項目になると現場で活用しやすい。(居宅介護支援)
- 利用者自身についてだけでなく、家族状況や地域での関わりについても利用者フィードバック票に含まれているとよい。(居宅介護支援)
- 認知症や意欲に関する評価項目が主である Barthel Index はリハビリ職にはなじみがある一方、看護職にはなじみがなく、評価結果の見方についてもイメージができない場合がある。評価者によって判断がぶれる項目については基準が示されるとよい。(訪問看護)
- 介護保険の利用者の場合、フィードバック票の頻度は半年に 1 回でもよい。3 か月に 1 回でもデータ処理が大変になると思う。一方で医療保険を利用する進行性疾患や末期がんを有する利用者の場合は、状態が短期で大きく変化するため、半年に 1 回の頻度だとフィードバック票を利用しにくい可能性がある。介護を利用する利用者の場合、長期的な状態を確認する点で半年に 1 回でも問題ない。(訪問看護)

⑤ LIFE が介護・看護・ケアマネジメントに与える影響、効果

- モデル事業の対象利用者(独居)について LIFE 項目を評価する中で、訪問時間内では評価できない項目(体重、食事の様子)や、項目としては評価できても把握できていない情報(薬の飲み忘れの理由・経緯)があり、利用者の全体像をつかみきれていないことに気付いた。そのため、LIFE をきっかけに多職種(主に訪問薬局の薬剤師)とより詳細な情報まで共有・議論するようになり、結果として服薬・栄養管理が必要であるという結論となった。その後、ケアプランの見直しを実施し、利用者の状態を詳細に確認すること、及び服薬や食事を忘れずにとっていただくことを目的に、訪問介護の

回数を週2回から週5回に変更した。(訪問介護)

- 定期的な評価をする習慣は看護に比べると介護は少ないため、LIFE の導入によって評価の習慣が定着すると介護の質は向上すると思う。(訪問看護)
- 有事の際以外は、栄養等の情報は医療職から共有してもらっていない。介護事業所でも普段からアセスメントするようになれば、医療介護連携につながり、結果として介護の質の向上に寄与すると感じている。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、看護師によるアセスメントを月1回実施することが介護保険法で定められている。当事業所は連携型のため、事業所内には看護師がおらず、外部の看護師にアセスメントを依頼している。外部の看護師に依頼しているアセスメント項目は、ADL・栄養・口腔機能・全身状態・認知症・精神状態・医療的な観点からの注意事項等である。看護職によるアセスメントの実施は制度で定められているが、アセスメントの項目までは定められていないため、事業所毎にばらつきがある。LIFE によって様式・項目が統一されれば利便性が向上する。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 考え方が専門職によって多様である可能性もあるため、共通する指標があること自体は情報共有が可能となり介護の質向上に寄与すると考える。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- 例えば、ある利用者が複数のデイサービスを使っている場合、それぞれの事業所での食事量が違うことがある。そういった違いがデータで可視化されると役立つことはあるかもしれない。(居宅介護支援)
- フィードバック票の提供により今までにない介護支援専門員にとって今までにないものの見方になると思う。データを介護支援専門員が理解できるようになると面白い。(居宅介護支援)
- リハ職はじめ他専門職が考えていることを数値で明確にしていくことに介護支援専門員は慣れていく必要がある。既に介護保険サービスの中で動いているリハ職とともにケアを行うにあたって、LIFE の活用は必須である。ICT 活用で LIFE の数値をベースに共有言語として利用する必要がある。介護支援専門員自身が考えていることを数値化するのは非常に難しいが、医療をベースにして評価を数値化しているリハ職と介護支援専門員がいかに連携できるかが鍵と感じた。(居宅介護支援)
- 訪問看護サービスの対象利用者に医療保険と介護保険の両方を利用する方がいるため、対象となる利用者のイメージを行政と共有できると良い。LIFE は介護保険のサービスを重視しているとは思いますが双方の保険で重視しているポイントは異なり、訪問看護サービスでは特に医療との連携が重要となるため、他の訪問系サービスと少し利用者のイメージが異なるのではないかと。(訪問看護)

⑥ LIFE システムの仕様等に関する課題

- 介護記録ソフトとの連携や、Windows 以外の OS への対応が進めばよい。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- (他事業所の) 医療職で評価している項目の情報を LIFE 上で共有できるようになれば利便性が向上する。(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- LIFE システムについて、全般的に言葉が難しかった。操作性もあまりよくなく、煩雑だと感じた。操作説明書の量も多く、欲しい情報を探す際も時間がかかった。(居宅介護支援)
- LIFE に入力したアセスメント結果を事業所間で共有できるとより円滑になるのではないかと。(訪問看護)

護・通所サービスで測定される項目（血清アルブミン値・食事の評価、血液検査・血圧の結果等）が含まれていると依頼事項をより精緻にできる（例：食事時に気を付けていただくこと）。（居宅介護支援）

- 管理職員・操作職員でバックアップファイルを連携する必要があるのが手間である。（訪問看護）

⑦ その他の意見

- 事業所におけるアセスメント方法・項目の見直しのために、LIFE がよいきっかけになると感じた。（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）
- 原則としては居宅介護支援事業所以外の事業所で LIFE 入力いただき、居宅介護支援事業所では出来上がったフィードバック票を参考にケアプランを作成していくという流れの方が馴染むが、食事など一部項目については場面ごとに状態が違ふ可能性があるため、一律に同じではなく、項目の検討・選定が必要と考える。（居宅介護支援）
- フィードバック票提供の頻度が 1 か月に 1 回になった場合、通所系・訪問系サービスから可視化できるデータが提供されると利用者の状態の経緯の確認と今後の予測ができるため、モニタリング時や家族への助言時に活用できそう。また、日々の様子もうかがえる。理想の頻度は 1 か月に 1 回だが、その場合入力がより簡易になるとよい。（居宅介護支援）
- 変化が読み取れるレベルのフィードバック票を作成する場合 2，3 か月に 1 回程度のフィードバック票提供が良い。半年に 1 回の頻度になると利用者の状態像が変化した場合の要因を分析しにくい。（居宅介護支援）
- マニュアル・活用の手引き等資料が多く、全て読まないといけないのが非常に大変であった。介護業界は IT 機器に不慣れな方も多いため簡便にしていきたい。（居宅介護支援）
- 利用者に見せて説明できるレベルに資料の質を向上していただかないと介護支援専門員が四苦八苦するだけとなり、フィードバック票が役に立つまでに至らない。フィードバック票がわかりやすい・見やすい資料になれば利用者の家族に直接みせても理解していただけるようになり、フィードバック票に掲載されているデータが重要な理由が説明できるような構成になっていると良い。（居宅介護支援）
- 寄与すると思うがどこまで LIFE の活用が定着するのかは懸念である。定着するための基礎教育が必要ではないか。介護に関わる専門職全員がこのシステムを利用する環境になると理解・共有が進みやすいと思われる。（訪問看護）
- 介護支援専門員自身の高齢化により介護支援専門員業界における ICT 活用が追いつけていない。60 代後半の介護支援専門員に対して教育しても活用できるかわからない。（居宅介護支援）
- 情報を共有できるという点において LIFE は楽しいツールである。居宅サービスのデータ活用の検討や推進をもっと進めるべきである。介護支援専門員を始め、居宅サービスの専門職がどの程度関心を持って LIFE に取り組めるかが鍵である。（居宅介護支援）
- 新しいものを取り入れていかないと介護支援専門員の減少と高齢者の増加が進んでしまう。現状既に介護支援専門員の人数不足で業務依頼を断らざるを得ない状況になっており、データの活用で状況を改善していきたい。一方、データ入力等で業務が増えるというイメージを持っている介護支援

専門員が大部分であるため、どれくらい負担の軽減やイメージを払拭していけるかが重要である。

(居宅介護支援)

- 収集可能な情報を整理したうえで、それぞれのサービスで収集可能な情報をサービス間で共有してほしい。(居宅介護支援)
- 訪問系は入所系と比較してサービス対象利用者の状態像や利用者の目的の幅が広いように感じている。訪問看護で LIFE を導入する場合、アセスメントデータが細分化されるとよい。(訪問看護)

Ⅷ. 介護関連 DB 分析

1. 介護関連 DB 分析の目的

LIFE に関連した加算の算定状況等を把握することを目的とした。

2. 使用したデータ項目（概要）

介護関連 DB に登録されているデータのうち、以下のデータを用いた。

図表 213 使用したデータ項目

No	データベース	分類	説明（項目の例等）
1	介護保険総合 DB	明細情報レコード・明細情報（住所地特例）レコード・特定診療費・特別療養費情報レコード	加算の請求情報

※介護保険総合 DB に登録されているデータは、令和 3 年 4 月～令和 4 年 9 月サービス提供分のデータを対象とした。

3. 分析結果

(1) LIFE 関連加算の算定状況

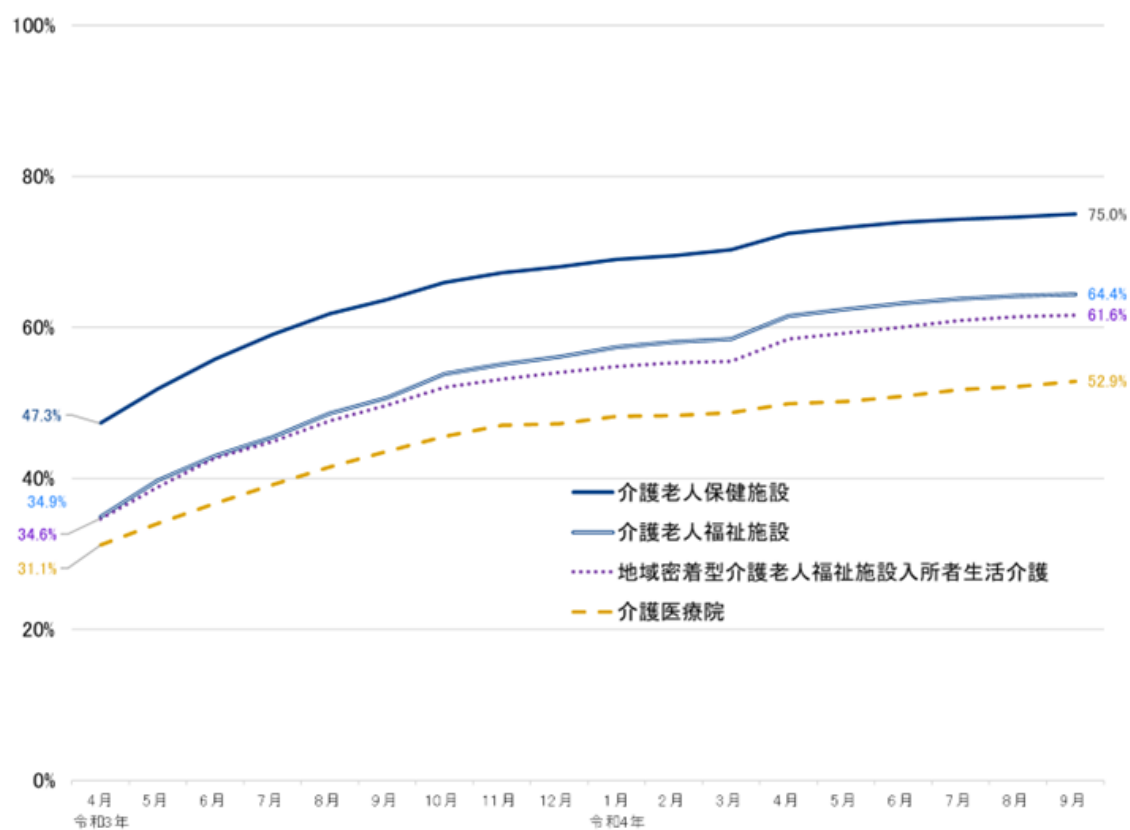
令和3年4月から令和4年9月まで（サービス提供分）の請求データにおいて、LIFEに関連する加算のサービス別算定割合は以下の通りであった。

図表 214 LIFE 関連加算の算定状況

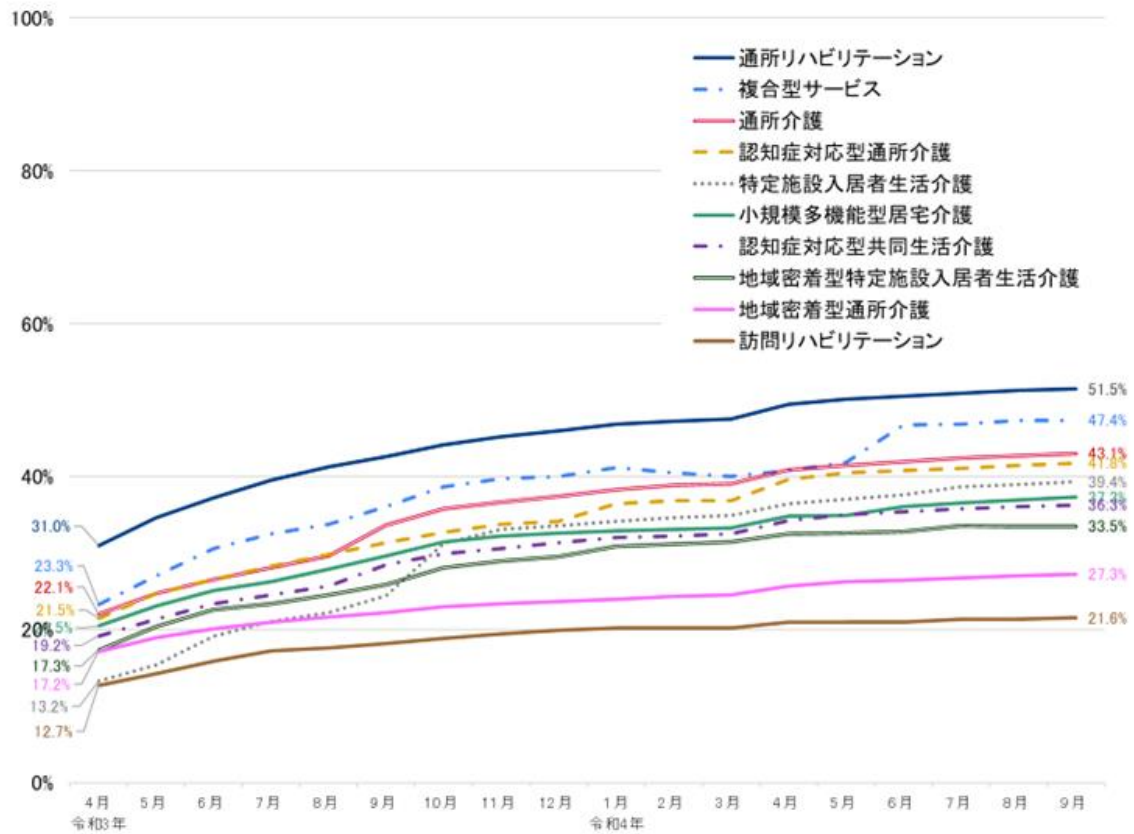
サービス	LIFE関連加算算定割合																	
	令和3年										令和4年							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護老人保健施設	47.3%	51.9%	55.8%	59.1%	61.8%	63.7%	66.0%	67.2%	68.0%	69.0%	69.5%	70.3%	72.5%	73.2%	73.9%	74.3%	74.6%	75.0%
介護老人福祉施設	34.9%	39.7%	43.0%	45.4%	48.6%	50.6%	53.9%	55.1%	56.1%	57.3%	58.1%	58.5%	61.5%	62.4%	63.2%	63.8%	64.2%	64.4%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	34.6%	38.9%	42.7%	44.9%	47.6%	49.7%	52.0%	53.2%	54.0%	54.8%	55.3%	55.5%	58.5%	59.3%	60.1%	60.9%	61.4%	61.6%
介護医療院	31.1%	34.0%	36.7%	39.2%	41.5%	43.6%	45.5%	47.0%	47.3%	48.2%	48.3%	48.7%	49.9%	50.1%	50.9%	51.8%	52.1%	52.9%
通所リハビリテーション	31.0%	34.7%	37.3%	39.6%	41.3%	42.6%	44.2%	45.2%	46.1%	46.9%	47.3%	47.6%	49.5%	50.1%	50.6%	50.9%	51.3%	51.5%
複合型サービス	23.3%	27.0%	30.6%	32.6%	33.7%	36.1%	38.7%	39.7%	40.0%	41.2%	40.5%	40.1%	40.8%	41.8%	46.8%	46.9%	47.3%	47.4%
通所介護	22.1%	24.8%	26.6%	28.1%	29.7%	33.7%	35.8%	36.7%	37.5%	38.3%	38.8%	39.1%	40.9%	41.5%	42.0%	42.5%	42.8%	43.1%
認知症対応型通所介護	21.5%	24.8%	26.6%	28.3%	29.8%	31.4%	32.7%	33.7%	34.1%	36.5%	36.9%	36.8%	39.7%	40.5%	40.8%	41.1%	41.5%	41.8%
特定施設入居者生活介護	13.2%	15.4%	19.2%	21.1%	22.3%	24.5%	31.3%	33.1%	33.6%	34.1%	34.6%	34.9%	36.5%	37.1%	37.6%	38.7%	39.0%	39.4%
小規模多機能型居宅介護	20.5%	23.1%	25.1%	26.3%	27.9%	29.7%	31.5%	32.2%	32.6%	33.0%	33.1%	33.3%	34.8%	35.0%	36.1%	36.6%	36.9%	37.3%
認知症対応型共同生活介護	19.2%	21.4%	23.4%	24.5%	25.7%	28.5%	29.9%	30.6%	31.4%	32.0%	32.2%	32.5%	34.3%	35.0%	35.4%	35.8%	36.1%	36.3%
地域密着型特定施設入居者生活介護	17.3%	20.4%	22.6%	23.4%	24.6%	25.9%	28.1%	28.9%	29.6%	30.9%	31.2%	31.4%	32.5%	32.6%	32.9%	33.6%	33.5%	33.5%
地域密着型通所介護	17.2%	19.0%	20.1%	21.0%	21.7%	22.3%	23.0%	23.4%	23.7%	24.0%	24.4%	24.5%	25.7%	26.2%	26.5%	26.8%	27.0%	27.3%
訪問リハビリテーション	12.7%	14.2%	15.8%	17.2%	17.6%	18.2%	18.9%	19.5%	19.9%	20.2%	20.2%	20.2%	21.0%	20.9%	21.0%	21.4%	21.4%	21.6%

※介護予防サービス及び特別診療費は集計に含めていない

図表 215 LIFE 関連加算の算定状況（グラフ：施設サービス）



図表 216 LIFE 関連加算の算定状況（グラフ：通所・居住サービス）



(2) 科学的介護推進体制加算を算定している事業所の割合

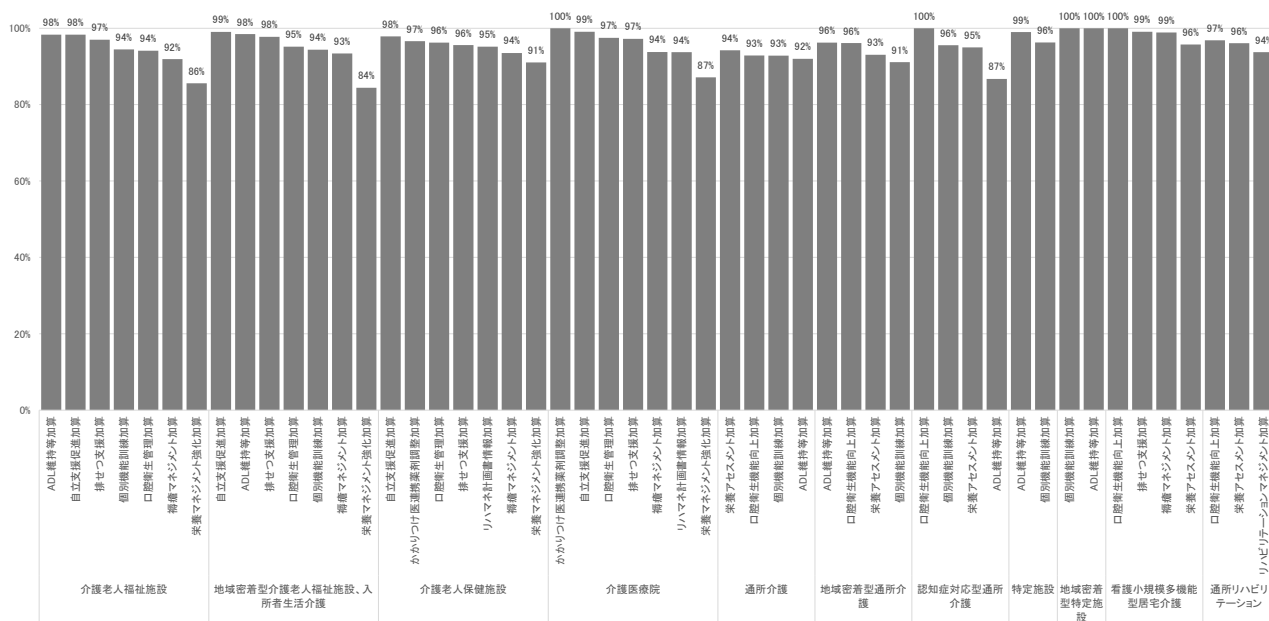
科学的介護推進体制加算算定以外の LIFE 関連加算について、各加算を算定している事業所における科学的介護推進体制加算の算定割合は以下の通り。いずれの加算においても 8 割以上の事業所で介護推進体制加算を算定していた。

図表 217 加算別 科学的介護推進体制加算を算定している事業所の割合

	算定事業所数	全体事業所数	算定率
介護老人福祉施設			
個別機能訓練加算	2123	2248	94.4%
ADL 維持等加算	586	596	98.3%
褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理	2023	2201	91.9%
排せつ支援加算	1191	1228	97.0%
自立支援促進加算	698	710	98.3%
栄養マネジメント強化加算	2123	2481	85.6%
口腔衛生管理加算	992	1054	94.1%
地域密着型介護老人福祉施設、入所者生活介護			
個別機能訓練加算	319	338	94.4%
ADL 維持等加算	127	129	98.4%
褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理	552	591	93.4%
排せつ支援加算	345	353	97.7%
自立支援促進加算	202	204	99.0%
栄養マネジメント強化加算	748	886	84.4%
口腔衛生管理加算	275	289	95.2%
介護老人保健施設			
リハビリテーションマネジメント計画所情報加算・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	2209	2321	95.2%
褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理	1790	1914	93.5%
排せつ支援加算	1495	1564	95.6%
自立支援促進加算	1005	1027	97.9%
かかりつけ医連携薬剤調整加算・薬剤管理指導	143	148	96.6%
栄養マネジメント強化加算	1360	1494	91.0%
口腔衛生管理加算	816	848	96.2%
介護医療院			
リハビリテーションマネジメント計画所情報加算・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	225	240	93.8%
褥瘡マネジメント加算・褥瘡対策指導管理	196	209	93.8%
排せつ支援加算	139	143	97.2%
自立支援促進加算	108	109	99.1%
かかりつけ医連携薬剤調整加算・薬剤管理指導	43	43	100.0%
栄養マネジメント強化加算	183	210	87.1%
口腔衛生管理加算	116	119	97.5%

	算定事業所数	全体事業所数	算定率
通所介護			
個別機能訓練加算	5668	6106	92.8%
ADL 維持等加算	1726	1876	92.0%
栄養アセスメント加算	442	469	94.2%
口腔衛生機能向上加算	1500	1615	92.9%
地域密着型通所介護			
個別機能訓練加算	2656	2915	91.1%
ADL 維持等加算	740	769	96.2%
栄養アセスメント加算	134	144	93.1%
口腔衛生機能向上加算	889	925	96.1%
認知症対応型通所介護（予防含む）			
個別機能訓練加算	302	316	95.6%
ADL 維持等加算	85	98	86.7%
栄養アセスメント加算	114	120	95.0%
口腔衛生機能向上加算	81	81	100.0%
特定施設入居者生活介護（予防含む）			
個別機能訓練加算	927	963	96.3%
ADL 維持等加算	294	297	99.0%
地域密着型特定施設入居者生活介護			
個別機能訓練加算	16	16	100.0%
ADL 維持等加算	12	12	100.0%
看護小規模多機能型居宅介護			
褥瘡マネジメント加算	90	91	98.9%
排せつ支援加算	105	106	99.1%
栄養アセスメント加算	45	47	95.7%
口腔衛生機能向上加算	54	54	100.0%
通所リハビリテーション（予防含む）			
リハビリテーションマネジメント加算	2356	2514	93.7%
栄養アセスメント加算	1379	1435	96.1%
口腔衛生機能向上加算	888	917	96.8%

図表 218 加算別 科学的介護推進体制加算を算定している事業所の割合（グラフ）



参考資料 1 アンケート調査票（LIFE 登録済事業所票）

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」【LIFE登録済事業所票】

■ご記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は自事業所でLIFEを使用したことがある方がご記入ください。
- ・ 特に指定の無い限り、ご回答時点の状況についてご回答ください。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合は「0」とご記入ください。
- ・ 具体的な回答方法については、「実施要領」をご確認ください。
- ・ 令和4年10月7日(金)までにご回答いただき、「調査実施のお願い」に記載の方法でメール送付してください。

■調査に関するお問い合わせ先

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」事務局
 電話:0120-955-920 (平日 9:30~17:30) ◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎
 メール:r4-life@surece.co.jp

問1から問11は全ての全ての事業所の方が対象となります。

問1 基本情報

(1) 事業所名			
(2) 事業所番号			
(3) 定員数	人	(4) 利用者数(調査時点)	人

問2 職員体制(属性・人数) ※法人ではなく、事業所内の数を記載してください

	事業所の職員数(常勤換算人数) ※他の事業所と兼務していない職員数	他の事業所と兼務している 職員数(常勤換算人数)
(1) 介護職(介護福祉士除く)	人	人
(2) 介護福祉士	人	人
(3) 介護支援専門員	人	人
(4) 社会福祉士	人	人
(5) 精神保健福祉士	人	人
(6) 相談員((3)~(5)以外)	人	人
(7) 歯科衛生士	人	人
(8) 管理栄養士	人	人
(9) 栄養士(管理栄養士除く)	人	人
(10) 理学療法士	人	人
(11) 作業療法士	人	人
(12) 言語聴覚士	人	人
(13) 看護職員	人	人
(14) 歯科医師	人	人
(15) 医師	人	人
(16) その他の職員	人	人
その他の内訳()		

問3 使用している介護ソフト

- 使用している介護ソフトを選んでください ※当てはまるもの全てに☑をしてください
 (1) ※完全導入とは、事業所における全業務について介護ソフトを利用している場合を指します
 ※一部導入とは、事業所における一部業務についてのみ介護ソフトを利用している場合を指します

完全導入	一部導入	
☐	☐	① ほのぼのシリーズ(NDソフトウェア株式会社)
☐	☐	② ワイズマンシステムSP(株式会社ワイズマン)
☐	☐	③ HOPE LifeMark-WINCARE(富士通株式会社)
☐	☐	④ カイボケ(株式会社エス・エム・エス)
☐	☐	⑤ 楽すけ(ニップクケアサービス株式会社)
☐	☐	⑥ すこやかサン(株式会社EMシステムズ)
☐	☐	⑦ CAREKARTE(株式会社ケアコネクトジャパン)
☐	☐	⑧ ちょうじゅ(株式会社ケアコネクトジャパン)
☐	☐	⑨ その他
		ソフト名
		会社名
☐	☐	⑩ 介護ソフトは使用していない

問4 介護ソフト・LIFEへのデータ入力・アクセスに使用している端末・台数					
(1) 介護ソフトへの記録に使用している各端末の台数を教えてください ※問3(1)で①から⑨を印した方がお答えください					
PC(パーソナルコンピューター)		台			
タブレット端末		台			
スマートフォン		台			
(2) LIFEへの記録に使用しているPC端末の台数を教えてください					
PC		台			
問5 LIFEへデータ入力する職員の属性・人数 ※介護ソフトからのcsv連携をしている場合は、介護ソフトを利用する職員を含みます					
(1) 介護職(介護福祉士含む)		人	(9) 理学療法士		人
(2) 介護支援専門員		人	(10) 作業療法士		人
(3) 社会福祉士		人	(11) 言語聴覚士		人
(4) 精神保健福祉士		人	(12) 看護職員		人
(5) 相談員((2)~(4)以外)		人	(13) 歯科医師		人
(6) 歯科衛生士		人	(14) 医師		人
(7) 管理栄養士		人	(15) その他		人
(8) 栄養士(管理栄養士除く)		人	その他の内訳()		
問6 LIFEへのデータ登録方法					
(1) LIFE登録開始前からPC操作に慣れている職員がいましたか					
☐ ① はい					
☐ ② いいえ					
(2) LIFE登録開始に当たり、PC操作に慣れている職員を新たに雇用しましたか					
☐ ① はい					
☐ ② いいえ					
(3) LIFE登録開始に当たり、事業所内でICTを担当する職員を新たに雇用しましたか					
☐ ① はい					
☐ ② いいえ					
(4) LIFE登録前後での、ICTを担当する職員の配置状況をお聞きます ※専従の職員だけでなく、他の業務と兼務する職員を含みます					
☐ ① LIFE登録前から、ICTを担当する職員がいた					
☐ ② LIFE登録に当たって、新たにICTを担当する職員を配置した					
☐ ③ ICTを担当する職員は配置していない					
(5) 2022年6月分のデータとしてLIFEへデータ登録した利用者数をお答えください ※複数の加算を算定している利用者も1人としてカウントしてください					
LIFEデータ登録者数			人		
(6) LIFEへどのようにデータ登録していますか ※当てはまるもの全てに印をしてください ※インポート機能とは、介護ソフトからcsvファイルを出力し、LIFEにデータ登録する機能のことをいいます					
☒ ① インポート機能の利用					
☒ ② LIFE上での直接入力					
☐ ③ その他 ()					
(7) インポート機能の利便性について、どのように感じますか ※問6(6)で「①インポート機能の利用」と選択された方にお聞きます					
☐ ① 便利だと思う					
☐ ② やや便利だと思う					
☐ ③ どちらでもない					
☒ ④ やや不便だと思う					
☐ ⑤ 不便だと思う					
(8) インポート機能について、どのような点が不便だと感じますか ※問6(7)で「④やや不便だと思う」あるいは「⑤不便だと思う」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに印をしてください					
☐ ① インポート機能の使用手順が理解しづらい					
☐ ② インポート時にエラーが頻発する					
☐ ③ インポート機能を使うより直接入力の方が早い					
☐ ④ LIFEにインポートするデータを介護ソフトから出力するのが難しい					
☐ ⑤ その他 ()					

	(9) LIFE利用に関わる以下の項目について、利用者1人当たりにかかった時間をお答えください ※2022年6月分データの提出におけるご状況をご回答ください				
	利用者の状態の評価にかかった時間		時間		分
	介護ソフト又は紙媒体に入力・記載した時間		時間		分
	インポート機能の利用にかかった時間		時間		分
	※介護ソフトからLIFEへデータ登録するためのcsvを出力し、LIFEにデータ登録するまでの時間をご回答ください		時間		分
	LIFE上での直接入力にかかった時間		時間		分
	LIFEへデータを直接入力している理由を教えてください ※問6(6)で「②LIFE上での直接入力」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに☑をしてください				
	☐ ① 使用している介護ソフトがLIFEに全く対応していない ☐ ② 使用している介護ソフトがLIFEに一部対応していない(対応していない加算がある等) ☐ ③ 使用している介護ソフトはLIFEに対応しているが、事業所が介護ソフトをアップデートしていないので使えない ☐ ④ 使用している介護ソフトはLIFEに対応しているが、介護ソフトからデータを出力するのが難しい ☐ ⑤ 使用している介護ソフトはLIFEに対応しているが、インポート機能を使うのが難しい ☐ ⑥ 利用者数が少ない又は加算を算定している人数が少ないために、手入力のほうが早い ☐ ⑦ その他 ()				
	(11) LIFEへのデータ登録の過程で、負担を感じますか				
	☐ ① 負担を感じる ☐ ② やや負担を感じる ☐ ③ どちらでもない ☐ ④ あまり負担を感じない ☐ ⑤ 負担を感じない				
	LIFEへのデータ登録の過程で、負担や課題を感じた・感じる点にチェックしてください ※問6(11)で「①負担を感じる」あるいは「②やや負担を感じる」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに☑をしてください				
	☐ ① 利用者の状態の評価 ☐ ② LIFEの操作方法の理解 ☐ ③ LIFEのアカウント登録 ☐ ④ ランチャーのダウンロード ☐ ⑤ LIFEの起動・ログイン ☐ ⑥ 職員IDの設定 ☐ ⑦ 利用者IDの設定 ☐ ⑧ LIFEへのデータ入力作業 ☐ ⑨ 介護ソフトへの入力 ☐ ⑩ LIFEへのCSVインポート ☐ ⑪ ヘルプデスクの利用 ☐ ⑫ 提出期限がレセプト請求等と同じ毎月10日であること ☐ ⑬ データ提出が確実に行われたかの確認 ☐ ⑭ その他 ()				
	(13) LIFEの入力に当たっての要望があればご自由にお書きください				
	問7 LIFEの利用状況				
	LIFEの利用場面について、自事業所に当てはまるものを選択してください ※当てはまるもの全てに☑をしてください				
	☐ ① ケアの質の向上に関する方針の策定・実施 ☐ ② 利用者状態の管理・課題把握 ☐ ③ 利用者状態の多職種での情報連携 ☐ ④ フィードバック票を用いた提供サービス・ケアの見直し ☐ ⑤ フィードバック票を用いた利用者・家族への説明 ☐ ⑥ その他 () ☐ ⑦ 上記のいずれにも当てはまらない				

	(2)	LIFEを利用することで、ケアの一連の活動(介護過程の展開)のプロセスの中で役に立った点を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください
	☐	① LIFEの活用が、職員に対して、利用者の状態の評価や介入について考えることを意識付けるきっかけになった
	☐	② フィードバック票を用いて、事業所の傾向を把握することができるようになった
	☐	③ ケアの内容を議論する組織体等を設けた(又は組織体を明確化した)
	☐	④ ケアの質の向上に関する方針を策定した
	☐	⑤ ケアの質の向上に関する方針を事業所内で周知した
	☐	⑥ これまで把握していなかった利用者の状態についても、評価するようになった
	☐	⑦ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法が統一された
	☐	⑧ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が向上した
	☐	⑨ LIFEを利用した取組を通じて、全利用者の状態の評価を実施するようになった
	☐	⑩ LIFEへのデータ提出のための利用者の状態の評価の結果、利用者の問題点・課題がこれまでよりも把握できるようになった
	☐	⑪ LIFEに利用者のデータを入力し管理することで、利用者の状態や課題をこれまでよりも把握しやすくなった
	☐	⑫ LIFEでデータを一元管理することで、多職種での情報連携がしやすくなった
	☐	⑬ LIFEへのデータ提出を通じて、利用者の経時的な状態変化等を分析するようになった(分析する予定)
	☐	⑭ ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)を設定した
	☐	⑮ その他 ()
	☐	⑯ 上記のいずれにも当てはまらない
	問8 LIFEの利用に伴う事業所内での議論の実施状況	
	(1)	LIFEの利用に当たって、新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください
	☐	① 多職種連携(多職種間における日々の情報共有など)
	☐	② 加算の算定に必要な評価方法に関する職員への研修
	☐	③ PC等の端末やインターネット環境の整備
	☐	④ LIFEで収集した情報やフィードバック情報を利用した利用者の目標や提供サービスの見直し・変更
	☐	⑤ LIFEで収集した情報やフィードバック情報の利用者・家族への共有
	☐	⑥ その他 ()
	☐	⑦ 上記のいずれにも当てはまらない
	(2)	今後、LIFEをどのように多職種連携等の推進に利用できると感じますか 現在行っていないくても、将来的に利用できそうな選択肢にチェックしてください
	☐	① 多職種間における日々の情報共有
	☐	② 介護支援専門員との情報共有
	☐	③ 他職種を含む会議体での情報共有
	☐	④ その他 ()
	☐	⑤ 上記のいずれにも当てはまらない
	(3)	LIFEの利用に伴い、事業所内の委員会等で利用者情報等を議論したことがありますか
	☐	① 既存の委員会で議論した
	☐	② 新たに委員会等を設置の上、議論した
	☐	③ 委員会等の組織体以外で議論した
	☐	④ その他 ()
	☐	⑤ 実施していない
	(4)	議論の場で議論された内容をお答えください ※問8(3)で①、②、③、④のいずれかを選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに☑をしてください
	☐	① 利用者の状態の変化
	☐	② LIFEから出力されたフィードバック内容(全国平均等)
	☐	③ 利用者の状態等を踏まえた目標設定
☐	④ 利用者の状態等を踏まえたケア内容・実施方法等	
☐	⑤ その他 ()	

問9 LIFEの利用によるケアの質の向上に向けた取組の課題

- ☐ ① ある

☐ ② ない

- (2) ※問9(1)で「①ある」と選択された方にお聞きします
※当てはまるもの全てに回答してください。

※当てはまるもの全てに☑をしてください

- 必要だと考える項目()

問10 リハビリテーション・個別機能訓練、栄養管理、口腔管理に係る実施計画書の利用状況

- ☐
- ① 利用している

☐ ② 利用していない

- (2) ※問10(1)で「①利用している」と選択された方にお聞きします

○	③ 介護ソフトと紙媒体を併用している
---	--------------------

問11 取得している加算

- ※最初に算定を開始した加算についてお答え下さい

※最初に算定を開始した加算についてお答えください

貴事業所で現在算定している加算を教えてください

- (2) ※当てはまるもの全てに☑をしてください

	貴事業所で 算定している加算	回答9の方向 (クリックすると該当箇所 に移動します。)
科学的介護推進体制加算	☒	科学的介護推進体制加算
個別機能訓練加算(Ⅱ)	☒	個別機能訓練加算(Ⅱ)
ADL維持等加算(Ⅰ)	☒	ADL維持等加算(Ⅰ)
ADL維持等加算(Ⅱ)	☒	ADL維持等加算(Ⅱ)
リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	☒	リハビリテーションマネジメント計画書情報加算
リハビリテーションマネジメント加算(A)口	☒	リハビリテーションマネジメント加算(A)
リハビリテーションマネジメント加算(B)口	☒	リハビリテーションマネジメント加算(B)
理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	☒	理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算
褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)	☒	褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)
褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)	☒	褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)
褥瘡対策指導管理(Ⅱ)	☒	褥瘡対策指導管理(Ⅱ)
排せつ支援加算(Ⅰ)	☒	排せつ支援加算(Ⅰ)
排せつ支援加算(Ⅱ)	☒	排せつ支援加算(Ⅱ)
排せつ支援加算(Ⅲ)	☒	排せつ支援加算(Ⅲ)
自立支援促進加算	☒	自立支援促進加算
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)	☒	かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅲ)	☒	かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅲ)
薬剤管理指導の注2の加算	☒	薬剤管理指導の注2の加算
栄養マネジメント強化加算	☒	栄養マネジメント強化加算
栄養アセスメント加算	☒	栄養アセスメント加算
口腔衛生管理加算(Ⅱ)	☒	口腔衛生管理加算(Ⅱ)
口腔機能向上加算(Ⅱ)	☒	口腔機能向上加算(Ⅱ)

以降の設定は、問11で現在取得していると回答した加算についてのみご回答してください。

科学的介護推進体制加算

問12 加算に関する取組の状況

- (1) 本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① 利用者ごとのADLの評価
☐	② 利用者ごとの栄養状態の評価
☐	③ 利用者ごとの口腔機能の評価
☐	④ 利用者ごとの認知症の状態の評価
☐	⑤ 利用者ごとの疾病状況の把握
☐	⑥ 利用者ごとの服薬情報の把握
☐	⑦ ADL評価の頻度向上
☐	⑧ 栄養状態評価の頻度向上
☐	⑨ 口腔機能評価の頻度向上
☐	⑩ 認知症の状態評価の頻度向上
☐	⑪ 疾病状況把握の頻度向上
☐	⑫ 服薬情報把握の頻度向上
☐	⑬ その他 ()
☐	⑭ 新たに開始した取組はない

問13 利用者の状態の評価

- (1) 本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。
(LIFEへ入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)

本加算を算定している利用者数		人	
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間	分

- (2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください

☐	① 1か月に1回以上
☐	② 2か月に1回程度
☐	③ 3か月に1回程度
☐	④ 6か月に1回程度

問14 LIFEの利用に当たっての課題

- (1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① ADLの評価方法がわかりにくい
☐	② 栄養状態の評価方法がわかりにくい
☐	③ 口腔機能の評価方法がわかりにくい
☐	④ 認知症の状況の評価方法がわかりにくい
☐	⑤ 疾病状況を正確に把握することが難しい
☐	⑥ 服薬情報を正確に把握することが難しい
☐	⑦ 疾病状況の入力に手間がかかる
☐	⑧ 服薬情報の入力に手間がかかる
☐	⑨ ADLの評価に手間がかかる
☐	⑩ 栄養状態の評価に手間がかかる
☐	⑪ 口腔機能の評価に手間がかかる
☐	⑫ 認知症の状況の評価に手間がかかる
☐	⑬ 疾病状況の評価に手間がかかる
☐	⑭ 服薬情報の評価に手間がかかる
☐	⑮ 加算・評価方法に関する職員への研修ができていない
☐	⑯ 収集した情報を利用したサービス計画や提供サービスの見直しが難しい
☐	⑰ その他 ()
☐	⑱ 感じている課題は特にない

個別機能訓練加算(Ⅱ)				
問12 配置している職員の職種				
(1)	本加算を取得するために、配置している職員の属性を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
☐	①	理学療法士		
☐	②	作業療法士		
☐	③	言語聴覚士		
☐	④	看護職員		
☐	⑤	柔道整復師		
☐	⑥	あん摩マッサージ指圧師		
☐	⑦	鍼灸師		
問13 利用者の状態の評価				
(1)	本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)			
	本加算を算定している利用者数		人	
	利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間	分
(2)	本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください			
☐	①	2週間に1回以上		
☐	②	1か月に1回程度		
☐	③	2か月に1回程度		
☐	④	3か月に1回程度		
問14 LIFEの利用に当たっての課題				
(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
☐	①	個別機能訓練加算(Ⅰ)の算定要件を満たすのが難しい		
☐	②	収集した情報を利用したサービス計画や提供サービスの見直しが難しい		
☐	③	その他 ()		
☐	④	感じている課題は特になし		
ADL維持等加算(Ⅰ)・(Ⅱ)				
問12 ADLを測定している職種				
(1)	本加算取得のために、ADLを測定している職員の属性を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
☐	①	医師		
☐	②	理学療法士		
☐	③	作業療法士		
☐	④	言語聴覚士		
☐	⑤	看護職員		
☐	⑥	介護職員		
☐	⑦	その他の職種 ()		
問13 利用者の状態の評価				
(1)	本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)			
	本加算を算定している利用者数		人	
	利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間	分
(2)	本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください			
☐	①	1か月に1回以上		
☐	②	2か月に1回程度		
☐	③	3か月に1回程度		
☐	④	6か月に1回程度		
問14 LIFEの利用に当たっての課題				
(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
☐	①	利用者の状態の評価方法がわかりにくい		
☐	②	利用者の状態の評価に手間がかかる		
☐	③	より適切な評価指標がある →具体的な指標名 ()		
☐	④	その他 ()		
☐	⑤	感じている課題は特になし		

リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算(A)ロ(B)ロ・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算				
問12 利用者の状態の評価				
本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません) ※貴事業所で算定している加算についてご回答ください				
(1) リハビリテーションマネジメント計画書情報加算				
本加算を算定している利用者数		人		
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分
② リハビリテーションマネジメント加算(A)ロ				
本加算を算定している利用者数		人		
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分
③ リハビリテーションマネジメント加算(B)ロ				
本加算を算定している利用者数		人		
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分
④ 理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算				
本加算を算定している利用者数		人		
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分
(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください				
☐	① 1か月に1回以上			
☐	② 2か月に1回程度			
☐	③ 3か月に1回程度			
問13 LIFEの利用に当たっての課題				
(1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください				
☐	① リハビリテーションマネジメント加算(A)イ(B)イの算定要件を満たすのが難しい			
☐	② 収集した情報を利用したサービス計画や提供サービスの見直しが難しい			
☐	③ その他 ()			
☐	④ 感じている課題は特にない			

褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)(Ⅱ)・褥瘡対策指導加算(Ⅱ)				
問12 加算に関する取組の状況				
	(1)	本加算に関する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください		
		☐	① 褥瘡の危険因子の評価	
		☐	② 褥瘡の状態の評価	
		☐	③ 褥瘡の危険因子の評価の頻度向上	
		☐	④ 褥瘡の状態の評価の頻度向上	
		☐	⑤ その他 ()	
		☐	⑥ 新たに開始した取組はない	
	(2)	褥瘡ケア計画の策定に参加している職員の属性を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください		
		☐	① 医師	
		☐	② 看護職員	
		☐	③ 理学療法士	
		☐	④ 作業療法士	
		☐	⑤ 言語聴覚士	
		☐	⑥ 管理栄養士	
		☐	⑦ 栄養士(管理栄養士除く)	
		☐	⑧ 介護職員	
		☐	⑨ その他の職種 ()	
	(3)	貴事業所内で、褥瘡マネジメントに関する職員向けマニュアルを整備していますか		
		☐	① 整備している	
	(4)	貴事業所内で、褥瘡マネジメントに関して参考になっているガイドラインがあれば教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください		
☐		① 褥瘡予防・管理ガイドライン(日本褥瘡学会)		
☐		② 科学的根拠に基づく褥瘡局所治療ガイドライン(日本褥瘡学会)		
☐		③ 褥瘡診療ガイドライン(日本皮膚科学会)		
☐		④ 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン(日本皮膚科学会)		
☐		⑤ その他 ()		
☐		⑥ 特になし		
問13 利用者の状態の評価				
	(1)	本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEへ入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)		
		利用者1人当たりの状態の評価に要する時間	時間	分
		褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)を算定している利用者数	人	
		褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)を算定している利用者数	人	
		褥瘡対策指導加算(Ⅱ)を算定している利用者数	人	
	(2)	本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください		
		☐	① 1週間に1回以上	
		☐	② 2週間に1回程度	
		☐	③ 1か月に1回程度	
		☐	④ 2か月に1回程度	
問14 LIFEの利用に当たっての課題				
	(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください		
		☐	① 褥瘡の危険因子の評価方法がわかりにくい	
		☐	② 褥瘡の状態の評価方法がわかりにくい	
		☐	③ 褥瘡の危険因子の評価に手間がかかる	
		☐	④ 褥瘡の状態の評価に手間がかかる	
		☐	⑤ より適切な評価指標がある →具体的な指標名()	
		☐	⑥ 褥瘡発生を防ぐ管理・予防措置が困難(褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)・褥瘡対策指導管理(Ⅱ)の算定が難しい)	
		☐	⑦ その他 ()	
	☐	⑧ 感じている課題は特になし		

排せつ支援加算(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)				
問12 加算に関する取組の状況				
	(1) 排せつ支援計画の作成に参加している職員の属性を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
	☐	① 医師		
	☐	② 看護職員		
	☐	③ 理学療法士		
	☐	④ 作業療法士		
	☐	⑤ 介護支援専門員		
	☐	⑥ その他の職種 ()		
問13 利用者の状態の評価				
	(1) 本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません) ※貴事業所で算定している加算についてご回答ください			
	利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間	分
	排せつ支援加算(Ⅰ)を算定している利用者数		人	
	排せつ支援加算(Ⅱ)を算定している利用者数		人	
	排せつ支援加算(Ⅲ)を算定している利用者数		人	
	(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください			
	☐	① 1か月に1回以上		
	☐	② 2か月に1回程度		
	☐	③ 3か月に1回程度		
	☐	④ 6か月に1回程度		
問14 LIFEの利用に当たっての課題				
	(1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
	☐	① 排せつの状態の評価方法がわかりにくい		
	☐	② 排せつの状態の評価に手間がかかる		
	☐	③ より適切な評価指標がある →具体的な指標名()		
	☐	④ 排せつの状態の維持・改善につながる適切な対応が難しい(排せつ支援加算(Ⅱ)(Ⅲ)の算定が難しい)		
	☐	⑤ その他 ()		
	☐	⑥ 感じている課題は特になし		

自立支援促進加算			
問12 加算に関する取組の状況			
	(1)	本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組 (すでに実施していたが見直しを行った取組を含む)を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください	
		☐	① 尊厳の保持を踏まえたケアの提供
		☐	② 本人を尊重する個別ケアの実践
		☐	③ 寝たきり防止に係る取組
		☐	④ 自立生活の支援
		☐	⑤ 入所者に対する離床・基本動作やADL動作、日々の過ごし方等、訓練時間についての評価
		☐	⑥ 多職種共同による自立支援に係る支援計画の策定
		☐	⑦ その他 ()
		☐	⑧ 新たに開始した取組はない
		問13 実施している特別な支援	
	(1)	本加算について、貴事業所で実施している支援を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください	
		☐	① 廃用性機能障害を防ぐための離床、座位保持又は立ち上がりの支援
		☐	② 食事について、個人の習慣や希望を尊重した支援
		☐	③ 排せつリズムの考慮、プライバシーを配慮したトイレの使用
		☐	④ 個人の習慣や希望を尊重した入浴の支援(一般浴槽での入浴、入浴回数やケアの方法など)
		☐	⑤ 自宅での生活と同様の暮らしを続けられるような生活全般の支援
		☐	⑥ リハビリテーションおよび機能訓練について、入所者本人や家族の希望を踏まえた施設サービス計画の見直し
問14 利用者の状態の評価			
	(1)	本加算を算定している利用者数を教えてください	
		本加算を算定している利用者数	人
	(2)	本加算に関する利用者の状態の評価頻度を教えてください	
		☐	① 2週間に1回以上
		☐	② 1か月に1回程度
		☐	③ 2か月に1回程度
☐	④ 3か月に1回程度		
問15 LIFEの利用に当たった課題			
	(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください	
		☐	① 離床・基本動作やADL動作、日々の過ごし方等、訓練時間についての評価方法がわかりにくい
		☐	② 離床・基本動作やADL動作、日々の過ごし方等、訓練時間についての評価に手間がかかる
		☐	③ どのような支援計画を目指せばよいかわかりにくい
		☐	④ その他 ()
		☐	⑤ 感じている課題は特ない

かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)(Ⅲ)・薬剤管理指導		
問12 加算に関する取組の状況		
	(1) 本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください ☐ ① 現在の服薬内容や薬剤の変更・減薬・減量の評価の頻度向上 ☐ ② 服薬内容や薬剤の変更・減薬・減量の評価への薬剤師の関与の頻度向上 ☐ ③ 既往歴・発症年月日の管理 ☐ ④ その他 () ☐ ⑤ 新たに開始した取組はない	
	(2) 貴事業所内で、本加算に関する評価や薬剤の変更に当たり、参考になっている文書やガイドラインがあれば教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください ☐ ① 高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編) ☐ ② 高齢者の医薬品適正使用の指針(各論編(療養環境別)) ☐ ③ 日本老年医学会の関連ガイドライン(高齢者の安全な薬物療法ガイドライン) ☐ ④ その他 ()	
	問13 利用者の状態の評価	
	(1) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください ☐ ① 1か月に1回以上 ☐ ② 2か月に1回程度 ☐ ③ 3か月に1回程度	
	問14 LIFEの利用に当たっての課題	
	(1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください ☐ ① 既往歴・処方内容の把握に手間がかかる ☐ ② 入力方法がわかりにくい ☐ ③ その他 () ☐ ④ 感じている課題は特にない	

栄養・栄養ソフト活用加算

問12 加算に関する取組の状況

(1) 本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① 管理栄養士の増員
☐	② 栄養士の増員
☐	③ 食事の観察(ミールラウンド)の頻度向上
☐	④ 退所時の食事相談や栄養情報連携の実施
☐	⑤ 利用者の低栄養状態リスクや食生活状況等の評価の頻度向上
☐	⑥ その他 ()
☐	⑦ 新たに開始した取組はない

問13 利用者の状態の評価

(1) 本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。
(LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)

本加算を算定している利用者数		人	
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間	分

(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください

☐	① 低栄養状態のリスクに応じて頻度を設定
☐	② 2週間に1回以上
☐	③ 1か月に1回程度
☐	④ 2か月に1回程度
☐	⑤ 3か月に1回程度

問14 LIFEの利用に当たっての課題

(1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① 低栄養リスクレベルについての評価方法がわかりにくい
☐	② 食生活状況についての評価方法がわかりにくい
☐	③ 低栄養リスクレベルの評価に手間がかかる
☐	④ 食生活状況についての評価に手間がかかる
☐	⑤ より適切な評価指標がある →具体的な指標名()
☐	⑥ 加算・評価方法に関する職員への研修ができていない
☐	⑦ 収集した情報を利用した計画やケアの見直しが難しい
☐	⑧ その他 ()
☐	⑨ 感じている課題は特になし

栄養アセスメント加算				
問12 加算に関する取組の状況				
(1)	本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
	☐	① 管理栄養士の配置(外部との連携含む)		
	☐	② 利用者の低栄養状態リスクや食生活状況等の評価		
	☐	③ 利用者の低栄養状態リスクや食生活状況等の評価の頻度向上		
	☐	④ その他 ()		
	☐	⑤ 新たに開始した取組はない		
問13 利用者の状態の評価				
(1)	本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)			
	本加算を算定している利用者数		人	
	利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間	分
	(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください			
	☐	① 2週間に1回以上		
	☐	② 1か月に1回程度		
☐	③ 2か月に1回程度			
☐	④ 3か月に1回程度			
問14 LIFEの利用に当たっての課題				
(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
	☐	① 低栄養リスクレベルについての評価方法がわかりにくい		
	☐	② 食生活状況についての評価方法がわかりにくい		
	☐	③ 低栄養リスクレベルの評価に手間がかかる		
	☐	④ 食生活状況についての評価に手間がかかる		
	☐	⑤ より適切な評価指標がある →具体的な指標名()		
	☐	⑥ 加算・評価方法に関する職員への研修ができていない		
	☐	⑦ その他 ()		
	☐	⑧ 感じている課題は特になし		
	口腔衛生管理加算(Ⅱ)			
問12 加算に関する取組の状況				
(1)	本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
	☐	① 歯科衛生士が実施した口腔衛生等の管理及び介護職員への技術的助言		
	☐	② 歯科衛生士が実施した口腔衛生等の管理及び介護職員への技術的助言の頻度向上		
	☐	③ 歯科医師・歯科衛生士の増員		
	☐	④ その他 ()		
	☐	⑤ 新たに開始した取組はない		
問13 利用者の状態の評価				
(1)	本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)			
	本加算を算定している利用者数		人	
	利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間	分
	(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください			
	☐	① 1か月に1回以上		
	☐	② 2か月に1回程度		
☐	③ 3か月に1回程度			
問14 LIFEの利用に当たっての課題				
(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
	☐	① 口腔衛生状態に関する問題点についての評価方法がわかりにくい		
	☐	② 口腔衛生状態に関する問題点の評価に手間がかかる		
	☐	③ より適切な評価指標・管理方法がある →具体的な指標名()		
	☐	④ その他 ()		
	☐	⑤ 感じている課題は特になし		

口腔機能向上加算(Ⅱ)				
問12 加算に関する取組の状況				
(1) 本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください				
☐	① 口腔機能に関する問題点の把握(スクリーニング)			
☐	② 口腔機能向上に関する実施目標や実施内容の管理(アセスメント)			
☐	③ 口腔機能に関する問題点の把握(スクリーニング)の頻度向上			
☐	④ 口腔機能のアセスメントの頻度向上			
☐	⑤ その他 ()			
☐	⑥ 新たに開始した取組はない			
問13 利用者の状態の評価				
(1) 本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)				
本加算を算定している利用者数			人	
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間			時間	分
(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください				
☐	① 1か月に1回以上			
☐	② 2か月に1回程度			
☐	③ 3か月に1回程度			
問14 LIFEの利用に当たっての課題				
(1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください				
☐	① 口腔機能に関する問題点についての評価方法がわかりにくい			
☐	② 口腔機能に関する問題点の評価に手間がかかる			
☐	③ より適切な評価指標・管理方法がある →具体的な指標名()			
☐	④ その他 ()			
☐	⑤ 感じている課題は特にない			

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。

参考資料2 アンケート調査票（LIFE 未登録事業所票）

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」【LIFE未登録事業所票】

■ご記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は事業所の管理者の方がご記入ください。
- ・ 特に指定の無い限り、ご回答時点の状況についてご回答ください。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合は「0」とご記入ください。
- ・ 具体的な回答方法については、「実施要領」をご確認ください。
- ・ 令和4年10月7日(金)までにご回答いただき、「調査実施のお願い」に記載の方法でアップロードしてください。

■調査に関するお問い合わせ先

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」事務局
 電話:0120-955-920 (平日 9:30～17:30) ◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎
 メール:r4-life@surece.co.jp

問1 基本情報

(1) 事業所名					
(2) 事業所番号					
(3) 定員数		人	(4) 利用者数(調査時点)		人

問2 職員体制(属性・人数) ※法人ではなく、事業所内の数を記載してください

	事業所の職員数(常勤換算人数) ※他の事業所と兼務していない職員数	他の事業所と兼務している 職員数(常勤換算人数)
(1) 介護職(介護福祉士除く)	人	人
(2) 介護福祉士	人	人
(3) 介護支援専門員	人	人
(4) 社会福祉士	人	人
(5) 精神保健福祉士	人	人
(6) 相談員((3)～(5)以外)	人	人
(7) 歯科衛生士	人	人
(8) 管理栄養士	人	人
(9) 栄養士(管理栄養士除く)	人	人
(10) 理学療法士	人	人
(11) 作業療法士	人	人
(12) 言語聴覚士	人	人
(13) 看護職員	人	人
(14) 歯科医師	人	人
(15) 医師	人	人
(16) その他の職員	人	人
その他の内訳()		

問3 使用している介護ソフトの会社

- 使用している介護ソフトの会社を選んでください ※当てはまるもの全てに☑
 (1) ※完全導入とは、事業所における全業務について介護ソフトを利用している場合を指します
 ※一部導入とは、事業所における一部業務についてのみ介護ソフトを利用している場合を指します

完全導入	一部導入	
☐	☐	① ほのぼのシリーズ(NDソフトウェア株式会社)
☐	☐	② ワイズマンシステムSP(株式会社ワイズマン)
☐	☐	③ HOPE LifeMark-WINCARE(富士通株式会社)
☐	☐	④ カイボケ(株式会社エス・エム・エス)
☐	☐	⑤ 楽すけ(ニップクケアサービス株式会社)
☐	☐	⑥ すこやかサン(株式会社EMシステムズ)
☐	☐	⑦ CAREKARTE(株式会社ケアコネクトジャパン)
☐	☐	⑧ ちょうじゅ(株式会社ケアコネクトジャパン)
☐	☐	⑨ その他
		ソフト名
		会社名
☐	☐	⑩ 介護ソフトは使用していない

- (2) 使用している介護ソフトはLIFEに対応していますか

☐	① 完全に対応している
☐	② 一部対応している
☐	③ 全く対応していない
☐	④ わからない

問4 これまでの利用者及び自事業所に関するデータ分析内容

- (1) 日常的に利用者の状態を指標を用いて評価していますか

☒	① 評価している
☐	② 評価していない

- (2) 評価している内容を教えてください
 ※問4(1)で「①評価している」と選択された方にお聞きます
 ※当てはまるもの全てに☑

☐	① 利用者のADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)
☐	② 利用者のIADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)
☐	③ 利用者の認知機能
☐	④ 利用者の認知症の行動・心理症状(BPSD)
☐	⑤ 利用者の意欲
☐	⑥ 利用者の栄養状態
☐	⑦ 利用者の口腔・嚥下機能
☐	⑧ 利用者の褥瘡の状態
☐	⑨ 利用者の日中の活動(離床時間/外出回数/居室以外における滞在時間)
☐	⑩ 利用者の服薬状況
☐	⑪ その他)

- (3) 評価した内容を多職種で議論したことはありますか
 ※問4(1)で「①評価している」と選択された方にお聞きます

☐	① 定期的に議論している
☐	② 不定期だが議論したことがある
☐	③ 議論したことはない

問5 これまでの利用者もしくは家族への介護状態のフィードバック状況	
(1) 状態を評価した結果や利用者の介護状態の推移等を利用者あるいはその家族に説明したことはありますか	☒ ① ある ☐ ② ない
(2) 実施頻度を教えてください ※問5(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます	☐ ① 現在、定期的の実施している → 年()回程度 ☐ ② 現在、不定期に実施している ☐ ③ 過去に、定期的の実施していた ☐ ④ 過去に、不定期に実施していた ☐ ⑤ その他 ()
(3) 説明対象者を教えてください ※問5(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに☑	☐ ① 利用者本人 ☐ ② 利用者の家族 ☐ ③ その他 ()
(4) 説明している内容を教えてください ※問5(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに☑	☐ ① ADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等) ☐ ② IADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等) ☐ ③ 認知機能 ☐ ④ 認知症の行動・心理症状(BPSD) ☐ ⑤ 栄養状態 ☐ ⑥ 口腔・嚥下機能 ☐ ⑦ その他 ()
問6 ケアの質の向上に向けたPDCAサイクルの取組	
(1) ケアの質の向上に向けたPDCAサイクルの取組において、貴事業所で実施していることを教えてください ※当てはまるもの全てに☑	☐ ① ケアの結果を議論する組織体等を設置している ☐ ② ケアの質の向上に関する方針を策定している ☐ ③ ケアの質の向上に関する方針を事業所内で周知している ☐ ④ ケアの質の向上に関する必要な文書を作成している ☐ ⑤ ケアプランの定期的なモニタリングや内容の見直しを実施している ☐ ⑥ 事業所内で利用者の状態の評価方法を統一している ☐ ⑦ 利用者の状態の評価頻度を統一している ☐ ⑧ 全利用者の状態の評価を実施している ☐ ⑨ 利用者の状態の評価の結果から利用者の問題点・課題を明らかにしている ☐ ⑩ 利用者の状態の評価の結果を多職種で情報連携し、評価に基づいて議論している ☐ ⑪ 利用者の経時的な状態変化等を分析するようになった(分析する予定) ☐ ⑫ ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)を設定した ☐ ⑬ その他 ()
(2) ケアの質の向上に向けたPDCAサイクルの取組において、課題と感ずることはありますか	☒ ① ある ☐ ② ない

	ケアの質の向上に向けたPDCAサイクルの取組において、課題と感ずる内容を教えてください ※問6(2)で「①ある」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに☑	
	☐ ① ケアの質の向上について議論する場(委員会等)がない ☐ ② ケアの質の向上に関する方針が事業所内で周知されていない ☐ ③ 利用者の状態の評価方法がわからない ☐ ④ 利用者の問題点や課題を十分に把握できていない ☐ ⑤ 利用者の経時的な状態変化を把握できていない ☐ ⑥ 利用者の状態の評価結果を多職種で共有していない ☐ ⑦ 利用者の状態の評価をケアの質の向上に活かしていない ☐ ⑧ その他	
	問7 LIFEの今後の利用意向	
	(1) LIFEの今後の利用意向を教えてください ☐ ① 利用したい(アカウント申請済み) ☒ ② 利用したい(アカウント申請予定) ☐ ③ 利用したいと思わない	
	LIFEを利用していない理由を教えてください ※問7(1)で②もしくは③とご回答した方にお聞きます。 ※当てはまるもの全てに☑	
	☐ ① 利用申請の方法など、LIFEを利用するまでの手順がわからない ☐ ② LIFEやLIFEに関連した加算についてよく知らない ☐ ③ LIFEや加算の意義を理解できないから ☐ ④ LIFEに関連する加算を算定する予定がない ☐ ⑤ LIFEに登録する項目のうち、これまで評価・把握していなかった項目が多い ☐ ⑥ データ連携が可能な介護ソフトを導入していない ☐ ⑦ データを入力する職員の負担が大きい ☐ ⑧ 利用者の状態の評価方法がわからない ☐ ⑨ 利用者の状態の評価をする職員の負担が大きい ☐ ⑩ 具体的な入力項目やフィードバックされる内容を知らない ☐ ⑪ 魅力的なフィードバック機能がない ☐ ⑫ 利用者や家族の同意が得られない ☐ ⑬ 加算の単位数が少ないと感じる ☐ ⑭ LIFEや加算に関する職員への研修ができない ☐ ⑮ 法人としてLIFEを利用しない判断をしている ☐ ⑯ 特に理由はない ☐ ⑰ その他	

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。

参考資料3 アンケート調査票（モデル事業調査票）

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」【モデル事業調査票】									
■ご記入にあたってのご注意 - この調査票はフィードバック票をご覧になり、現場で活用いただいた方等がご記入ください。 - フィードバック票活用前は令和4年7月1日時点、活用後は記入時点の状況についてご回答ください - 入力方法については、下記の凡例（セルの色）を参考にいただき、プルダウンメニューから○や選択肢を選んでください。									
(選択) : 単一回答 : 複数回答 : 自由記述 : 数値入力 ※0(ゼロ)の場合も「0」とご記入ください。 : 灰色になっているセルは、前問の回答の結果、対象となる方のみ入力可能になります。									
■調査に関するお問い合わせ先 「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」事務局 ◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎ 電話 : 0120-955-067 (平日 9:30～17:30) Email : r4life-model@ml.mri.co.jp									
問1 基本情報									
(1) 事業所名									
(2) 事業所番号									
(3) 利用者数(介護保険分)				人					
(4) 利用者数(医療保険分) ※訪問看護のみ回答、(3)で計上した利用者は含まない								人	
問2 職員体制(属性・人数) ※法人ではなく、事業所内の数を記載してください									
		事業所の職員数(常勤換算人数) ※他の事業所と兼務していない職員数				他の事業所と兼務している 職員数(常勤換算人数)			
(1) 介護職(介護福祉士除く)						人			
(2) 介護福祉士						人			
(3) 介護支援専門員						人			
(4) 社会福祉士						人			
(5) 精神保健福祉士						人			
(6) 相談員((3)～(5)以外)						人			
(7) 歯科衛生士						人			
(8) 管理栄養士						人			
(9) 栄養士(管理栄養士除く)						人			
(10) 理学療法士						人			
(11) 作業療法士						人			
(12) 言語聴覚士						人			
(13) 看護職員						人			
(14) 歯科医師						人			
(15) 医師						人			
(16) その他						人			
		その他の内訳()							
問3 介護支援専門員の基本情報 ※問3は居宅介護支援事業所のみ									
(1) 事業所の管理者		(選択) 1 該当		2 非該当					
(2) 介護支援専門員としての業務経験年数		年		か月					
(3) 担当件数 (要支援1・2は介護予防支援業務の委託を受けている人数)		居宅介護				件			
		介護予防				件			
(4) 勤務形態		(選択) 1 常勤専従		2 常勤兼務					
		3 非常勤専従		4 非常勤兼務					
(5) 主任介護支援専門員資格		(選択) 1 あり		2 なし					
(6) その他の保有資格 (当てはまるもの全てに○)		1 医師		2 歯科医師		3 薬剤師			
		4 保健師		5 助産師		6 看護師			
		7 准看護師		8 理学療法士		9 作業療法士			
		10 社会福祉士		11 介護福祉士		12 視能訓練士			
		13 義肢装具士		14 歯科衛生士		15 言語聴覚士			
		16 あん摩マッサージ指圧師		17 はり師		18 きゅう師			
		19 柔道整復師		20 管理栄養士		21 栄養士			
		22 精神保健福祉士		23 介護福祉士養成のための実務者研修(旧ホームヘルパー1級)		24 介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)			
		25 旧ホームヘルパー3級		26 その他					
(7) 年齢		歳(整数でご回答ください)							

問4 サービスの提供内容					
(1)法人が提供しているサービス(関連法人・系列法人を含む)として該当するもの全てに○を付けてください。 (2)貴事業所に併設されているサービスとして該当するもの全てに○を付けてください。 ※「併設されているサービス」とは、貴事業所と同一敷地内もしくは隣接する敷地内の事業所において提供されているサービスのことを言います。					
提供主体			提供主体		
(1)	(2)		(1)	(2)	
法人	併設		法人	併設	
<居宅サービス>			<施設サービス>		
		1 訪問介護			20 介護老人福祉施設
		2 訪問入浴介護			21 介護老人保健施設
		3 訪問看護			22 介護療養型医療施設
		4 通所介護			23 介護医療院
		5 訪問リハビリテーション	<医療サービス>		
		6 通所リハビリテーション			24 病院
		7 短期入所生活介護			25 診療所(在宅療養支援診療所)
		8 短期入所療養介護			26 診療所(在宅療養支援診療所以外)
		9 特定施設入居者生活介護	<その他>		
		10 福祉用具貸与または販売			27 居宅介護支援
<地域密着型サービス>					28 サービス付き高齢者向け住宅
		11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護			29 有料老人ホーム
		12 夜間対応型訪問介護			(介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム)
		13 地域密着型通所介護			30 養護老人ホーム、軽費老人ホーム
		14 認知症対応型通所介護			(ケアハウスA、B)
		15 小規模多機能型居宅介護			31 旧高齢者専用賃貸住宅
		16 認知症対応型共同生活介護			32 地域包括支援センター
		17 地域密着型特定施設入居者生活介護			(在宅介護支援センター)
		18 地域密着型老人福祉施設入所者生活介護			33 調剤薬局
		19 看護小規模多機能型居宅介護			34 特になし

問5 LIFEの認知度			
(1)	本調査の実施前からLIFEを知っていましたか		
	1	① 知っていた	② 知らなかった
(2)	LIFEを知った経緯を教えてください(当てはまるもの全てに○) ※問5(1)で「①知っていた」と選択された方にお聞きます		
		① 行政(厚生労働省・自治体)	② 居宅サービス事業所
		③ 介護支援専門員(事業所内)	④ 介護支援専門員(事業所外)
		⑤ 職能団体等	⑥ その他の事業所
		⑦ 民間のホームページ、雑誌等	
		⑧ その他()	
(3)	同じ法人が経営する別のサービスにおいてLIFEを利用(データの提出や加算の算定など)していますか ※問5(1)で「①知っていた」と選択された方にお聞きます		
	(選択)	① 利用している →全利用者のうち	割合
		② 利用していない	
		③ 分からない	

問6 通常時の利用者の状態の評価の実施状況	
※令和4年7月1日時点における状況としてご回答ください	
※訪問系サービスのみ回答してください	
(1)	利用者の状態に関する評価の実施頻度を教えてください (選択) ① 定期的に実施している → 年()回程度 ② 不定期に実施している ③ 実施していない(その理由:) ④ その他 ()
(2)	状態の評価の対象としている利用者を教えてください (選択) ① 担当している利用者全員 ② 担当している利用者のうち、必要な利用者のみ → 全利用者のうち 割程度 ③ その他 ()
(3)	利用者の状態の評価の実施体制を教えてください ① 利用者に訪問している職員(訪問介護員・訪問看護師等)が評価をしている ② 事業所の他の職員(訪問介護員・訪問看護師等)または管理者が評価をしている ③ 居宅介護支援事業所から評価の結果を受領している ④ 居宅介護支援事業所以外の他事業所等から評価の結果を受領している ⑤ 評価の実施・結果の受領はしていない ⑥ その他 ()
(4)	利用者の状態の評価方法を教えてください ※利用者1人以上に実施している項目全てに○ ① 評価基準に基づき評価(ADL評価、褥瘡の評価等) ② 利用者の普段の状況等を踏まえて評価 ③ 利用者・家族との面談で情報収集して評価 ④ その他 ()
(5)	利用者の状態の評価項目の中で、下記のうち該当する項目を教えてください ※利用者1人以上に実施している項目全てに○ ※何らかの形で利用者の状態の評価を実施している方のみご回答ください ① ADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等) ② IADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等) ③ 認知機能 ④ 認知症の行動・心理症状(BPSD) ⑤ 意欲 ⑥ 栄養状態 ⑦ 口腔・嚥下機能 ⑧ 褥瘡 ⑨ 排泄 ⑩ 日中の活動(離床時間/外出回数/居室以外における滞在時間) ⑪ 服薬の状況 ⑫ その他 ()

問7		これまでの利用者及び自事業所に関するデータ分析内容 ※令和4年7月1日時点における状況としてご回答ください	
※問6(1)で③を選択した場合は回答不要です			
(1)	日常的に利用者の状態を指標を用いて評価していますか		
1	① 評価している	② 評価していない	
(2)	評価している内容を教えてください ※当てはまるもの全てに○ ※問7(1)で「①評価している」と選択された方にお聞きます		
	① ADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)		
	② IADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)		
	③ 認知機能		
	④ 認知症の行動・心理症状(BPSD)		
	⑤ 栄養状態		
	⑥ 口腔・嚥下機能		
	⑦ その他 ()		
(3)	評価した内容を多職種で議論したことはありますか ※問7(1)で「①評価している」と選択された方にお聞きます		
(選択)	① 定期的に議論している	② 不定期だが議論したことがある	③ 議論したことはない

問8		通常時の利用者へのデータ分析の結果の活用状況 ※令和4年7月1日時点における状況としてご回答ください	
※問6(1)で③を選択した場合は回答不要です。			
(1)	状態を評価した結果を利用者あるいはその家族に説明したことはありますか		
1	① ある		
	② ない(その理由:)		
(2)	実施頻度を教えてください ※問8(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます		
(選択)	① 現在、定期的に実施している → 年()回程度		
	② 現在、不定期に実施している		
	③ 過去に、定期的に実施していた		
	④ 過去に、不定期に実施していた		
	⑤ その他 ()		
(3)	説明する対象者を教えてください ※当てはまるもの全てに○ ※問8(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます		
	① 利用者本人	→全利用者のうち	割程度
	② 利用者の家族	→全利用者のうち	割程度
	③ その他 ()		
(4)	説明している内容を教えてください ※当てはまるもの全てに○ ※問8(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます		
	① ADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)		
	② IADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)		
	③ 認知機能		
	④ 認知症の行動・心理症状(BPSD)		
	⑤ 栄養状態		
	⑥ 口腔・嚥下機能		
	⑦ その他 ()		

問9 LIFE項目を利用者ごとに評価する際の課題						
(1)	評価するにあたりどのような課題がありましたか ※①～⑪それぞれについて、当てはまる課題1つに○					
		特に問題なく評価できた	要評価をしたことがなく調べる必要がなかった	評価方法を理解するのが難しかった	迷った評価結果にするか判断に迷った	評価する時間へ利用者1人あたりに時間がかかった
	① ADL(Barthel Index)					
	② ADL・IADL(Barthel Index以外)					
	③ 認知機能・行動心理症状(DBD13)					
	④ 認知機能・行動心理症状(DBD13以外)					
	⑤ 意欲(Vitality Index)					
	⑥ 栄養状態					
	⑦ 口腔・嚥下機能					
	⑧ 褥瘡					
	⑨ 日中の活動					
	⑩ 排泄					
⑪ 服薬						

問10 フィードバック票の活用(自事業所分)	
※自事業所が入力したデータに基づき作成されたフィードバック票についてご回答ください	
(1)	事業所のフィードバック票の結果に基づき、訪問看護計画・訪問介護計画・ケアプランが妥当かどうか検討しましたか ○ ① 事業所内で検討した ○ ② サービス担当者会議等で他の事業所とともに検討した ○ ③ 会議体以外で他の事業所とともに検討した ○ ④ 検討しなかった
(2)	検討した結果について教えてください ※問10(1)で「①事業所内で検討した」、又は「②サービス担当者会議等で他の事業所とともに検討した」、又は「③会議体以外で他の事業所とともに検討した」と選択された方にお聞きます 2 ① 妥当であることが確認できた ② 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランを見直す必要性を感じた
(3)	実際に見直しを実施しましたか ※問10(2)で「②訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランを見直す必要性を感じた」と選択された方にお聞きます 2 ① 実施した ② 実施しなかった
(4)	訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの見直しを実施しなかった理由を教えてください ※問10(3)で「②実施しなかった」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに○ ① どのように見直せばよいかわからなかったから ② 利用者の意向にそぐわなかったから ③ 再検討するための人員や時間が不足しているから ④ その他()

	(5)	訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランが妥当かどうかについて、検討しなかった理由を教えてください ※問10(1)で「④検討しなかった」と選択された方にお聞きします ※当てはまるもの全てに○	
		①	フィードバック票の見方がわからなかったから
		②	検討するための人員や時間が不足しているから
		③	その他()
	(6)	フィードバック票の活用にあたって、追加でLIFEに登録した方がよいと思われる項目があれば回答ください	

問11 フィードバック票の活用(他事業所分)						
※他事業所が入力したデータに基づき作成されたフィードバック票についてご回答ください						
	(1)	他事業所からのフィードバック票は提供されましたか ※LIFEの対象サービスを併用し、かつ併用事業所がLIFEを活用している場合のみ提供されます				
		1	① 提供された			
			② どの利用者についても提供されなかった			
	※以降の設問は問11(1)で「①提供された」に○をした場合のみご回答ください					
	(2)	他事業所のフィードバック票を見て把握できた項目を教えてください(当てはまるもの全てに○)				
		①	他事業所でどのような項目の評価が実施されているかの把握			
		②	自事業所では把握できなかった評価項目の把握			
		③	自事業所と他事業所の両方で評価のある項目について、どの程度一致しているかの把握			
		④	他事業所の強みの把握			
		⑤	他事業所の弱みの把握			
		⑥	その他 ()			
	(3)	他事業所のフィードバック票を自事業所のフィードバック票と比較した結果を教えてください ※①～⑪それぞれについて、あてはまるもの全てに○				
			評価結果は同程度であった	評価結果が有意に異なっていた	他事業所では評価されていなかった	自事業所では評価できなかった
		①	ADL(Barthel Index)			
		②	ADL・IADL(Barthel Index以外)			
	③	認知機能・行動心理症状(DBD13)				
	④	認知機能・行動心理症状(DBD13以外)				
	⑤	意欲(Vitality Index)				
	⑥	栄養状態				
	⑦	口腔・嚥下機能				
	⑧	褥瘡				
	⑨	日中の活動				
	⑩	排泄				
	⑪	服薬				

	(4)	他事業所のフィードバック票を活用し、訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランが妥当かどうか検討しましたか	
	☐	①	事業所内で検討した
	☐	②	サービス担当者会議等で他の事業所とともに検討した
	☐	③	会議体以外で他の事業所とともに検討した
	☐	④	検討しなかった
	(5)	検討した結果について教えてください ※問11(4)で「①事業所内で検討した」、又は「②サービス担当者会議で他の事業所とともに検討した」、又は「③会議体以外で他の事業所とともに検討した」と選択された方にお聞きます	
	2	①	妥当であることが確認できた
		②	訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランを見直す必要性を感じた
	(6)	実際に見直しを実施しましたか ※問11(5)で「②訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランを見直す必要性を感じた」と選択された方にお聞きます	
	2	①	実施した
		②	実施しなかった
	(7)	訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの見直しを実施しなかった理由を教えてください ※問11(6)で「②実施しなかった」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに○	
	☐	①	どのように見直せばよいかわからなかったから
	☐	②	利用者の意向にそぐわなかったから
	☐	③	再検討するための人員や時間が不足しているから
☐	④	その他()	
(8)	訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランが妥当かどうかについて、検討をしなかった理由を教えてください ※問11(4)で「④検討しなかった」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに○		
☐	①	フィードバック票の見方がわからなかったから	
☐	②	他事業所のフィードバック票の結果を信頼してよいかわからなかったから	
☐	③	再検討するための人員や時間が不足しているから	
☐	④	その他()	

問12 LIFEの利用、LIFE項目の評価に要した時間		
(1)	LIFEの初期設定(インストールや管理職員・操作職員の登録等、初回のみ実施が必要な作業)に要した時間を教えてください	
	分	
(2)	利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要した時間を教えてください (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)	
	分	
(3)	利用者1人あたりの入力に要した時間を教えてください(介護記録ソフトへの入力時間も含む)	
	分	
(4)	利用者1人あたりのフィードバック票の読み取りに要した時間を教えてください	
	分	

問13 LIFEの利用状況																													
	(1) LIFEを利用することで、ケアの一連の活動(介護過程・看護過程の展開)のプロセスの中で役に立つと思われる点を教えてください ※当てはまるもの全てに○ <table border="1"> <tr><td>☐</td><td>① フィードバック票を用いて事業所の傾向を把握できる</td></tr> <tr><td>☐</td><td>② ケアの内容を議論する組織体等の設置(又は組織体を明確化)</td></tr> <tr><td>☐</td><td>③ ケアの質の向上に関する方針の策定</td></tr> <tr><td>☐</td><td>④ ケアの質の向上に関する方針の事業所内周知</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑤ これまで把握していなかった利用者の状況についての評価するようになる</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑥ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法の統一される</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑦ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が上がる</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑧ LIFEを利用した取組を通じて、全利用者の状態の評価を実施するようになる</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑨ LIFEへのデータ提出のために利用者の状態の評価を行った結果、利用者の問題点・課題が明確になる</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑩ LIFEに利用者のデータを入力し管理することで利用者の状態・課題を把握しやすくなる</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑪ LIFEでデータを一元管理することで多職種で情報連携しやすくなる</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑫ 利用者の経時的な状態変化等を分析するようになる</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑬ 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの再検討にむけた指標(KPI)の設定</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑭ その他 ()</td></tr> </table>	☐	① フィードバック票を用いて事業所の傾向を把握できる	☐	② ケアの内容を議論する組織体等の設置(又は組織体を明確化)	☐	③ ケアの質の向上に関する方針の策定	☐	④ ケアの質の向上に関する方針の事業所内周知	☐	⑤ これまで把握していなかった利用者の状況についての評価するようになる	☐	⑥ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法の統一される	☐	⑦ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が上がる	☐	⑧ LIFEを利用した取組を通じて、全利用者の状態の評価を実施するようになる	☐	⑨ LIFEへのデータ提出のために利用者の状態の評価を行った結果、利用者の問題点・課題が明確になる	☐	⑩ LIFEに利用者のデータを入力し管理することで利用者の状態・課題を把握しやすくなる	☐	⑪ LIFEでデータを一元管理することで多職種で情報連携しやすくなる	☐	⑫ 利用者の経時的な状態変化等を分析するようになる	☐	⑬ 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの再検討にむけた指標(KPI)の設定	☐	⑭ その他 ()
	☐	① フィードバック票を用いて事業所の傾向を把握できる																											
☐	② ケアの内容を議論する組織体等の設置(又は組織体を明確化)																												
☐	③ ケアの質の向上に関する方針の策定																												
☐	④ ケアの質の向上に関する方針の事業所内周知																												
☐	⑤ これまで把握していなかった利用者の状況についての評価するようになる																												
☐	⑥ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法の統一される																												
☐	⑦ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が上がる																												
☐	⑧ LIFEを利用した取組を通じて、全利用者の状態の評価を実施するようになる																												
☐	⑨ LIFEへのデータ提出のために利用者の状態の評価を行った結果、利用者の問題点・課題が明確になる																												
☐	⑩ LIFEに利用者のデータを入力し管理することで利用者の状態・課題を把握しやすくなる																												
☐	⑪ LIFEでデータを一元管理することで多職種で情報連携しやすくなる																												
☐	⑫ 利用者の経時的な状態変化等を分析するようになる																												
☐	⑬ 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの再検討にむけた指標(KPI)の設定																												
☐	⑭ その他 ()																												
	(2) LIFEの他の様式で利用してみたいシートはどれですか <table border="1"> <tr><td>☐</td><td>① 基本項目</td></tr> <tr><td>☐</td><td>② 興味関心チェック</td></tr> <tr><td>☐</td><td>③ 生活機能チェック</td></tr> <tr><td>☐</td><td>④ 個別機能訓練計画</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑤ ADL維持等加算</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑥ 褥瘡マネジメント</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑦ 排せつ支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑧ 自立支援促進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑨ 薬剤変更</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑩ 栄養摂食嚥下</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑪ 口腔衛生管理記録</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑫ 口腔機能アセス</td></tr> <tr><td>☐</td><td>⑬ 特になし</td></tr> </table>	☐	① 基本項目	☐	② 興味関心チェック	☐	③ 生活機能チェック	☐	④ 個別機能訓練計画	☐	⑤ ADL維持等加算	☐	⑥ 褥瘡マネジメント	☐	⑦ 排せつ支援	☐	⑧ 自立支援促進	☐	⑨ 薬剤変更	☐	⑩ 栄養摂食嚥下	☐	⑪ 口腔衛生管理記録	☐	⑫ 口腔機能アセス	☐	⑬ 特になし		
☐	① 基本項目																												
☐	② 興味関心チェック																												
☐	③ 生活機能チェック																												
☐	④ 個別機能訓練計画																												
☐	⑤ ADL維持等加算																												
☐	⑥ 褥瘡マネジメント																												
☐	⑦ 排せつ支援																												
☐	⑧ 自立支援促進																												
☐	⑨ 薬剤変更																												
☐	⑩ 栄養摂食嚥下																												
☐	⑪ 口腔衛生管理記録																												
☐	⑫ 口腔機能アセス																												
☐	⑬ 特になし																												

問14 LIFE全体としての介護の質に及ぼす影響									
	(1) LIFE全体として、LIFEの利用が介護の質の向上に寄与すると感じますか <table border="1"> <tr> <td>(選択)</td> <td>① 思う</td> <td>② やや思う</td> <td>③ どちらでもない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④ あまり思わない</td> <td>⑤ 思わない</td> <td></td> </tr> </table>	(選択)	① 思う	② やや思う	③ どちらでもない		④ あまり思わない	⑤ 思わない	
	(選択)	① 思う	② やや思う	③ どちらでもない					
		④ あまり思わない	⑤ 思わない						
(2) 上記の理由を教えてください <table border="1"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>									
(3) 全体を通して、LIFEに対して感じる課題や要望(フィードバック票への希望など)があれば自由にお書きください <table border="1"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>									

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。

参考資料 4 事業所フィードバック（イメージ）

事業所フィードバック 科学的介護推進体制加算

○事業所フィードバックは、自施設・事業所の利用者の状況と、モデル事業参加全事業者のうち、同じサービスの事業所における、LIFEにデータが登録されている利用者を対象とした平均値を表示しています。

○自施設・事業所の利用者の状況およびその推移や、全体の利用者と比較した相対的な状況等を確認することができます。

○データの解釈にあたって、以下の事項等に留意が必要です。対象期間中に実施した取組の状況等も考慮しながら、自施設・事業所のサービスの改善に向けた検討の材料として活用してください。

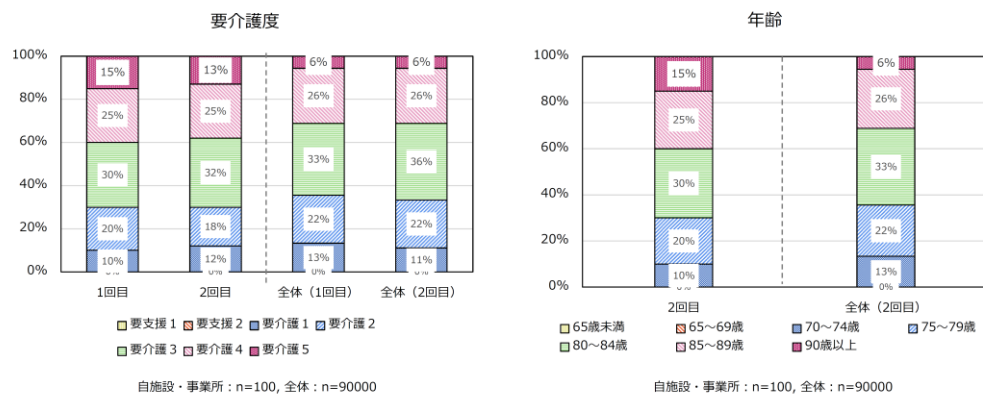
- ・全体値は、全体の同じサービスの利用者を対象としていますが、施設・事業所によって利用者の属性は様々です。
- ・指標値はケアの良し悪しを直接反映するものではありません。各施設・事業所の利用者の属性や、対象期間中に実施した取組、利用者毎の状況（入院があった、他のサービスを利用していた、等）など、様々な要因が関連します。

事業所番号：999999999
事業所名称：サンプル施設

サービス：介護福祉施設サービス

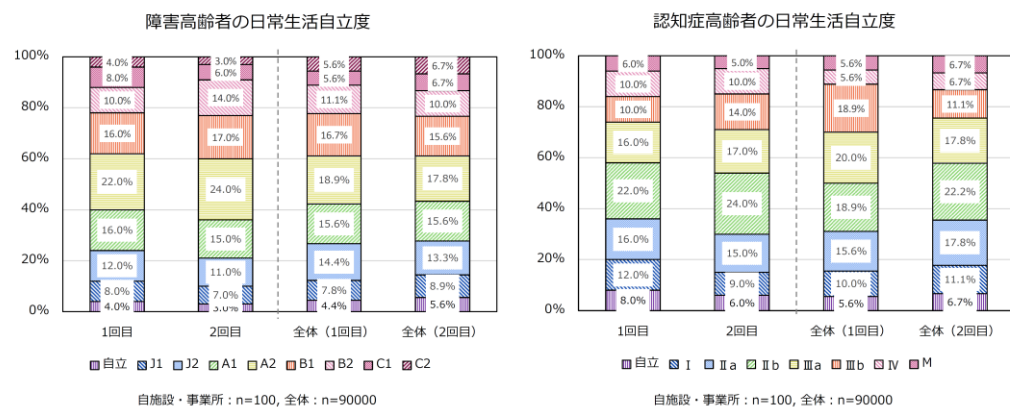
集計時点：2022年9月登録分データまで

■要介護度・年齢



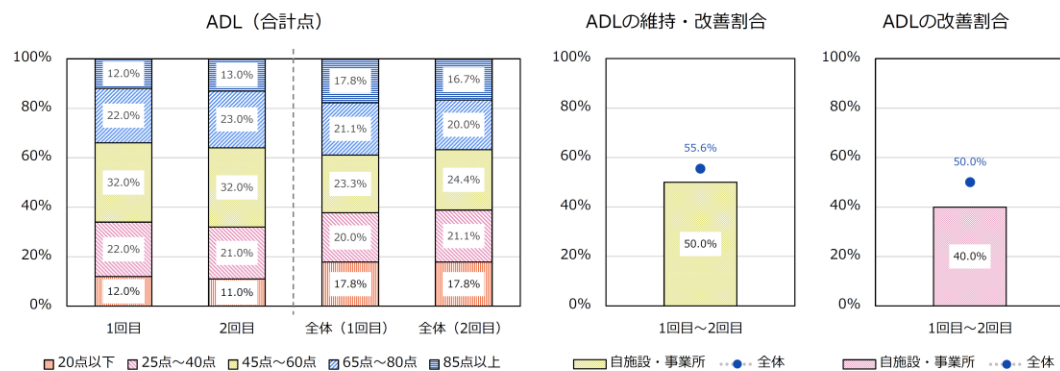
直近と6か月前の両時点において科学的介護推進体制加算のデータが登録されていた利用者を対象として、「利用者情報」をもとに、要介護度・年齢階級別の利用者の割合を表示しています。なお、年齢階級別の利用者の割合は、6か月～直近で基本的に変化しないため、「年齢」は直近のデータのみを表示しています。

■日常生活自立度



直近と6か月前の両時点において「障害高齢者の日常生活自立度」「認知症高齢者の日常生活自立度」のデータが登録されていた利用者を対象として、各区分に該当する利用者の割合を表示しています。

■ADL



ADL (項目別)

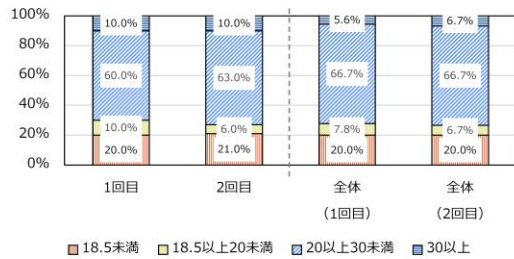


自施設・事業所 : n=100, 全体 : n=90000

直近と6か月前の両時点において「ADL (Barthel Index)」の全項目のデータが登録されていた利用者を対象として、ADL (合計点) が各区分に該当する利用者の割合、ADL合計点が維持または改善した利用者の割合および改善した利用者の割合、項目別の点数の状況 (各項目の満点を100%としたときの、利用者の平均値の割合) を表示しています。

■口腔・栄養

BMI

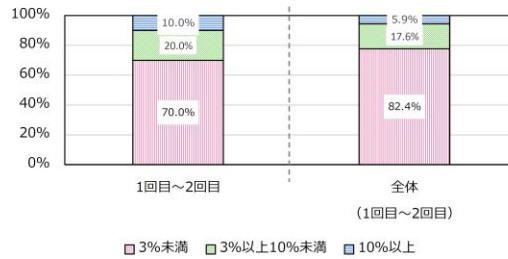


自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

直近と6か月前の両時点において「身長」「体重」のデータが登録されていた利用者を対象として、各区分に該当する利用者の割合を表示しています。

※肥満に該当する利用者等、体重減少が望ましい場合もあります。対象期間中に実施した取組や利用者の状況等も併せて確認してください。

体重減少率

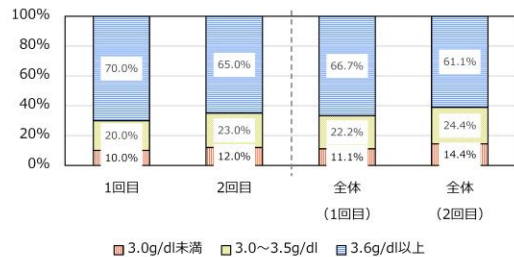


自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

直近と6か月前の両時点において「体重」のデータが登録されていた利用者を対象として、体重減少率が各区分に該当する利用者の割合を表示しています。

【施設サービスのみ必須】

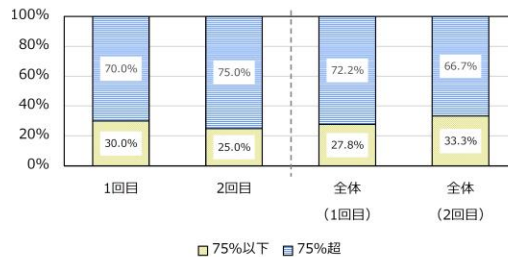
血清アルブミン値



自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

直近と6か月前の両時点において「血清アルブミン値」のデータが登録されていた利用者を対象として、各区分に該当する利用者の割合を表示しています。

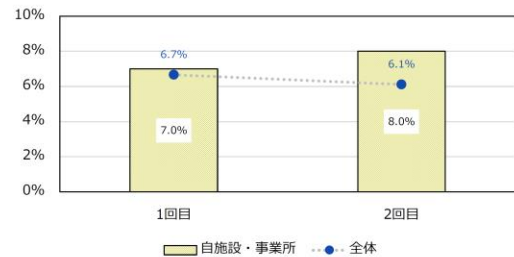
食事摂取量（全体）



自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

直近と6か月前の両時点において「食事摂取量（全体）」のデータが登録されていた利用者を対象として、各区分に該当する利用者の割合を表示しています。

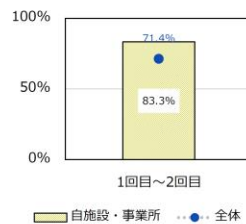
経腸栄養法の利用者の割合



自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

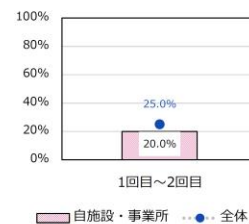
直近と6か月前の両時点において「経腸栄養法」のデータが登録されていた利用者を対象として、経腸栄養法の利用のある利用者の割合を表示しています。

経口摂取の維持割合



自施設・事業所：n=60, 全体：n=70000

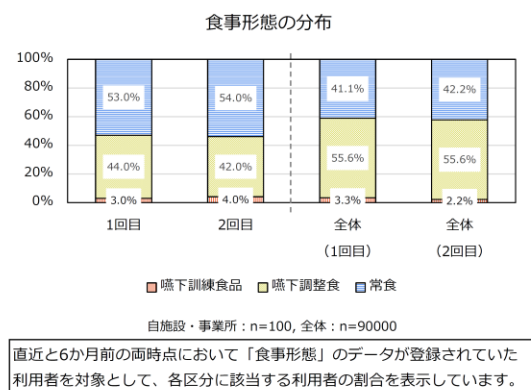
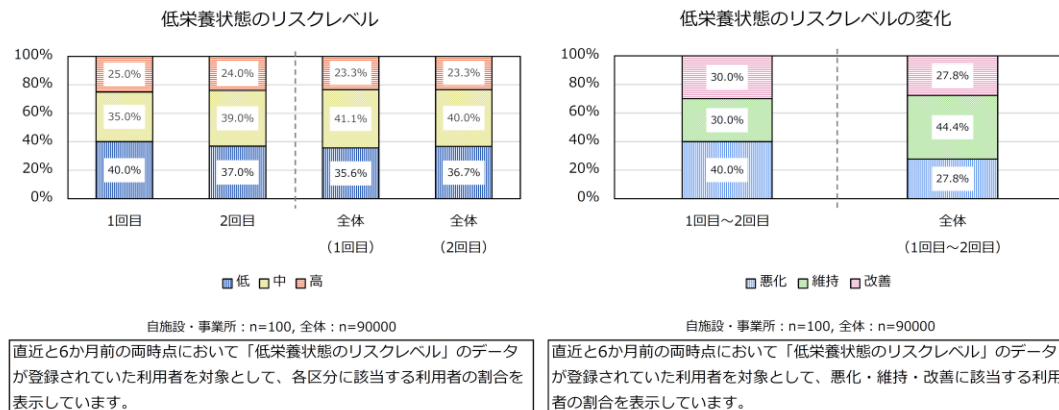
経口摂取になった利用者の割合



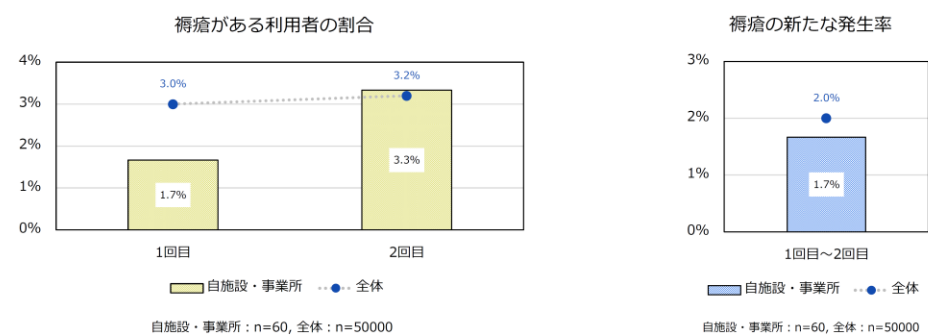
自施設・事業所：n=40, 全体：n=20000

直近と6か月前の両時点において「経口摂取」のデータが登録されていた利用者を対象として、経口摂取の維持（両時点で「完全」または「一部」）または経口摂取になった（「なし」から「完全」または「一部」へ変化した）利用者の割合を表示しています。

【施設サービスのみ必須】

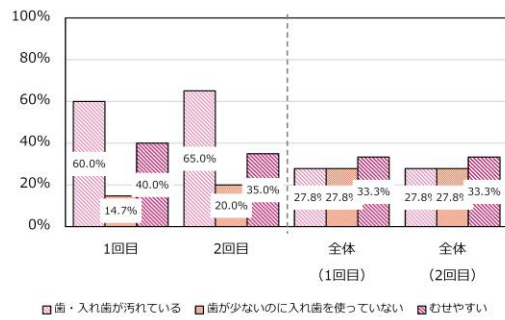


【任意項目】



※「褥瘡の有無」について、施設・事業所により判断基準が異なっている場合があることに留意が必要です。
判断基準については、「ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム（LIFE）利活用の手引き」を確認してください。

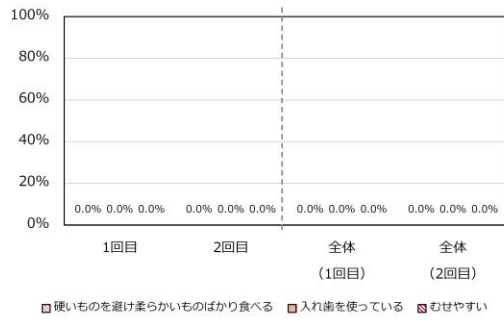
口腔の健康状態（施設サービス）



自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

直近と6か月前の両時点において「口腔の健康状態」の3つの項目のデータが全て登録されていた利用者を対象として、該当する利用者の割合を表示しています。

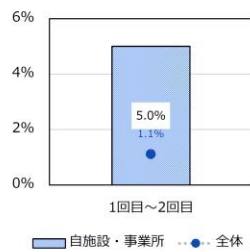
口腔の健康状態（通所・居住サービス）



自施設・事業所：n=0, 全体：n=0

直近と6か月前の両時点において「口腔の健康状態」の3つの項目のデータが全て登録されていた利用者を対象として、該当する利用者の割合を表示しています。

誤嚥性肺炎の発生率



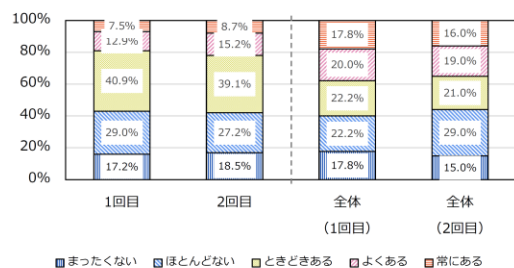
自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

直近と6か月前の両時点において「誤嚥性肺炎の発症・既往」のデータが登録されていた利用者を対象として、新たに「あり」となった利用者の割合を表示しています。

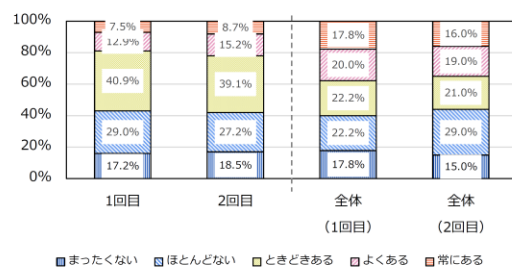
※経口摂取の維持を試みることで、誤嚥性肺炎の発生率が上昇する場合があります。
対象期間中に実施した取組や利用者の状況等も併せて確認してください。

■認知症

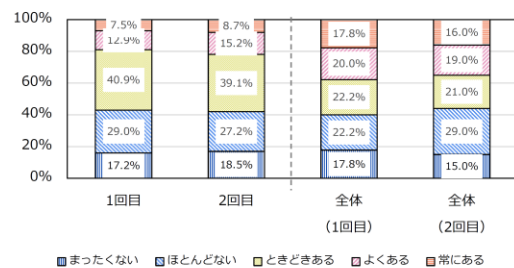
日常的な物事に関心を示さない



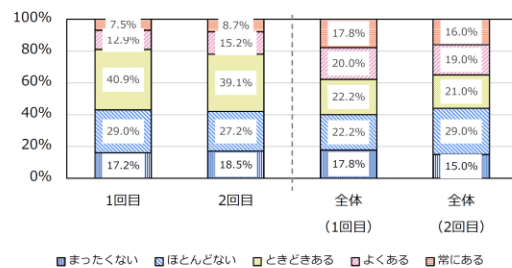
特別な事情がないのに夜中起き出す



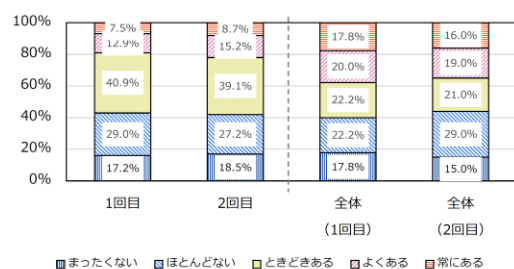
特別な根拠もないのに人に言いがかりをつける



やたらに歩きまわる



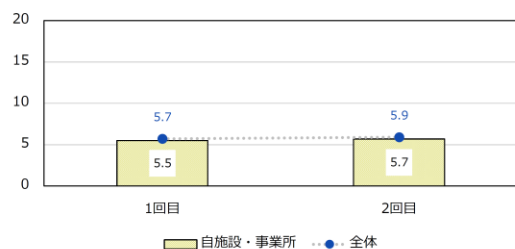
同じ動作をいつまでも繰り返す



自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

直近と6か月前の両時点において「DBD13（必須項目）」の全項目のデータが登録されていた利用者を対象として、各区分に該当する利用者の割合を表示しています。

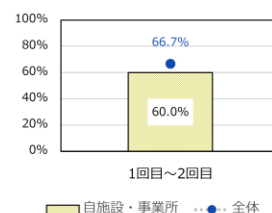
DBD13（必須項目）（合計点）



自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

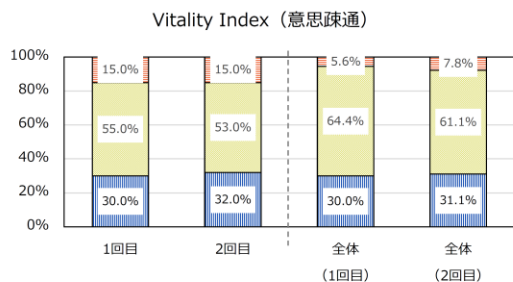
直近と6か月前の両時点において「DBD13（必須項目）」の全項目のデータが登録されていた利用者を対象として、DBD13（必須項目）の合計点を表示しています。

DBD13（必須項目）の
維持・改善割合



自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

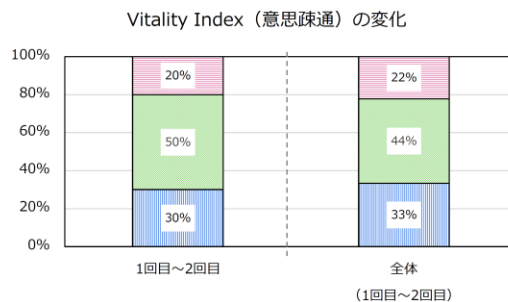
直近と6か月前の両時点において「DBD13（必須項目）」の全項目のデータが登録されていた利用者を対象として、合計点が維持または改善した利用者の割合を表示しています。



■ 自分から挨拶する、話し掛ける ■ 挨拶、呼びかけに対して返答や笑顔が見られる ■ 反応がない

自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

直近と6か月前の両時点において「Vitality Index（意思疎通）」のデータが登録されていた利用者を対象として、該当者の割合を表示しています。

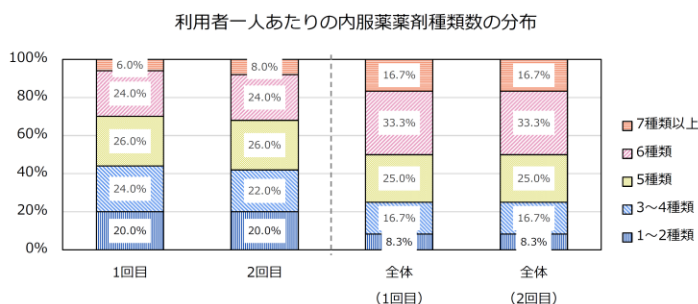


■ 悪化 ■ 維持 ■ 改善

自施設・事業所：n=100, 全体：n=90000

直近と6か月前の両時点において「Vitality Index（意思疎通）」のデータが登録されていた利用者を対象として、改善・維持・悪化の該当者の割合を表示しています。

服薬情報（科学的介護推進体制加算（Ⅱ）のみ必須項目）



■ 7種類以上 ■ 6種類 ■ 5種類 ■ 3~4種類 ■ 1~2種類

		1回目		2回目	
自施設 事業所	平均値	3.1	種類	3.2	種類
	中央値	4	種類	4	種類
全体	平均値	2.9	種類	3.1	種類
	中央値	3	種類	4	種類

自施設・事業所：n=50, 全体：n=60000

直近と6か月前の両時点において「薬剤コード」「剤形コード」のデータが登録されていた利用者を対象として、内服薬の薬剤種類数ごとの割合を示しています。

※以下に留意が必要です。

- ・データ登録を行う服薬情報の範囲（臨時処方登録しているか、等）について、施設・事業所により判断基準が異なっている可能性があります。
- ・内服薬の該当は、項目「剤形コード」により判別しているため、本項目が空欄の場合、計上されていません。

※ポリファーマシーについて

ポリファーマシーは、「単に服用する薬剤数が多いことではなく、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態」（厚生労働省「高齢者の医薬品適正使用の指針」（総論編））です。フィードバック票の薬剤数も参考にしながら、薬物有害事象が生じていないかについても確認してください。

参考資料5 利用者別フィードバック（イメージ）

利用者フィードバック 科学的介護推進体制加算

○利用者フィードバックは、利用者の状況と、参考値として、全国の科学的介護推進体制加算を算定している同じサービスの事業所に

おける、LIFEにデータが登録されている利用者を対象とした全国値を表示しています。

○利用者の状況およびその推移や、全国の利用者と比較した相対的な状況等を確認することができます。

○データの解釈にあたって、以下の事項等に留意が必要です。対象期間中に実施した取組の状況等も考慮しながら、利用者の計画書等

の見直しの材料として活用してください。

- ・参考値は、第1回目の指標値に近い全国の利用者を対象としていますが、利用者毎に背景や利用目的等が異なっていることに留意が必要です。
- ・指標値はケアや状態の良し悪しを直接反映するものではありません。利用者の背景や利用目的、対象期間中に実施した取組、利用者毎の状況（入院があった、他のサービスを利用していた、等）など、様々な要因が関連します。

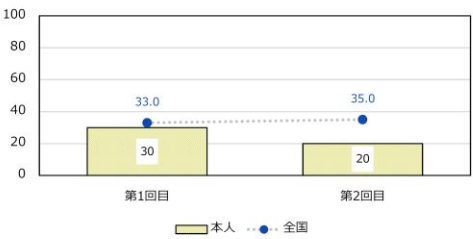
事業所番号 : 999999999
事業所名称 : サンプル施設
利用者ID : 000010

サービス : 介護福祉施設サービス

集計時点 : 2022年3月 登録分データまで

■ADL

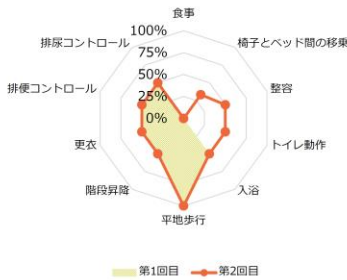
ADL（合計点）



【参考】ADL（合計点）（全国）

第1回目の該当区分	該当者数 (n)	第1回目	第2回目
10点以下	10000	8.0	7.0
15～20点	11000	18.0	17.0
25～30点	12000	28.0	27.0
35～40点	13000	38.0	37.0
45～50点	14000	48.0	47.0
55～60点	15000	58.0	57.0
65～70点	14000	68.0	67.0
75～80点	13000	78.0	77.0
85～90点	12000	88.0	87.0
95～100点	11000	98.0	97.0

ADL（項目別）



【参考】ADL（項目別）全国



全国 : n=90000

「ADL (Barthel Index)」の全項目のデータが登録されていた利用者を対象として、ADL（合計点）およびADL（項目別）を表示しています。グラフに表示している全国値は、同一サービスの第1回目のADL（合計点）が±5点の範囲であった利用者を対象として、平均値を算出しています。全国の他の区分の利用者の状況を確認したいときは、「【参考】ADL（合計点）（全国）」を参照してください。

■口腔・栄養

低栄養状態のリスクレベルに関連する項目の状況

	第1回目	第2回目
BMI	20.5	19.5
体重減少率		4%
※ 血清アルブミン値 (g/dl)	3.4	3.6
※ 食事摂取量 (全体)	85	90
※ 栄養補給法 (経腸栄養法・静脈栄養法)	なし	なし
褥瘡の有無【任意項目】	なし	なし

各項目のデータが登録されていた利用者を対象として、各項目の状況を表示しています。

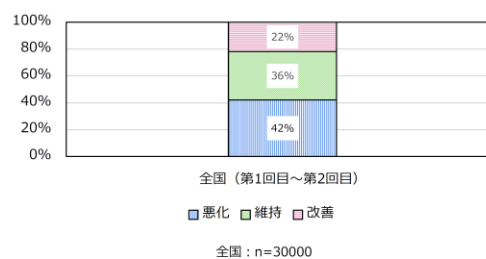
※は施設サービスのみ必須の項目です。

【施設サービスのみ必須】

低栄養状態のリスクレベル

第1回目	第2回目
中	中

【参考】低栄養状態のリスクレベルの変化 (全国)



「低栄養状態のリスクレベル」のデータが登録されていた利用者を対象として表示しています。

全国値は、同一サービスの第1回目の「低栄養状態のリスクレベル」が同じ利用者を対象として、維持・改善・悪化に該当する利用者の割合を算出しています。

口腔の健康状態（施設サービス）

	第1回目	第2回目
歯・入れ歯が汚れている	はい	いいえ
歯が少ないのに入れ歯を使っていない	はい	はい
むせやすい	いいえ	いいえ

口腔の健康状態（通所・居宅サービス）

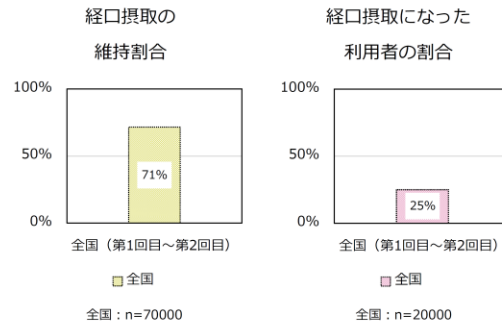
	第1回目	第2回目
硬いものを避け柔らかいものばかり食べる	-	-
入れ歯を使っている	-	-
むせやすい	-	-

「口腔の健康状態」のデータが登録されていた利用者を対象として表示しています。

経口摂取の状態

第1回目	第2回目
一部	完全

【参考】経口摂取（全国）



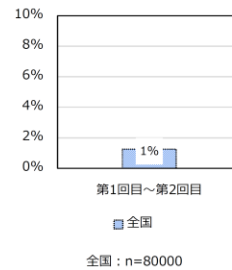
「経口摂取」のデータが登録されていた利用者を対象として表示しています。
 全国値は、同一サービスの第2回目と第1回目の両時点において「経口摂取」のデータが登録されていた利用者を対象として、経口摂取の維持（両時点
 で「完全」または「一部」）または改善（「なし」から「完全」または「一部」へ変化）した利用者の割合を表示しています。

誤嚥性肺炎の発症・既往

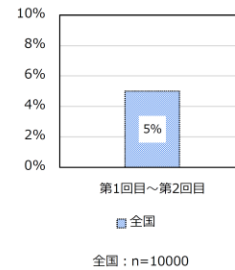
	12か月前～ 第1回目	6か月以内
誤嚥性肺炎の発症・既往	20211009	-

※「12か月前～第1回目」について、初回の入力時のデータの場合は、より以前の既往が含まれています。

【参考】誤嚥性肺炎の発症率 （全国）（既往なし）



【参考】誤嚥性肺炎の発症率 （全国）（既往あり）

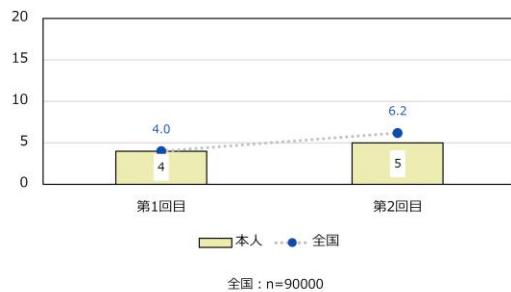


誤嚥性肺炎の「発症日」のデータが登録されていた利用者を対象として表示しています。各時点において複数の「発症日」のデータが登録されている場合、ひとつめに登録されているデータを表示しています。

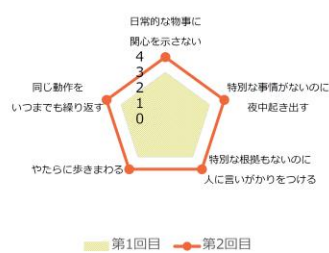
第2回目と第1回目の両時点において「誤嚥性肺炎の発症・既往」（あり/なし）のデータが登録されていた利用者を対象として、これまでに登録されたデータにおいて「あり」のあった利用者と、なかった利用者のそれぞれについて、第2回目のデータで「あり」に該当する利用者の割合を表示

■ 認知症

DBD13（必須項目）（合計点）



DBD13（必須項目）（項目別）

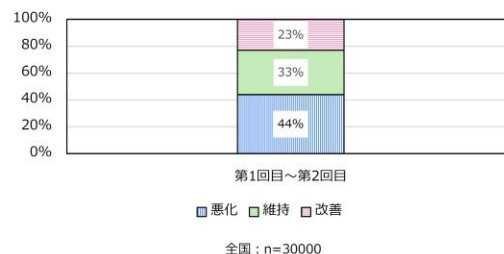


第2回目と第1回目の両時点においてDBD13（必須項目）のデータが全項目登録されていた利用者を対象として、合計点および項目別の点数を表示しています。
DBD13（必須項目）（合計点）のグラフにおける全国値は、同一サービスの第1回目の点数が同じ利用者を対象として、平均値を算出しています。

Vitality Index（意思疎通）

第1回目	挨拶、呼びかけに対して返答や笑顔が見られる
第2回目	自分から挨拶する、話し掛ける

【参考】 Vitality Index（意思疎通）の変化
（全国）



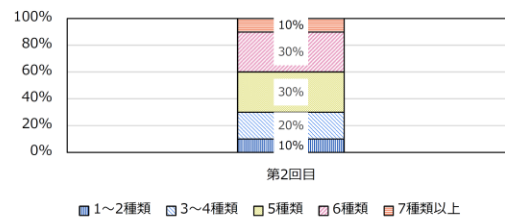
Vitality Index（意思疎通）のデータが登録されていた利用者を対象として、各時点の該当状況を表示しています。
全国値は、同一サービスの第1回目の「Vitality Index（意思疎通）」の区分が同じ利用者を対象として、維持・改善・悪化に該当する利用者の割合を算出しています。

■服薬情報（科学的介護推進体制加算（Ⅱ）のみ必須項目）

内服薬薬剤種類数

	第1回目	第2回目
内服薬薬剤種類数	6	5

【参考】利用者一人あたりの内服薬薬剤種類数
（全国）



全国：n=90000

全国値は、同一サービスの第1回目の内服薬薬剤種類数が同じ利用者を対象として、第2回目の内服薬薬剤種類数の分布を算出しています。

※以下に留意が必要です。

- ・データ登録を行う服薬情報の範囲（臨時処方登録しているか、等）について、施設・事業所により判断基準が異なっている可能性があります。
- ・内服薬の該当は、項目「剤形コード」により判別しているため、本項目が空欄の場合、計上されていません。

※ポリファーマシーについて

ポリファーマシーは、「単に服用する薬剤数が多いことではなく、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態」（厚生労働省「高齢者の医薬品適正使用の指針」（総論編））です。フィードバック票の薬剤数も参考にしながら、薬物有害事象が生じていないかについても確認してください。